

目 次

I	はじめに	1
II	管理部門	
1	普及啓発・受診勧奨	
1-1	普及啓発事業の目的	2
1-2	がん征圧運動	2
1-3	研修会、健康教育の実施	4
1-4	普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	5
1-5	北海道・市町村との連携	8
1-6	企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	12
1-7	賛助会実績	15
1-8	受診勧奨	15
2	がん相談事業実績	16
3	精度管理体制	
3-1	精度管理体制	18
3-2	専門職の研鑽	18
3-3	施設認定	23
4	事後処理の流れ	24
5	事後管理の流れ	25
6	安全管理体制	26
7	検診車の保有状況	27
8	施設整備に対する助成金の受け入れ状況	28
9	研究等事業	29
III	検（健）診部門	
1	検（健）診受診者数	30
2	がん検診の成績	31
3	健康診査の成績	62
4	検診センターの精密検査成績	87
	【参考資料】	
1	がん対策の背景	96
2	市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	101
3	北海道対がん協会	103
3-1	概要	103
3-2	目的及び事業	104
3-3	検診センター及び細胞診センターの機能	105
3-4	機構図	107
3-5	役員等名簿	108
3-6	沿革概要	110
4	個人情報保護方針	113
5	検診センターにおける各種検診日	114
6	がん対策基金のご案内	115
7	がん征圧賛助会へのご入会案内	119

【利用上の注意】

『2018事業年報』は、公益財団法人北海道対がん協会の平成30年度の事業を集録したものです。

なお、参考資料の一部で、年度が異なるものがあります。

Ⅱ 管理部門 … 平成30年度

Ⅲ 検（健）診部門 … 平成30年度

【参考資料】

1 がん対策の背景 … 平成30年

2 市町村が実施する～ … 平成29年度

3～7 … 令和元年10月1日現在

(別途記載のないもの)

また、Ⅲ 検（健）診部門の 2 がん検診の成績においては事後管理（要精検者への受診勧奨）を受託していない北海道職員健診について受診者から除いています。（P30の、Ⅲ 1 平成30年度検（健）診受診者数には含まれます。）

I はじめに

平素より、当協会が実施しております事業の運営にあたりましては、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

北海道対がん協会は、昭和4年（1929年）に我が国で最初の対がん協会として創立し、昨年90周年を迎えました。これも一重に、道民の皆様はもとより、北海道・各自治体の行政機関、各医育大学や医療機関等関係機関、団体の皆様のご支援、ご協力の賜と、心より感謝を申し上げます。

現在、我が国では、国民の二人に一人ががんに罹患し、三人に一人ががんで死亡する時代を迎えています。また、人口の高齢化が進む中、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸が求められています。

このため、当協会では、がんや生活習慣病の予防に関する正しい知識の普及啓発、検（健）診事業及びがんの予防に関する調査・研究事業を3本柱に、より一層取り組み、道民の皆様がどこに住んでいても安心して検（健）診が受けられるよう、今まで以上に公益財団法人としての自覚を持ち、与えられた役割を十分に発揮していくことが極めて大切な責務だと考えおります。

このたび、当協会の平成30年度の事業内容、検（健）診実績等を事業年報としてとりまとめました。事業推進にあたり、ご協力頂きました北海道・各自治体の行政機関、各医育大学や医師会、企業、団体の皆様に深く感謝申し上げます。ご高覧たまわり、当協会に対するご理解の一助になれば幸いです。

令和という新しい時代に創立90周年を迎え、創立100周年に向けて、職員一同全力を挙げて、道民の皆様の保健福祉の増進に貢献し、心身ともに健康で、心豊かな生活を送ることのできる社会の実現を目指し、がんや生活習慣病による死亡を減少させるため努めてまいりますので、より一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

令和2年4月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長瀬 清



基本理念

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

基本方針

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

II 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、9月に展開する「がん征圧月間」の全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、様々な運動を実施しています。

(1) 平成30年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,550枚
9/3(月)~9/28(金)	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9/5(水)	北海道庁1階道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	27名
9/16(日)	釧路がん検診センター2階 会議室	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	150名
9/20(木)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	-
9/22(土)	イオンモール旭川西店	がん予防パネル展	パネル、乳がん触知モデル、内視鏡を展示、パンフレット配布	314名
10/2(火)	北24条駅前	街頭PR (街頭テッシュ配り)	札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、街頭啓発を実施	2,200個

■第50回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により、数多くの共催・講演のもと毎年開催しています。

第50回となる今大会は、「若年層からの予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月12日（金）、帯広市民文化ホールで次のとおり開催し、全道から約700名が参加しました。また、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に修了しました。

<p>10月12日（金） 12：45～15：50 帯広市民文化ホール 約700名参加</p>	<p>【第50回がん予防道民大会】 大会の主な行事</p> <ul style="list-style-type: none">○がん予防功労者表彰 受賞団体 江別市・美幌町・清水町○優良がん対策推進企業表彰 受賞団体 (株)セイショウ・恵庭建設(株)○特別講演 「人はがんとどう向き合うか？」 演者 (公財)日本対がん協会会長 垣添 忠生 氏○健康講話 「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを体験して～」 演者 タレント・女優・よつばの会代表 原 千晶 氏
--	--



(2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018とまこまい

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018とまこまい」(7月21日(土)～21日(日))へ、ヘリカルCT検診車を派遣して、チャリティー検診(低線量CT肺がん検診・内蔵脂肪測定)を実施しました。

(3) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会の構成員として、5月31日の世界禁煙デーの啓発と、禁煙パレードを中心とする諸行事に参加協力しました。



1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	主催	研修会名	内容	従事者	参加者数
6/20	北海道市町村共済組合	平成30年度レディース健康セミナー(第1回)	「乳がんと子宮がんについて」	(札幌) 企画課 大西 彩香	45名
10/24	北海道対がん協会・北海道コカ・コーラ(株)	乳がん検診無料バスツアー	「乳がんについて知ろう」	(札幌) 企画課 大西 彩香	40名
10/24	旭川放射線技士会女子部	マンモグラフィ勉強会	ポジショニング実習	(旭川) 放射線科 瀬野尾 勤子	24名
11/6	札幌市医師会	平成30年度札幌市医師会マンモグラフィ技術講習会	マンモグラフィの基礎と精度管理	(札幌) 事務次長 黒炭 邦夫	68名
11/9	北海道静内高校	平成30年度 がん教育講話	「皆さんに知ってほしい がん とがん検診について」	(札幌) 事業管理課 周東 百合子	515名
11/14	札幌ニューテクノロジー研究会	第274回札幌ニューテクノロジー研究会	乳癌スクリーニングの今後	(札幌) 事務次長 黒炭 邦夫	50名
11/20	北海道市町村共済組合	平成30年度レディース健康セミナー(第2回)	「乳がんと子宮がんについて」	(札幌) 企画課 大西 彩香	45名
11/29	札幌市医師会	平成30年度札幌市医師会乳房超音波講習会	スクリーニングに必要なマンモグラフィの基礎	(札幌) 事務次長 黒炭 邦夫	96名

1/29	旭川市シニア大学	シニア大学	「がん検診のすすめ」	(旭川) 検診第2課 松谷 和江	47名
1/26 ~27	札幌市放射線技士会	第5回札幌放射線技士会マン モグラフィ講習会	ポジショニング実習、グループ 講習(線量、線質)	(旭川) 放射線科 瀬野尾 勤子	48名
2/7	北海道対がん協会・北海 道コカ・コーラ(株)	乳がん検診無料バスツアー	「乳がんについて知ろう」	(札幌) 企画課 大西 彩香	18名
2/24	北海道薬剤師会	健康サポート薬局研修会 (第2回)	北海道対がん協会における普及 啓発事業及び健診事業について	(札幌) 企画課 大西 彩香	60名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資 料 名	部 数
①	2017事業年報	800冊
②	機関誌「しらかば」 年3回発行	各2,300部
③	がん検診(日本対がん協会作成リーフレット)	3,300枚
④	乳がんのセルフチェック(日本対がん協会作成リーフレット)	3,800枚
⑤	検診のご案内	1,700部
⑥	がん征圧月間ポスター(日本対がん協会作成ポスター)	4,550枚

(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています。

平成30年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベントや検（健）診時に活用していただきました。

なお、市町村や企業、関係団体で行う健康イベント、研修会等で活用をご希望の際は、お問い合わせください。（担当：経営管理部企画課）

品名	模型説明	
乳がん触知モデル （精密型）	<p>人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。</p> <p>サイズ：37×24×17cm</p>	
乳房疾患模型	<p>断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。</p> <p>サイズ：16.5×11×7.5cm</p>	
肺がん模型	<p>健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。</p> <p>サイズ：55×43×30cm</p>	
喫煙タール模型	<p>1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。</p> <p>サイズ：9×9×13.5cm</p>	
腸疾患模型	<p>結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。</p> <p>サイズ：18.0×21.0×27cm</p>	

(3) 普及啓発資材の作成・配布

がん検診の受診率向上を目的に、受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭で配布しました。

市町村や地区組織にも提供し、啓発活動に役立てていただきました。

配布状況はP13 (2)地区組織との連携【街頭啓発】を参照してください。

えっ
がん検診、
受けてないの？

公益財団法人 北海道対がん協会
札幌がん検診センター 011-748-5522
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分

健康チェックしてますか？

がん検診と
特定健診を
受けましょう！

公益財団法人
北海道対がん協会
札幌がん検診センター

〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分
Tel. 011-748-5522

子宮がん検診は
ハタチから！

“子宮頸がん”は若い人こそ
かかりやすいんだって。

公益財団法人 北海道対がん協会
札幌がん検診センター 011-748-5522
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分

増えてます。
北海道の
乳がん。

撮影技師は全員女性です！

公益財団法人 北海道対がん協会
札幌がん検診センター 011-748-5522
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15
地下鉄東豊線「元町駅」徒歩7分

Hokkaido
Pink Ribbon

がん検診で、早期に見つけられた乳がんは約9割が治ります。
手遅れになる前に、定期的に乳がん検診を受けましょう！

がん検診
愛する家族への
贈りもの

今年もみんなで
受けようね！

がん検診の
お問い合わせや
お申込は
市町村窓口
担当課へ

公益財団法人 北海道対がん協会

がん検診
愛する家族への
贈りもの

今年も一緒に
受けようね！

がん検診の
お問い合わせや
お申込は
市町村役場
担当課へ

公益財団法人 北海道対がん協会

普及啓発ポケットティッシュ

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催しています。より多くの方に出席いただくために、道内4カ所で開催し、計103団体から131名の出席が得られました。

【報告事項】 ※4会場共通 1 北海道からの報告 ・がん検診の動向について ・生活習慣病の医療連携の推進等について 2 受診率向上の新たな取り組み紹介 3 北海道対がん協会からの報告 ・平成31年度検診の実施計画について ・がん検診の精度管理について	
10月19日（金） 13：00～16：00 ホテルポールスター札幌	【講演】 「子宮がんについて」 （公財）北海道対がん協会細胞診センター 所長 藤田 博正 【行政の取組紹介】 江別市の事例 「自己採取HPV検査について」 江別市健康福祉部保健センター 参事 赤石 春佳 氏
10月22日（月） 13：00～16：00 帯広市保健福祉センター	【講演】 「乳がん検診は、だれのため」 社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院 病院長 阿部 厚憲 先生
10月23日（火） 13：00～16：00 釧路がん検診センター	【講演】 「乳がんの診断と治療～早期発見の重要性について」 独立行政法人労働者健康安全機構釧路労災病院 副院長 小笠原 和宏 先生
10月25日（木） 13：00～16：00 旭川大雪クリスタルホール	【講演】 「胃がんとピロリ菌について」 （公財）北海道対がん協会旭川がん検診センター 内科部長 野村 好紀

(2) 各がん検診センター所在市とのがん検診打合せ会議

がん検診を円滑かつ効果的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打合せ開催し、協議しました。

(3) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントへ出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	イベント名	開催地	参加人数	内容
6/2	旭川市健康まつり	旭川市	3,000名	パネル展、乳がん触診モデル体験、パンフ配布、乳がん検診
7/9 ～ 3/4	生活習慣病・喫煙予防教室	江別市	1,290名	江別市内小中学校で、学童を対象に生活習慣病予防とタバコの害について実施する授業
9/2	帯広市健康まつり	帯広市	1,352名	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、パネル展、パンフ配布
9/2	釧路町健康福祉フェスティバル	釧路町	671名	骨検診、パンフ配布
9/29	けんこうフェスタ2018inちゅうおう	札幌市中央区	360名	パネル展、乳がん触診モデル体験、パンフ配布
9/30	いわみざわ健康まつり	岩見沢市	1,500名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9/30	えべつ健康フェスタ	江別市	500名	がん検診の必要性を市民の方を対象に行い。各種模型やパネルを使用
10/6	北栄地区ミニ縁日	札幌市東区	60名	町内会館で行われる縁日で乳房触診モデル等を使用して普及啓発
10/10	健康っていいねフェア	札幌市手稲区	1,287名	パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布
10/20	あつべつ健康・福祉フェスタ	札幌市厚別区	1,789名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10/21	釧路市健康まつり	釧路市	1,180名	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、CT検診、パネル展、乳がん触診モデル、パンフ配布
10/31	清田区健康&介護予防フェア	札幌市清田区	800名	パネル展、乳がん触知モデル体験、疾患モデル、パンフ配布
11/8	安全衛生セミナー	江別市 工業団地	40名	協会けんぽと共同で工業団地組合を対象に安全衛生セミナー、体力測定を実施
11/10	すこやかフェスタ	札幌市白石区	450名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布





(4) がん予放学級の開催

昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村の共催や協力を得てがん予放学級を開催しています。

【札幌がん検診センター】※札幌市との共催

日 時：12月4日（火）

場 所：（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 4階会議室

参加者：30名

講習1 「乳がん検診について」

（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター

学術担当監 黒蕨 邦夫

講習2 「北海道のがん対策」

（公財）北海道対がん協会 会長 長瀬 清

【旭川がん検診センター】※旭川市との共催

日 時：9月3日（月）

場 所：イオンホール（イオンモール旭川駅前4階）

参加者：71名

講習1 「もっと知ろう！胃がんとピロリ菌」

（公財）北海道対がん協会旭川がん検診センター

内科部長 野村 好紀

講習2 「がんとともに生きる」

NPO法人パンキャンジャパン北海道アフィリエイト

旭川スタッフ 辻栄 麻希



(5) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり道内企業の協力のもと設立した「北海道がん対策基金」の事務局を担い、基金の管理・運営を行っています。基金に関する詳細は115～118Pを参照してください。

(6) 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

平成29年3月に策定した「札幌市がん対策推進プラン」の一環として、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について普及啓発を実施するため、実行委員会が設立され、事務局として事業実施や進捗の管理等を行う。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動を『リボンの願い事業』と称し、様々な事業を行っています。

① 検診ツアーの実施

コカ・コーラ工場見学、乳がんに関する正しい知識や検診について学ぶミニ講話と、乳がん検診（無料）を受診する「コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診ツアー」開催しました。

第3回となった今回は10月4日、2月7日の2回開催とし、59名の参加があり、高評価を得ることができました。

② 啓発資材の購入・作成

事業開始から平成29年度までの寄付金累計額が1千万円を記念し、更なる乳がん検診の受診率向上をめざし、ピンクリボンオリジナルファイルを作成しました。

クリアファイルのデザインを公募したところたくさんの応募をいただきました。選考委員会において、リボンのデザインが印象に残る札幌市立大学デザイン学部2年生本間しおりさん考案のデザインが選ばれました。

今回作成したクリアファイルは、道内各地のイベント等で配布し、道民の皆様に乳がん検診の重要性を伝えていきます。



③ 寄附金贈呈式

平成31年2月27日（水）、「2018年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式」を行い、コカ・コーラボトリング株式会社社長佐々木様より当協会 長瀬会長へ、平成30年度寄付金2,574,980円が目録が贈られました。当協会からは設置いただいた事業者の皆様へ感謝状を贈呈しました。

平成22年からこれまでの寄付金累計額は、約14,56万円になりました。

贈呈式終了後は、大通ビッセ地下1階で寄付金一千万円を記念して作成したピンクリボンオリジナルクリアファイルを配布し、街頭啓発を行いました。



【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】

- ・株式会社伊藤園
- ・アサヒ飲料株式会社
- ・株式会社エスシー・アベックス
- ・イオンディライト株式会社
- ・サントリービバレッジサービス株式会社
- ・株式会社アベックス
- ・北海道ベンディング株式会社

【企業職員向けの健康教育】

- ・北海道薬剤師会（2回）…………… 60名
- ・北海道市町村職員共済組合（2回）…………… 90名



(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会の開催や各種イベントでの街頭啓発を実施しました。

【第51回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、平成30年7月10日～11日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した56名の参加者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。



【啓発活動】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当協会の普及啓発テッシュを約2,500個、配布していただきました。

- ・10/2 2018年がん征圧月間 街頭PR
- ・10/13 第50がん予防道民大会
- ・11/5 北区連合町内会女性部連絡協議会文化講演会
- ・3/1 厚生労働省提案女性の健康週間対応ピンクリボン運動



(3) 患者・ボランティア団体との協力

ピンクリボン活動・難治性がん等に関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する知識の啓発を行いました。

【難治性がん啓発キャンペーン】

表記実行委員会が行うがん撲滅チャリティーイベントに参加し、がんについてパネル展と疾患モデル、パンフレットを設置してがん検診の普及啓発を行いました。

・ 5/27 (土) 難治性がん啓発キャンペーン2018

チ・カ・ホ札幌駅前地下広場



【ピンクリボン in SAPPORO】

・ 2/17 (日) ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2019～がんと仕事 (ブース出展)

・ 田中賢介選手ピンクリボンプロジェクト2018

田中賢介選手がピンクカラーの野球道具を身に着けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれることになり、2008年からプロジェクトがスタートしました。

当初は、田中賢介選手がアウトをとって、乳がん検診をプレゼントする企画でしたが、「バッティングで チームの勝利に貢献する」という決意のもと、2016シーズンからはヒット数に応じて、乳がん検診の料金として、ピンクリボン in SAPPOROを通じ、ご寄付をいただくことになりました。

田中賢介選手からは、これまでで約580万のご寄付をいただいております。いただいた尊い寄付金は、乳がん検診費用の補助に使われるほか、乳がんや乳がん検診に関する正しい知識の普及に啓発活動に役立てております。

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にごがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は121ページを参照してください。

平成30年度の会員数は個人会員336人、法人会員120件でした。

H30	札幌	旭川	釧路	計
個人	234	64	38	336
法人	68	24	28	120

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ等約30万枚、未受診者勧奨はがきを約8千枚作製し、市町村に提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を16日間実施し、延べ2,781人が受診しました。

2 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまで延べ9,618件の電話相談に対応しています。平成30年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 : 49件

②相談者の住所 : (単位: 件)

札幌市内	32
札幌市外	2
不明	15

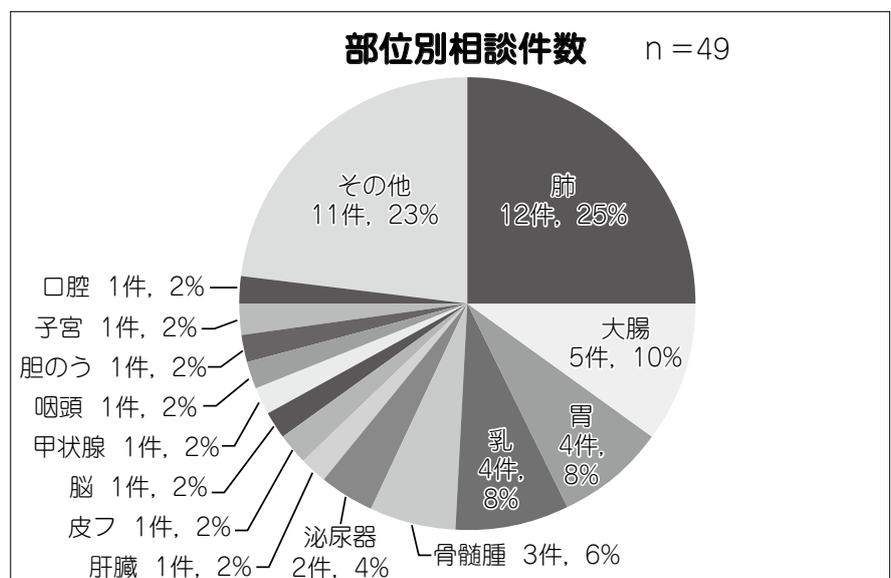
③相談者の属性 : (単位: 件)

本人	37
家族	7
友人	5

④相談者の年齢・性別 : (単位: 件)

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	0	1	0	9	10	2	22
女性	0	1	1	5	12	7	1	27
総計	0	1	1	5	21	17	3	49

⑤ 相談者のがん部位 :



⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：

内 容	件数	%
病気・治療内容に関すること	23	46.9
自覚症状あり不安に関すること	8	16.3
日常生活に関すること	0	－
医療への不満・不安に関すること	4	8.2
専門病院に関すること	7	14.3
心理的課題に関すること	0	－
経済的不安に関すること	1	2.0
その他	6	12.3

相談者の属性では、本人・家族以外の「友人・知人」からの相談が目立ちました。

相談内容では、「病気・治療に関すること」が全体の46.9 と最も多く、例年と同様です。この中では、医師とのコミュニケーションが円滑にとられておらず、病気や治療のことを確認する電話が目立ちました。また、TVや文献で紹介された最新医療を受けたいが、どこの医療機関で受けることができるかという問合せが、前年度より増えました。

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそった精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資格名称	人数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本内科学会認定医	2
日本肝臓学会専門医	1
日本内科学会総合内科専門医	1
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	2
NPO人日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波実施・判定医	2
日本臨床細胞学会細胞診専門医	2
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本産科婦人科学会専門医	2
日本医師会認定産業医	2
日本医師会認定健康スポーツ医	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資格名称	人数
胃がん検診専門技師	28
胃がん検診基準撮影法指導員	6
マンモグラフィ撮影技術認定技師	32
乳房超音波講習会履修者	13

超音波検査士（消化器）	7
超音波検査士（体表臓器）	3
肺がんCT検診認定技師	7
放射線管理士	2
放射線機器管理士	1
細胞検査士	17
国際細胞検査士	10
健康運動指導士	2
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	4
医療情報技師	2
医用画像情報専門技師	1
消化器内視鏡技師	4

(2) 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
日本消化器がん検診学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部	支部長及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会	代議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本乳癌検診学会	評議員を擁し、日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度管理及び啓発のため活動しています。
日本臨床細胞学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。

日本衛生検査技師学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
北海道細胞検査士会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本超音波医学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本超音波検査学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入
日本CT検診学会	CT検診、特に肺がん検診における検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入
日本医療情報学会	医療画像を始め医療全般にかかる患者保護や取扱いの最新の情報を取得するため

■学会発表（平成30年度）

日時	会名	演題	報告者		開催地	
			所属	氏名		
6/2 ～3	第59回日本臨床細胞学会春期大会	第5回子宮の日全国アクション2018報告会セッション「北海道におけるLOVE49活動について」	札幌	臨床検査部	加藤 修	札幌市
		子宮内膜漿液癌の初期病変に対する免疫細胞診の応用		臨床検査部	市川 浩巳	
		尿からのHPV-DNA検出その有用性の比較検討		臨床検査部	和田 恒之	
10/20	第70回北海道公衆衛生学会	子宮がん検診におけるHPV検査の有用性2～細胞診陰性・HPV陰性症例の追跡調査～	札幌	臨床検査部	加藤 修	札幌市
		低線量CTを用いた肺がん検診の成績と受診者層の検討－対策型検診との比較－		事務次長	黒蔵 邦夫	
11/17	第57回日本臨床細胞学会秋期大会	HPV併用子宮頸がん検診における受診間隔の検討－優秀演題賞受賞－	札幌	臨床検査部	加藤 修	横浜市
11/23 ～24	第28回日本乳癌検診学会学術総会	広域な地域検診に対応可能な乳房超音波装置搭載型マンモグラフィ検診車の有用性	札幌	事務次長	黒蔵 邦夫	大阪市
		検診マンモグラフィにおけるポジショニング不良例に関する検討	旭川	放射線科	瀬野尾 勤子	
12/2	第39回北海道臨床細胞学会	液状化検体細胞診（LBC）の子宮内膜細胞診対応について	札幌	臨床検査部	市川 浩巳	札幌市
3/3	第31回細胞診従事者講習会	ワークショップ指定演者 子宮内膜細胞診へのLBCの応用	札幌	臨床検査部	市川 浩巳	札幌市
3/9	第43回放射線研修委員会研修会	胃X線検査におけるH.pylori感染診断の放射線技師間の正診率、一致率の検討	旭川	放射線科	門司 麻央	札幌市

■研修会参加（平成30年度）

日 時	研 修 会 名	主 催	参 加 者			開 催 地
			所 属	氏 名		
4 / 7	日本消化器がん検診学会 北海道支部 第16回超音波研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	旭川	検査科	倉兼 俊之	札幌市
4 / 12 ~15	日本放射線技術学会第74回総会学術大会	日本放射線技術学会	札幌	事務次長	黒藤 邦夫	横浜市
4 / 21 ~22	日本放射線技術学会 北海道支部学術大会 第74回春季大会	日本放射線技術学会 北海道支部	旭川	放射線科	瀬野尾 勤子	札幌市
5 / 19	北海道臨床衛生検査技師会 平成30年度新入会員研修会	北海道臨床衛生検査 技師会	旭川	検査科	水野 莉那	札幌市
5 / 24	日本消化器がん検診学会幹事会	日本消化器がん検診 学会	釧路	所長	松浦 邦彦	札幌市
6 / 1 ~3	第59回日本臨床細胞学会春期大会	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	佐藤 利男	札幌市
			釧路	検査科	和泉 東子 三浦 務	
6 / 8 ~9	第57回日本消化器がん検診学会総会	日本消化器がん検診 学会	釧路	所長	松浦 邦彦	新潟県
			旭川	放射線科	門司 麻央	
7 / 5	病理検査研修会	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	和泉 東子	釧路市
					三浦 務	
					三浦 葉奈	
7 / 7 ~8	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	北海道臨床衛生検査 技師会	旭川	検査科	倉兼 俊之	札幌市
7 / 14	第48回日本消化器がん検診学会北海道地方会	日本消化器がん検診 学会	釧路	所長	松浦 邦彦	札幌市
				放射線科	丹野 律子	
			旭川	放射線科	田中 伸一	
					瀬野尾 勤子	
8 / 25 ~26	第77回日本臨床細胞診セミナー	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	石山 好人	横浜
9 / 3	PCRハンズオントレーニング	サーモフィッシャー サイエンティフィック	札幌	検査科	和田 恒之	東京都
9 / 22	第6回北海道ブートキャンプ腹部超音波研修会	超音波検査士有志	旭川	検査科	倉兼 俊之	札幌市
					平山 景子	
					放射線科	
11 / 1 ~4	第56回日本消化器がん検診学会大会	日本消化器がん検診 学会	釧路	所長	松浦 邦彦	神戸市
11 / 6	精度管理研修会	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	和泉 東子	釧路市
					三浦 務	
					三浦 葉奈	

11/6	一般検査研修会	北海道臨床衛生検査技師会	釧路	検査科	和泉 東子	釧路市
					三浦 務	
					三浦 葉奈	
11/17 ~18	第57回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	中山 仁	神奈川
					倉兼 俊之	
					石川 文秋	
					平野 真理	
11/22	第150回マンモグラフィ更新技術講習会	マンモグラフィ検診精度管理委員会	釧路	放射線科	南川 浩二	札幌市
11/23 ~24	第28回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	旭川	放射線科	瀬野尾 勤子	大阪府
11/24 ~25	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	日本臨床衛生検査技師会	旭川	検査科	水野 莉那	札幌市
12/15	超音波スクリーニング研修講演会	NPO超音波スクリーニングネットワーク	札幌	検査科	長崎 葉菜	東京都
12/2	第39回北海道臨床細胞学会学術集会	北海道臨床細胞学会	旭川	検査科	中山 仁	札幌市
2/2	細胞診学術講習会	北海道細胞検査士会	釧路	検査科	三浦 葉奈	札幌市
2/16	日本消化器がん検診学会北海道支部地域保健研修委員会 平成30年度 研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部地域保健研修委員会	旭川	検診第2課	合田 亜希	札幌市
2/23	第5回一般検査セミナー in 旭川	栄研化学株式会社	旭川	検査科	中山 仁	旭川
2/23	第15回しばれセミナー(超音波検査)	日本臨床衛生検査技師会	旭川	検査科	倉兼 俊之	札幌市
2/28 ~ 3/1	第42回保健師・看護師研修会	日本対がん協会	札幌	巡回検診課	安住 香代子	東京都
3/3	第31回細胞診従事者講習会	北海道臨床細胞学会 北海道細胞検査士会	旭川	検査科	中山 仁	札幌市
					石山 好人	
					石川 文秋	
					平野 真理	
3/9	第43回放射線研修委員会研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部	旭川	放射線科	田中 伸一	札幌市
					細川 肇	
					西田 大	
					瀬野尾 勤子	
					山本 智美	
					門司 麻央	
					久野 愛子	
岸 あゆみ						
3/10	第14回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部	旭川	放射線科	同上	札幌市

3-3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診 施設・画像認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 臨床検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胸部X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胃X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 腹部超音波検査分野（A評価）

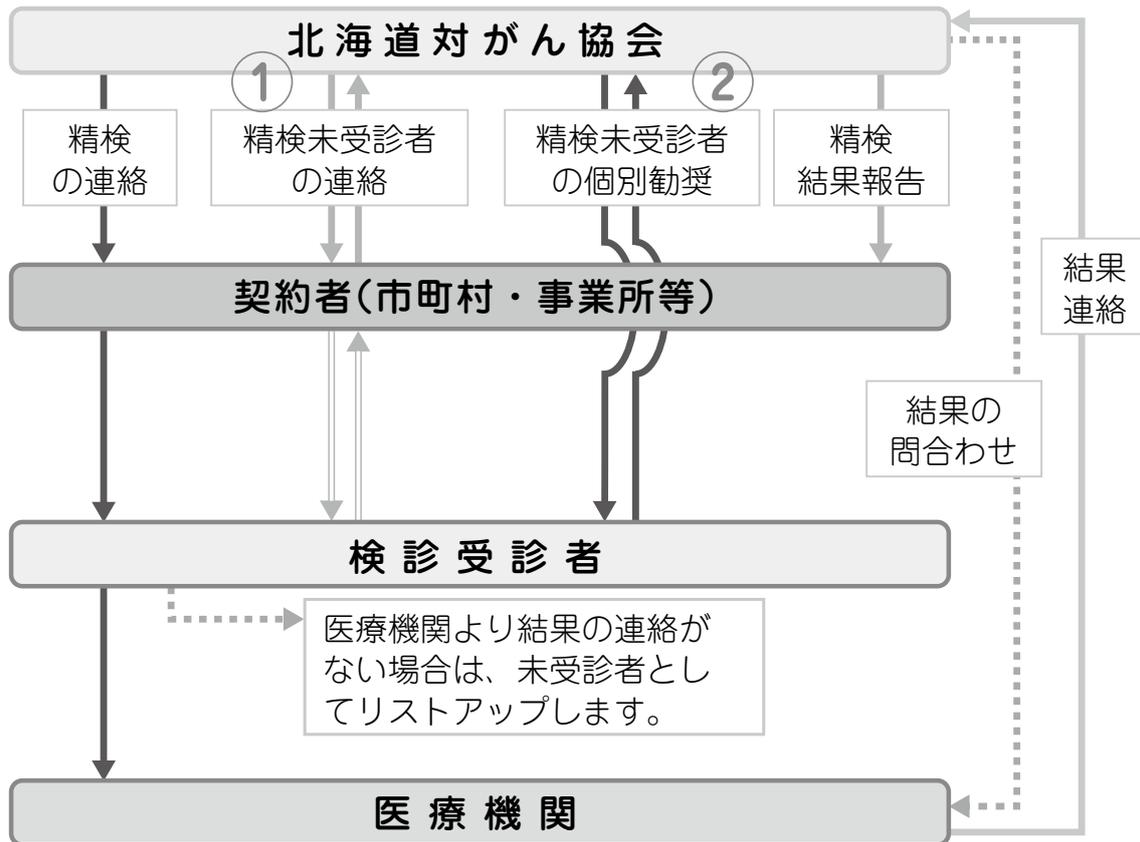
4 事後処理の流れ

厚生労働省「有効性評価に基づくがん検診ガイドライン」に準拠し、事後処理を行っています。

胃がん検診	札幌がん検診センターでは、開成病院・吉田クリニック・KKR札幌医療センターと、旭川がん検診センターでは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川赤十字病院・旭川厚生病院・くにもと病院と連携し、日本消化器がん検診学会認定医を加え、二重読影を行います。 また、過去に当協会を受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に比較読影を行います。
子宮頸がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医が判定を行います。当協会では、細胞診結果の分類はBethesda systemによる分類を用います。過去に当協会を受診されている方は、必要に応じてその結果を参考にします。
子宮体がん検診	日本臨床細胞学会の認定を受けた十分な経験を有する細胞検査士及び細胞診専門医によりパパニコロウ染色を行い、顕微鏡下で観察します。細胞診結果は、「陰性」・「疑陽性」及び「陽性」に区分します。
乳がん検診	「検診マンモグラフィ読影認定医」A評価の医師を加え、二重読影を行います。また、過去に当協会を受診されている方は、必要に応じてその結果を参考に読影を行います。
肺がん検診	札幌がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター・KKR札幌医療センター・JCHO北海道病院・JR札幌病院と、旭川がん検診センターは、独立行政法人国立病院機構旭川医療センター・旭川医科大学病院・まつもと呼吸器内科クリニックと、釧路センターは、札幌医科大学附属病院・NTT東日本札幌病院と連携し、日本がん検診・診断学会がん検診認定医を加え、二重読影を行います。 また、判定結果により比較読影を行います。さらに、過去に当協会を受診されている方はその結果を参考にします。
喀痰細胞診	判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士が実施し、異常が疑われる場合には標本を追加作成して、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医による再鏡検を実施します。同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングします。 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行います。
大腸がん検診	便潜血検査は、免疫便潜血検査2日法により行います。
基本健康診査	健診当日の診察結果・血液データ・心電図・眼底結果を基に医師が総合的に判定し、「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)」に基づき、保健指導対象者の選定と階層化を行います。

5 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

6 安全管理体制

医療安全管理マニュアルを定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

7 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	購入年月 (納入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考	
				道	中央補助金	自 己 資 金		
胃 肺 検 診 車	1	しらかば 102号	H 6. 9	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	2	〃 107号	H 8. 3	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	3	〃 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	4	〃 113号	H 6.11	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	5	〃 114号	H 5. 1	57,546	54,000		3,546	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	6	〃 115号	H 9. 1	59,740	54,000		5,740	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	7	〃 118号	H 6. 4	56,583			56,583	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	8	〃 120号	(H15. 5)	22,659			22,659	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	9	〃 122号	(H18. 1)	30,030			30,030	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	10	〃 123号	(H26. 3)	29,568			29,568	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	11	〃 163号	(H27.12)	3,240			3,240	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	12	〃 201号	H13.12	60,900	56,700		4,200	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	13	〃 202号	(H14.12)	62,790		日本宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	14	〃 203号	H21. 2	91,140		日本宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	15	〃 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	16	〃 205号	H29. 2	69,660		日本宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	17	〃 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	18	〃 207号	H30. 2	69,876		J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	19	〃 208号	H31. 2	69,066	69,066			胃、肺併用車 F P D X線TV車
胸部 検診車	1	胸部検診車	(H15.11)	0	譲与			ミラーカメラ車
	2	エルム号	H19. 2	97,545		日本宝くじ協会 60,900	(リース) 36,645	低線量ヘリカルCT検診車
婦人科 検診車	1	しらゆり 2号	H 4. 7	29,767			14,767 (秋山愛生館) 15,000	超音波診断装置搭載
	2	〃 5号	H26.12	46,000			46,000	超音波診断装置搭載
乳房 検診車	1	すずらん 5号	H24. 2	65,520		J K A 11,550	53,970	乳房X線装置(SMG対応)
	2	〃 6号	(H29. 4)	44,928			44,928	乳房X線装置(SMG対応)
	3	〃 7号	(H30. 3)	69,940	69,940			乳房X線装置(SMG対応) 超音波検査併用
送 迎 用 バ ス	1	はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2	〃 2号	H 6. 9	17,201			17,201	受診者送迎車
	3	〃 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4	〃 4号	H29. 4	3,520			3,520	受診者送迎車
	5	〃 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

(平成31年3月現在)

8 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助成機関	助成対象				年度計
		検診車	センター建設	センター設備	基本財産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
	63	市町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884	
元	一般寄付		54,240,952	81,706,454		
	中央競馬社会福祉財団			4,750,000	4,750,000	
2	日本宝くじ協会	55,620,000				
	日本自転車振興会	21,630,000			77,250,000	
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000	67,495,000	
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000			93,549,000	
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000	66,072,000	
6	北海道補助	108,000,000			108,000,000	
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000	74,223,000	
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723		169,318,723	
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515		1,196,705,515	
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000	98,435,000	
13	北海道補助	56,700,000			56,700,000	
14	日本宝くじ協会	62,790,000			62,790,000	
16	日本対がん協会			1,000,000	1,000,000	
17	日本宝くじ協会	63,840,000			63,840,000	
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000			66,596,000	
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000			158,550,000	
21	日本対がん協会			2,000,000	2,000,000	
23	J K A	11,550,000			11,550,000	
26	J K A	22,050,000			22,050,000	
28	日本宝くじ協会	69,660,000			69,660,000	
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000	110,840,000	
30	北海道補助	70,000,000		10,000,000	80,000,000	
	累計	1,684,507,000	2,197,276,231	802,817,338	528,699	4,685,129,268

(平成31年3月現在)

9 研究等事業

年 度	事 業 名	業 務 概 要
平成24年度～	北海道におけるHPV併用検診に関する臨床試験	子宮頸がん検診受診者を対象に、HPVDNA検査併用検診の有用性および子宮頸部病変の検出におけるHR-HPVの検出または遺伝子型16型/18型の判別の有用性を検討する。
平成25年度～	J-START	乳がん検診における超音波検査（エコー検査）の有効性に関する研究
平成29年度～	デンスブレストにおける乳房内病変の低被ばくCT検査での検出能	肺がん検診として実施されている胸部の低被爆CT検査において、高濃度乳房における乳房内病変を検出できるか明らかにする。
平成29年度～	肺がん検診の胸部X線画像への骨透過処理の適用による偽陽性率の改善効果	胸部X線画像に対して骨組織を透過させる画像処理を適用することによる、肺がん検診の偽陽性率の改善効果を明らかにする。
平成30年度～	発癌性ヒトパピローマウイルス感染に対する機能性食品AHCC® 摂取によるウイルス消失向上効果の検証	長期間感染することにより、子宮頸がんを引き起こす可能性の高い、高リスク型HPVの消失に対する機能性食品AHCC® 摂取の効果を検証する。

※平成30年度中に進行中であった事業について記載

Ⅲ 検（健）診部門

1 平成30年度 検（健）診受診者数

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車		80,425	45,762	22,805	11,858
	検診センター		24,304	13,924	7,015	3,365
	計		104,729	59,686	29,820	15,223
子 宮 が ん	検 診 車		21,751	10,674	7,812	3,265
	検診センター		39,158	22,821	12,242	4,095
	計		60,909	33,495	20,054	7,360
乳 が ん	検 診 車		24,820	12,140	8,823	3,857
	検診センター		43,402	25,127	14,050	4,225
	計		68,222	37,267	22,873	8,082
肺 が ん	検 診 車		82,871	44,395	23,975	14,501
	検診センター		25,250	13,339	8,286	3,625
	計		108,121	57,734	32,261	18,126
大 腸 が ん	検 診 車		91,682	52,730	26,056	12,896
	検診センター		42,423	25,954	10,840	5,629
	計		134,105	78,684	36,896	18,525
前 立 腺 が ん	検 診 車		11,437	4,944	3,514	2,979
	検診センター		4,781	2,793	1,266	722
	計		16,218	7,737	4,780	3,701
特定健康診査	検 診 車		45,235	20,536	15,434	9,265
	検診センター		13,606	8,783	3,557	1,266
	計		58,841	29,319	18,991	10,531
定期健康診断	検 診 車		23,419	17,438	3,757	2,224
	検診センター		8,661	4,882	1,592	2,187
	計		32,080	22,320	5,349	4,411
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	検 診 車		1,172	502	390	280
	検診センター		7,240	4,650	1,399	1,191
	計		8,412	5,152	1,789	1,471
人 間 ド ッ ク	検 診 車		94	-	94	-
	検診センター		2,220	1,502	502	216
	計		2,314	1,502	596	216
骨 検 診	検 診 車		1,147	927	82	138
	検診センター		8,133	5,499	2,202	432
	計		9,280	6,426	2,284	570
超音波検査	婦 人 科	検 診 車	17,598	7,507	7,423	2,668
		検診センター	35,592	19,783	12,024	3,785
		計	53,190	27,290	19,447	6,453
	腹 部	検 診 車	230	-	230	-
		検診センター	3,490	2,965	165	360
		計	3,720	2,965	395	360
合 計	検 診 車		401,881	217,555	120,395	63,931
	検診センター		258,260	152,022	75,140	31,098
	計		660,141	369,577	195,535	95,029

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 がん検診の成績

胃がん検診

平成30年度は、19台の検診車で120市町村¹⁾を延2,406日間²⁾巡回したほか、80事業所³⁾に延327日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、138名（令和元年年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌59・旭川42・釧路19市町村 2) 札幌1,317・旭川645・釧路444日間 3) 札幌28・旭川41・釧路11事業所 4) 札幌159・旭川114・釧路36日間

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	87,140	47,402	25,932	13,806	22,555	13,107	6,330	3,118	64,585	34,295	19,602	10,688
事業所 ⁶⁾	10,046	4,772	3,872	1,402	1,592	688	669	235	8,454	4,084	3,203	1,167
個人 ⁷⁾	161	130	16	15	157	129	16	12	4	1	0	3
合計	97,347	52,304	29,820	15,223	24,304	13,924	7,015	3,365	73,043	38,380	22,805	11,858

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数97,347名のうち、検診センターでの施設検診は24,304名（25.0%）、検診車による巡回検診は73,043名（75.0%）であった。前年度に比べ、事業所検診が840名増加したが、全体として検診センターでは1,640名、検診車は1,705名の減少、減少率は3.4%と前年度6.0%より抑えられた。

受診者別では、前年度よりも事業所検診と個人受診で増加が見られたが、自治体で4,216名の減少が見られた。年齢別では、男女ともに60歳代以上から増加し、全体でおおよそ68.2%を占めている。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は4,559名で、要精検率は5.0%であった。精検受診数は4,030名、精検受診率は88.4%で、前年度より0.4ポイントの下降がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性5.9%、女性3.8%で男性が高い。精検受診率は男性85.4%、女性92.0%と男性が前年度より0.4ポイント上昇した。しかし年齢別では、男性は50歳代で精検受診率の低下がみられた。女性は全ての年代で精検受診率70%を超えていた（表4）。

【発見がんについて】

平成30年度の胃がん発見数は138名で、がん発見率は0.14%であった。男女別では、男性83名（0.19%）、女性55名（0.10%）であった。男女ともに、年齢が上がるにつれてがん発見率も高い傾向にある（表8）。

受診歴別では、1年前受診が最も多く（70名）、次いで初回受診（38名）、2年前受診（21名）の順に多い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、平成29年度の発見がん123名のうち、手術施行者は114名であった。手術結果の内訳は早期がん82名（71.9%）、進行がん32名（28.1%）であり、早期がんが全体のおおよそ72%を占めている（表8）。

【まとめ】

平成30年度の受診状況として、新たに検診を受託した市町村や事業所があったが、全体の受診数は減少した。厚生労働省の指針の改正（H28.2.4）で、胃がん検診の検査方法に内視鏡検査が追加され、大都市を中心に導入した市町村があったためと考えられるが、高齢に伴い安全を考慮し受診を控える傾向がある。

ただ、この改正（H28.2.4）では、内視鏡検査が追加されるとともに、対象年齢が引き上げられ、受診間隔が延長されたが、“当分の間、X線検査に関しては、40歳以上、年1回実施しても差支えない”という但し書きが付与されている。当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えることから、X線検査の有効性をアピールし、安全面に最大限の配慮しながら、今後も質の高いX線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

要精検者に対しては、特に50歳代男性の受診率が低下傾向にある。この年代は働き盛りで仕事や家庭での役割が非常に大きいことや、胃がんが増えてくる年齢層である。職場検診の開設などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方が受診することは、胃がんの早期発見につなげていくうえで重要であるが、要精検となった場合は確実に精密検査を受けることも、がんを早期発見し生命をつなげるために、不可欠であると考えられる。そのため、50歳代以下を中心に受診勧奨に力を入れ、精密検査の必要性を理解したうえで、受診行動を起こすための働きかけをしていきたい。

（保健師 高島 梓）

表1 胃がん検診実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～平成30年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	精検結果内訳							
						胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～25	7,723,375	843,692	10.9	739,642	87.7	11,488	62,954	56,020	95,854	12,691	200,448	30,648	269,539
26	113,815	6,962	6.1	6,152	88.4	193	697	225	571	57	3,399	485	525
27	116,739	5,450	4.7	4,823	88.5	164	555	193	471	37	2,675	390	338
28	107,161	4,863	4.5	4,254	87.5	142	482	152	394	34	2,376	377	297
29	100,692	5,424	5.4	4,840	89.2	123	508	92	297	31	2,864	503	422
30	97,347	4,559	4.7	4,030	88.4	138	401	89	282	29	2,216	579	296
計	8,259,129	870,950	10.5	763,741	87.7	12,248	65,597	56,771	97,869	12,879	213,978	32,982	271,417

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～平成30年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
38～25	7,723,375	845,347	6,878,028	11,488	0.15	1,088	0.13	10,400	0.15	1.36
26	113,815	28,553	85,262	193	0.17	44	0.15	149	0.17	2.77
27	116,739	29,452	87,287	164	0.14	37	0.13	127	0.15	3.01
28	107,161	27,170	79,991	142	0.13	33	0.12	109	0.14	2.92
29	100,692	25,944	74,748	123	0.12	27	0.10	96	0.13	2.27
30	97,347	24,304	73,043	138	0.14	32	0.13	106	0.15	3.03
合計	8,259,129	980,770	7,278,359	12,248	0.15	1,261	0.13	10,987	0.15	1.41

国の指標値（許容値）

0.11%以上

1.0%以上

表3 胃がん検診実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	52,304	13,924	38,380	1,927	3.7	427	3.1	1,500	3.9	1,701	88.3	76	0.15	24	0.17	52	0.14	3.94
旭川	29,820	7,015	22,805	1,958	6.6	519	7.4	1,439	6.3	1,732	88.5	34	0.11	6	0.09	28	0.12	1.74
釧路	15,223	3,365	11,858	674	4.4	128	3.8	546	4.6	597	88.6	28	0.18	2	0.06	26	0.22	4.15
合計	97,347	24,304	73,043	4,559	4.7	1,074	4.4	3,485	4.8	4,030	88.4	138	0.14	32	0.13	106	0.15	3.03

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70%以上

0.11%以上

1.0%以上

表4 性・年齢別胃がん検診実施状況及び精検結果（平成30年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,550	36	30	0	4	1	2	0	11	8	4
	女	1,145	26	23	0	5	0	1	0	11	4	2
	計	2,695	62	53	0	9	1	3	0	22	12	6
40～44	男	3,265	86	72	0	5	2	3	2	45	12	3
	女	3,719	66	53	1	13	0	1	0	20	7	11
	計	6,984	152	125	1	18	2	4	2	65	19	14
45～49	男	3,327	116	95	0	5	4	8	3	57	8	10
	女	3,706	89	72	0	8	1	0	0	42	13	8
	計	7,033	205	167	0	13	5	8	3	99	21	18
50～54	男	3,020	112	78	0	4	6	10	1	34	16	7
	女	3,872	102	93	1	13	2	4	0	53	16	4
	計	6,892	214	171	1	17	8	14	1	87	32	11
55～59	男	2,799	166	114	3	9	8	10	0	62	15	7
	女	4,474	165	145	1	19	4	8	2	77	23	11
	計	7,273	331	259	4	28	12	18	2	139	38	18
60～64	男	4,098	279	221	6	16	8	17	3	129	28	14
	女	6,840	252	232	3	30	4	12	3	117	40	23
	計	10,938	531	453	9	46	12	29	6	246	68	37
65～69	男	7,829	528	450	14	31	5	49	8	249	72	22
	女	11,016	453	420	16	47	8	24	1	252	37	35
	計	18,845	981	870	30	78	13	73	9	501	109	57
70～74	男	7,635	575	523	25	41	10	48	2	292	76	29
	女	10,126	472	446	17	56	6	23	2	246	60	36
	計	17,761	1,047	969	42	97	16	71	4	538	136	65
75～79	男	5,428	363	330	17	25	3	25	1	189	47	23
	女	6,515	277	265	9	28	4	13	1	150	41	19
	計	11,943	640	595	26	53	7	38	2	339	88	42
80～	男	3,732	240	224	18	29	9	15	0	102	39	12
	女	3,251	156	144	7	13	4	9	0	78	17	16
	計	6,983	396	368	25	42	13	24	0	180	56	28
合計	男	42,683	2,501	2,137	83	169	56	187	20	1,170	321	131
	女	54,664	2,058	1,893	55	232	33	95	9	1,046	258	165
	計	97,347	4,559	4,030	138	401	89	282	29	2,216	579	296

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和38年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	61,618	9	0.01
30～39	811,011	224	0.03
40～49	2,039,546	1,046	0.05
50～59	2,117,282	2,221	0.10
60～69	2,057,392	4,584	0.22
70～	1,074,767	4,026	0.37
年齢不詳	166	0	0.00
計	8,161,782	12,110	0.15

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成30年度）

年 齢	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	91	57	34	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	668	390	278	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	1,936	1,103	833	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	6,984	3,265	3,719	1	0	1	0.01	0.00	0.03
45～49	7,033	3,327	3,706	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	6,892	3,020	3,872	1	0	1	0.01	0.00	0.03
55～59	7,273	2,799	4,474	4	3	1	0.05	0.11	0.02
60～64	10,938	4,098	6,840	9	6	3	0.08	0.15	0.04
65～69	18,845	7,829	11,016	30	14	16	0.16	0.18	0.15
70～74	17,761	7,635	10,126	42	25	17	0.24	0.33	0.17
75～79	11,943	5,428	6,515	26	17	9	0.22	0.31	0.14
80～	6,983	3,732	3,251	25	18	7	0.36	0.48	0.22
計	97,347	42,683	54,664	138	83	55	0.14	0.19	0.10

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	22,649	9,754	12,895	38	27	11	0.17	0.28	0.09
1 年 前	56,960	26,246	30,714	70	41	29	0.12	0.16	0.09
2 年 前	12,674	4,472	8,202	21	12	9	0.17	0.27	0.11
3 年 前	5,064	2,211	2,853	9	3	6	0.18	0.14	0.21
計	97,347	42,683	54,664	138	83	55	0.14	0.19	0.10

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成29年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行数 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
38～25	11,488	10,736	93.5	6,474	60.3	4,067	37.9	195	1.8			752	6.5
26	193	182	94.3	132	72.5	48	26.4	2	1.1	83	45.6	11	5.7
27	164	156	95.1	111	71.2	44	28.2	1	0.6	60	38.5	8	4.9
28	142	132	93.0	91	68.9	39	29.5	2	1.5	48	36.4	10	7.0
29	123	114	92.7	82	71.9	32	28.1	0	0.0	44	38.6	9	7.3
計	12,110	11,320	93.5	6,890	60.9	4,230	37.4	200	1.8			790	6.5

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成29年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	m	s m	m p	s s	s	
114	53	29	7	10	15	0

胃癌取扱い規約に準ずる。

子宮頸がん検診

平成30年度は、2台の検診車で124市町村¹⁾を延265日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延13日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、44名（令和元年12月15日現在）のがんを発見した。

1) 札幌67・旭川38・釧路19市町村 2) 札幌136・旭川88・釧路41日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌7・旭川3・釧路3日間

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	50,505	28,193	16,356	5,956	30,173	18,061	8,983	3,129	20,332	10,132	7,373	2,827
事業所 ⁶⁾	8,216	4,230	2,700	1,286	6,848	3,691	2,309	848	1,368	539	391	438
個人 ⁷⁾	2,188	1,072	998	118	2,137	1,069	950	118	51	3	48	0
合計	60,909	33,495	20,054	7,360	39,158	22,821	12,242	4,095	21,751	10,674	7,812	3,265

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

子宮頸がん検診の受診総数は60,909名で、検診車による巡回検診は21,751名(35.7%)、検診センターでの施設検診は39,158名(64.3%)を実施した。前年度の受診数と比較すると3,174名減、減少率5.0%で、巡回検診・施設検診共に減少した。

検診結果は、細胞診陰性者が59,870名、細胞診陽性者が1039名という結果であった（表2）。

精密検査該当者（要経過観察は除く）780名のうち、精密検査受診数は729名であり、精検受診率は93.5%、発見がん数は43名であった。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者269名のうち経過観察受診数は228名で、経過観察後1名のがんが見つかる（表7）。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんの割合が約8割と圧倒的に高い（表10）。また、年齢階級別の発見がん数では40歳代が19名、発見率0.13と最も多かった（表9）。発見がん44名のうち24名はCIN3（上皮内がん）であり、半数以上を占めている（表11）。

※子宮体がん検診

子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。受診総数は2,167名で、検診車による巡回検診は410名、検診センターでの施設検診は1,757名を実施した。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は28名で、そのうち27名が精密検査を受診し、精検受診率は96.4%であった。（表12）

発見がん数は10名で、年齢階級別では60歳代で最も多く見付き、発見率は0.84%であった（表18）。

【まとめ】

子宮頸がん検診は、年々減少の一途をたどっており、平成30年度は減少率5.0%となっている。市町村によって女性だけの検診日の開設や託児を設けたりと、受診者拡大に向けてさまざまな工夫はみられるが、受診数の増加になかなか繋がっていないのが現状である。また受診者の年齢層は20歳代・30歳代が少ない。しかし、子宮頸がんの好発年齢を考えると、若年層へのアプローチは必須である。そのためには、検診の重要性を理解してもらうことや、受診の環境と整備も含め、継続して市町村と協力しながら実施していくことが重要だと考える。

（保健師 柴田 有）

表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成30年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～25	4,247,673	1,737,297	2,510,376	6,847	0.16	3,270	0.19	3,577	0.14	
26	66,145	43,808	22,337	93	0.14	57	0.13	36	0.16	10.26
27	66,477	44,507	21,970	79	0.12	60	0.13	19	0.09	10.05
28	65,704	43,777	21,927	82	0.12	54	0.12	28	0.13	11.94
29	64,083	41,816	22,267	67	0.10	42	0.10	25	0.11	10.71
30	60,909	39,158	21,751	55	0.09	34	0.09	21	0.10	6.61
合計	4,570,991	1,950,363	2,620,628	7,223	0.16	3,517	0.18	3,706	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
41～16	3,579,330	2,219,770	1,327,347	8,413	13,740	960	5,711	2,304	1,085
17	78,393	31,378	46,098	226	527	0	137	11	16
18	71,549	27,549	43,200	181	432	0	140	31	16
19	78,037	29,947	47,260	238	419	0	140	22	11
20	73,109	26,007	46,185	287	426	0	167	20	17
21	80,255	31,264	48,130	216	401	0	187	33	24
計	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (%)									
41～16	100	62.02	37.08	0.24	0.38	0.03	0.16	0.06	0.03
17	100	40.03	58.80	0.29	0.67	0.00	0.17	0.01	0.02
18	100	38.50	60.38	0.25	0.60	0.00	0.20	0.04	0.02
19	100	38.38	60.56	0.30	0.54	0.00	0.18	0.03	0.01
20	100	35.57	63.17	0.39	0.58	0.00	0.23	0.03	0.02
21	100	38.96	59.97	0.27	0.50	0.00	0.23	0.04	0.03
計	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～平成30年度

年 度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
22～25	287,000	283,658	1,234	828	209	820	30	81	40	4	13	1	82
26	66,145	65,090	457	228	59	232	17	16	11	0	0	0	35
27	66,477	65,649	392	151	48	153	8	24	6	0	5	0	41
28	65,704	64,875	393	145	68	138	21	15	6	0	4	0	39
29	64,083	63,305	323	150	56	136	8	19	7	0	1	1	77
30	60,909	59,870	519	225	93	140	11	26	5	0	3	0	17
計	610,318	602,447	3,318	1,727	533	1,619	95	181	75	4	26	2	291

注) 平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取扱い規約に準ずる。

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～平成30年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	経過観察率 (%)	その他有所見
41～25	4,247,673	24,507	0.6	46,135	1.1	572,302
26	66,145	850	1.3	253	0.4	1,548
27	66,477	619	0.9	232	0.3	1,729
28	65,704	632	1.0	217	0.3	1,368
29	64,083	545	0.9	250	0.4	1,690
30	60,909	780	1.3	269	0.4	1,551
計	4,570,991	27,933	0.6	47,356	1.0	580,188

国の指標値（許容値） 1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～平成30年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～25	4,247,673	1,737,297	2,510,376	6,425	0.15	2,960	0.17	3,465	0.14	
26	66,145	43,808	22,337	75	0.11	40	0.09	35	0.16	8.24
27	66,477	44,507	21,970	58	0.09	45	0.10	13	0.06	8.72
28	65,704	43,777	21,927	66	0.10	41	0.09	25	0.11	9.97
29	64,083	41,816	22,267	50	0.08	32	0.08	18	0.08	8.62
30	60,909	39,158	21,751	44	0.07	26	0.07	18	0.08	5.51
合計	4,570,991	1,950,363	2,620,628	6,718	0.15	3,144	0.16	3,574	0.14	8.09

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	33,495	22,821	10,674	542	1.62	364	1.60	178	1.67	494	91.1	26	0.08	17	0.07	9	0.08	4.80
旭川	20,054	12,242	7,812	153	0.76	91	0.74	62	0.79	150	98.0	17	0.08	8	0.07	9	0.12	11.11
釧路	7,360	4,095	3,265	85	1.15	58	1.42	27	0.83	85	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00
合計	60,909	39,158	21,751	780	1.28	513	1.31	267	1.23	729	93.5	43	0.07	25	0.06	18	0.08	5.51

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※経過観察からの発見がんを除く

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～平成30年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（%）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率（%）	数	率（%）	数	率（%）	
41～25	24,507	24,078	98.2	4,703	19.5	5,473	22.7	13,860	57.6	
26	850	802	94.4	50	6.2	334	41.6	397	49.5	20
27	619	574	92.7	39	6.8	210	36.6	310	54.0	15
28	632	589	93.2	45	7.6	240	40.7	286	48.6	18
29	545	513	94.1	36	7.0	234	45.6	232	45.2	11
30	780	729	93.5	38	5.2	304	41.7	433	59.4	5
計	27,933	27,285	97.7	4,911	18.0	6,795	24.9	15,518	56.9	69

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（%）	経過観察からの 発見がん
41～25	54,385	49,926	91.8	2,126
計	54,385	49,926	91.8	2,126

平成26年度～平成30年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数	率（%）	経過観察からの 発見がん	該当月未到達
26	253	205	81.0	5	0
27	232	195	84.1	5	0
28	217	167	77.0	3	0
29	250	194	77.6	3	0
30	269	228	84.8	1	3
計	1,221	989	81.0	17	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	48,040	121	0.25
30～39	922,933	2,089	0.23
40～49	1,358,026	2,268	0.17
50～59	1,180,179	1,165	0.10
60～69	769,056	635	0.08
70～	229,969	182	0.08
計	4,508,203	6,460	0.14

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	19,291	34	0.18
1年前	15,630	2	0.01
2年前	22,192	5	0.02
3年前	3,796	3	0.08
計	60,909	44	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（平成30年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	26	0	0.00
20～24	730	0	0.00
25～29	1,186	1	0.08
30～34	2,308	8	0.35
35～39	3,432	6	0.17
40～44	6,677	8	0.12
45～49	6,268	9	0.14
50～54	6,310	3	0.05
55～59	6,081	3	0.05
60～64	7,094	3	0.04
65～69	8,646	1	0.01
70～74	7,262	2	0.03
75～79	3,505	0	0.00
80～	1,384	0	0.00
計	60,909	44	0.07

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）
昭和41年度～平成28年度

年 度	発見がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他のがん
		上皮内がん	浸潤がん		区分不能		
I a	I b以上						
41～25	6,847	3,917	1,249	837	69	407	368
26	93	57	10	5	3	15	3
27	79	45	5	8	0	16	5
28	82	51	9	6	0	14	2
計	7,101	4,070	1,273	856	72	452	378

平成29年度～平成30年度

年 度	発見がん数	内 訳							
		頸 部 が ん						体部がん	その他のがん
		CIN3 (上皮内がん)	扁平上皮がん		上皮内腺がん	腺がん	区分不能		
I a	I b以上								
29	67	35	2	6	5	1	1	12	5
30	55	24	5	9	4	2	0	10	1
計	122	59	7	15	9	3	1	22	6

※子宮頸癌取扱い規約第4版に基づき、平成29年度のCIN3の分類を変更した。

表11 【再掲】子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

昭和41年度～平成30年度

年度	発見がん数	0期	I a期	I b期	I c期	II期	III期	IV期	肉腫	転移性腺がん	進行期不明	他	卵巣がん
41～30	474	12	178	153	28	30	40	3	14	1	15	13	9

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～平成30年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	経過観察率 (%)	精検不要	陰性	疑陽性	陽性	
62～25	104,467	1,671	1.6	2,354	2.3		100,725	3,452	290	407
26	3,373	33	1.0	246	7.3	3,094	3,094	270	9	15
27	3,095	25	0.8	230	7.4	2,840	2,840	230	25	16
28	2,461	18	0.7	136	5.5	2,307	2,308	135	18	14
29	2,471	22	0.9	100	4.0	2,349	2,349	100	22	12
30	2,167	28	1.3	79	3.6	2,060	2,059	101	7	10
計	118,034	1,797	1.5	3,145	2.7	12,650	113,375	4,288	371	474

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成30年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～24	100,870	75,730	25,140	395	0.39	292	0.39	103	0.41	
25	3,597	2,963	634	12	0.33	10	0.34	2	0.32	42.31
26	3,373	2,830	543	15	0.44	14	0.49	1	0.18	36.36
27	3,095	2,588	507	16	0.52	11	0.43	5	0.99	40.00
28	2,461	2,002	459	14	0.57	11	0.55	3	0.65	61.11
29	2,471	2,063	408	12	0.49	7	0.34	5	1.23	54.55
合計	115,867	88,176	27,691	464	0.40	345	0.39	119	0.43	45.16

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	1,399	1,263	136	18	1.29	17	1.35	1	0.74	17	94.4	6	0.43	5	0.40	1	0.74	33.33
旭川	732	484	248	8	1.09	8	1.65	0	0.00	8	100.0	2	0.27	2	0.41	0	0.00	25.00
釧路	36	10	26	2	5.56	0	0.00	2	7.69	2	100.0	2	5.56	0	0.00	2	7.69	100.00
合計	2,167	1,757	410	28	1.29	25	1.42	3	0.73	27	96.4	10	0.46	7	0.40	3	0.73	35.71

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～平成30年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率(%)	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
23～25	96	91	94.8	38	41.8	8	8.8	43	47.3	2
26	33	33	100.0	12	36.4	2	6.1	19	57.6	1
27	25	25	100.0	10	40.0	1	4.0	14	56.0	0
28	18	18	100.0	9	50.0	0	0.0	7	38.9	0
29	22	22	100.0	12	54.5	1	4.5	9	40.9	2
30	28	27	96.4	10	37.0	0	0.0	17	63.0	0
計	222	216	97.3	91	42.1	12	5.6	109	50.5	5

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診のちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～平成30年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	経過観察からの発見がん	
			率（％）	発見がん
23～25	425	385	90.6	6
26	246	235	95.5	3
27	230	219	95.2	5
28	136	126	92.6	3
29	100	87	87.0	0
30	79	70	88.6	0
計	1,216	1,122	92.3	17

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成29年度

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	18	0	0.00
30～39	531	4	0.75
40～49	7,832	52	0.66
50～59	22,770	300	1.32
60～69	19,158	167	0.87
70～	7,523	68	0.90
計	57,832	591	1.02

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初回	1,484	5	0.34
1年前	279	0	0.00
2年前	301	5	1.66
3年前	103	0	0.00
計	2,167	10	0.46

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（平成30年度）

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	0	0	0.00
30～34	4	0	0.00
35～39	11	0	0.00
40～44	70	0	0.00
45～49	208	1	0.48
50～54	401	3	0.75
55～59	291	1	0.34
60～64	324	2	0.62
65～69	389	4	1.03
70～74	310	0	0.00
75～79	118	0	0.00
80～	41	0	0.00
計	2,167	11	0.51

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

乳がん検診

平成30年度は、3台の検診車で127市町村¹⁾を延360日間²⁾巡回したほか、8事業所³⁾に延15日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、291名（令和元年12月12日現在）のがんを発見した。

1) 札幌69・旭川39・釧路19市町村 2) 札幌184・旭川121・釧路55日間 3) 札幌6・釧路2事業所 4) 札幌10・釧路5日間

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	57,414	31,341	19,122	6,951	33,871	19,875	10,556	3,440	23,543	11,466	8,566	3,511
事業所 ⁶⁾	7,728	4,282	2,389	1,057	6,502	3,611	2,180	711	1,226	671	209	346
個人 ⁷⁾	3,940	2,142	1,595	203	3,889	2,139	1,547	203	51	3	48	0
合 計	69,082	37,765	23,106	8,211	44,262	25,625	14,283	4,354	24,820	12,140	8,823	3,857

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 実施主体が市町村・事業所以外のもの

【検診の受診状況】

受診総数69,082名のうち、検診車による巡回検診は24,820名（35.9%）、検診センターでの施設検診は44,262名（64.1%）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成28年度の受診数と比較すると2,782名減（検診車1,459名増、検診センター4,241名減）であった（表2）。受診歴別にみると、初回受診者数は21,726名（31.4%）、1年前受診者数は16,307名（23.6%）、2年前受診者数は26,854名（38.9%）、3年前受診者数は4,195名（6.1%）であった。要精検者は1,647名（要精検率2.4%）、経過観察者は104名であった（表1）。

【発見がんの状況】

平成30年度の発見がん数は291名、乳がん発見率0.42%、陽性反応適中度16.06%であった（表2、3）。発見率を年齢階級別にみると、70～74歳と75～79歳で0.61%と最も高く、ついで80歳以上で0.60%、65～69歳で0.52%となっている。全体的には、65歳以上の発見率が高いが、45～49歳の発見率が0.48%と高い傾向がみられている（表7）。

また、受診歴別にみると、初回受診者は0.66%と最も多く、次いで3年前受診者は0.48%、2年前受診者が0.34%、1年前受診者で0.23%であった（表8）。平成25年度から平成29年度では、I期以下の早期がん割合は69.4%、そのうち非浸潤癌の割合は28.9%であった。

【まとめ】

平成27年度から受診数は増加していたが、平成29年度は減少となり、平成30年度はさらなる減少となった。施設検診は減少しているが、巡回検診は増加しており、広大な北海道では医療機関にかかることも困難な市町村も多く、そのような市町村のニーズに応えた結果といえる。施設検診の減少については、札幌近郊には乳腺専門の医療機関が多く、検診センター以外の選択が可能なが大きい。今後、受診数の減少に歯止めがかかるよう、検診センターでの受診のメリットを広め、どの年代の女性にも乳がんへの関心を持ってもらえるよう、啓発活動・ピンクリボン活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～平成30年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
48～25	2,436,911	140,256	5.8	18,275	0.7	586	0.0	7,484	0.31	140,214	7,605	65,430	70,002	66,025	12,793
26	68,309	2,764	4.0	149	0.2	389	0.6	304	0.45	403	212	1,909	331	810	91
27	71,505	2,618	3.7	75	0.1	354	0.5	326	0.46	303	160	1,846	269	661	92
28	71,864	2,285	3.2	67	0.1	93	0.1	262	0.36	204	107	1,735	361	805	89
29	71,387	1,964	2.8	87	0.1	59	0.1	301	0.42	160	97	1,383	307	638	69
30	69,082	1,647	2.4	104	0.2	6	0.0	291	0.42	99	91	1,154	349	568	54
計	2,789,058	151,534	5.4	18,757	0.7	1,487	0.1	8,968	0.32	141,383	8,272	73,457	71,619	69,507	13,188

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～平成30年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
48～25	2,436,911	1,426,878	1,010,033	7,484	0.31	5,410	0.38	2,074	0.21	
26	68,309	46,907	21,402	304	0.45	217	0.46	87	0.41	10.96
27	71,505	49,322	22,183	326	0.46	231	0.47	95	0.43	11.34
28	71,864	48,503	23,361	262	0.36	197	0.41	65	0.28	10.07
29	71,387	46,238	25,149	301	0.42	211	0.46	90	0.36	14.10
30	69,082	44,262	24,820	291	0.42	188	0.42	103	0.41	16.60
合計	2,789,058	1,662,110	1,126,948	8,968	0.32	6,454	0.39	2,514	0.22	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 乳がん検診実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	37,765	25,625	12,140	942	2.5	652	2.5	290	2.4	926	98.3	175	0.46	119	0.46	56	0.46	17.83
旭川	23,106	14,283	8,823	516	2.2	298	2.1	218	2.5	511	99.0	95	0.41	65	0.46	30	0.34	16.70
釧路	8,211	4,354	3,857	189	2.3	86	2.0	103	2.7	186	98.4	21	0.26	4	0.09	17	0.44	10.10
合計	69,082	44,262	24,820	1,647	2.4	1,036	2.3	611	2.5	1,623	98.5	291	0.42	188	0.42	103	0.41	16.60

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要組織診 該 当 数	組 織 診 受 診 数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳 腺 線 維 腺 腫	(%)	そ の 他	(%)
53～25	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2
計	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 乳がん検診要精検結果（累計）

平成26年度～平成30年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳 腺 線 維 腺 腫	(%)	そ の 他	(%)
26	2,764	2,713	304	11.0	287	10.4	209	7.6	1,828	66.1
27	2,618	2,582	326	12.5	303	11.6	152	5.8	1,814	69.3
28	2,285	2,254	262	11.5	204	8.9	107	4.7	1,735	75.9
29	1,964	1,928	301	15.3	160	8.1	97	4.9	1,383	70.4
30	1,647	1,623	291	17.7	99	6.0	91	5.5	1,154	70.1
計	11,278	11,100	1,484	13.2	1,053	9.3	656	5.8	7,914	70.2

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	17,546	16	0.09
30～39	344,137	383	0.11
40～49	736,055	2,346	0.32
50～59	769,907	2,361	0.31
60～69	627,424	2,440	0.39
70～	224,907	1,131	0.50
計	2,719,976	8,677	0.32

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

（平成30年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	694	0	0.00
30～34	1,440	0	0.00
35～39	2,425	6	0.25
40～44	8,369	28	0.33
45～49	7,565	36	0.48
50～54	7,626	23	0.30
55～59	7,170	23	0.32
60～64	8,362	29	0.35
65～69	10,381	54	0.52
70～74	8,789	54	0.61
75～79	4,421	27	0.61
80～	1,840	11	0.60
計	69,082	291	0.42

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	21,726	143	0.66
1年前受診	16,307	37	0.23
2年前受診	26,854	91	0.34
3年前受診	4,195	20	0.48
計	69,082	291	0.42

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～平成29年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～24	7,176	3,482	1,033	2,661
25	308	147	50	111
26	304	172	13	119
27	326	200	15	111
28	262	136	17	109
29	301	157	13	131
計	8,677	4,294	1,141	3,242

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成29年度

年度	総数	病期分類								
		早期がん				進行がん				不明
		計	O	I	旧分類O	計	II	III	IV	
48～24	7,176	4,167	740	3,372	55	2,948	2,505	375	68	61
25	308	217	55	162	0	85	79	5	1	6
26	304	206	40	166	0	94	80	9	5	4
27	326	224	58	166	0	96	84	9	3	6
28	262	187	43	144	0	73	69	4	0	2
29	301	208	53	155	0	86	76	7	3	7
合計	8,677	5,209	989	4,165	55	3,382	2,893	409	80	86

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

平成30年度は、19台の検診車で111市町村¹⁾を延1,730日間²⁾巡回したほか、47事業所³⁾に延139日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で25市町村を延60日間巡回したほか、4事業所に延4日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では86名、胸部CT検査では6名（令和元年12月12日現在）のがんを発見した。

1) 札幌53・旭川38・釧路20市町村 2) 札幌679・旭川605・釧路446日間 3) 札幌20・旭川22・釧路5事業所 4) 札幌66・旭川47・釧路8日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	80,328	33,336	29,952	17,040	16,640	5,083	8,023	3,534	63,688	28,253	21,929	13,506
事業所 ⁶⁾	3,721	2,244	858	619	132	90	4	38	3,589	2,154	854	581
個人 ⁷⁾	6,344	6,277	47	20	6,339	6,277	45	17	5	0	2	3
合計	90,393	41,857	30,857	17,679	23,111	11,450	8,072	3,589	67,282	30,407	22,785	14,090

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	2,220	550	1,321	349	197	66	131	0	2,023	484	1,190	349
事業所 ⁶⁾	199	187	7	5	96	84	7	5	103	103	0	0
個人 ⁷⁾	1,908	1,739	76	93	1,846	1,739	76	31	62	0	0	62
合計	4,327	2,476	1,404	447	2,139	1,889	214	36	2,188	587	1,190	411

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの 7) 上記以外のもの

【胸部X線による肺がん検診】

胸部X線検査の総受診者数は90,393名（前年比636名増、増加率0.7%）で、実施形態別では検診車が67,282名で74.4%を占めている。性・年齢別では、男女とも65～74歳代の受診が多く、受診歴別では1年前受診が54,413名と経年受診が半数以上を占めた（表6、7）。肺がん検診結果では、精検受診率は前年度から1.8ポイント下降したものの、がん発見率および陽性反応的中度は例年と変わりはなく、いずれも国の指標を大きく上回っている（表1、2、3）。

追跡調査による発見がんの平成29年度までの累計では、発見がん2,446名のうち、0期24名、I期1,310名で合わせると54.5%が早期で発見されている（表8）。

肺がんは罹患数が多く、死亡率も高い。とりわけ、北海道の肺がん死亡率は全国でもトップレベルである。検診では早期がんの発見率が高いため、今後も受診拡大や、継続受診に向けたアプローチが必要である。

【低線量CTによる肺がん検診】

胸部CT検査の総受診数は4,327名（58名減、増加率-1.3%）で、精検受診率は97.2%で高い割合を維持している（表2）。平成30年の肺がん発見率は0.14%で例年より低いが、現時点ではまだ追跡中で、確定診断がついていない受診者もいることから、今後の上昇が見込まれる（表1）。

追跡調査による発見がんの平成29年までの累計では0期7名、I期156名で、合わせると78.4%が早期に発見されている（表4）。胸部X線と比べ、早期の割合が高いが、確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となったものは、がんを疑いながら経過観察を必要とされるため、検診の性質を理解したうえで受診できるよう十分な配慮が必要である。

（保健師 齊藤 葉月）

表1 肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～平成30年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
	(再掲) 喀痰実施数							
51～25	2,797,292	216,855	95,689	3.4	331,924	11.9	88,592	92.6
26	90,431	2,592	2,040	2.3	10,642	11.8	1,896	92.9
27	94,015	2,454	1,829	1.9	11,633	12.4	1,676	91.6
28	90,936	2,329	2,386	2.6	11,762	12.9	2,227	93.3
29	89,757	2,040	2,012	2.2	11,458	12.8	1,865	92.7
30	90,393	1,922	1,773	2.0	12,073	13.4	1,611	90.9
計	3,252,824	228,192	105,729	3.3	389,492	12.0	97,867	92.6

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～平成30年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
51～25	2,797,292	517,357	2,279,935	2,103	0.08	455	0.09	1,648	0.07	2.20
26	90,431	24,982	65,449	92	0.10	22	0.09	70	0.11	4.51
27	94,015	25,934	68,081	79	0.08	16	0.06	63	0.09	4.32
28	90,936	24,544	66,392	86	0.09	15	0.06	71	0.11	3.60
29	89,757	23,728	66,029	86	0.10	27	0.11	59	0.09	4.27
30	90,393	23,111	67,282	86	0.10	21	0.09	65	0.10	4.85
合計	3,252,824	639,656	2,613,168	2,532	0.08	556	0.09	1,976	0.08	2.39

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 肺がん検診実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	41,857	11,450	30,407	657	1.6	144	1.3	513	1.7	599	91.2	45	0.11	12	0.10	33	0.11	6.85
旭川	30,857	8,072	22,785	837	2.7	61	0.8	776	3.4	758	90.6	27	0.09	7	0.09	20	0.09	3.23
釧路	17,679	3,589	14,090	279	1.6	61	1.7	218	1.5	254	91.0	14	0.08	2	0.06	12	0.09	5.02
合計	90,393	23,111	67,282	1,773	2.0	266	1.2	1,507	2.2	1,611	90.9	86	0.10	21	0.09	65	0.10	4.85

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～平成30年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
62～25	200,161	412	3,209	665	195,905	3,189	219	183	232	40
26	2,592	2	25	2	2,566	22	1	1	3	0
27	2,454	0	9	2	2,447	5	0	0	0	0
28	2,329	2	5	1	2,321	5	1	1	0	1
29	2,040	2	7	1	2,031	6	1	1	1	0
30	1,922	2	13	0	1,907	13	2	0	3	0
計	211,498	420	3,268	671	207,177	3,240	224	186	239	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	210,131	4	0.002
40～49	502,332	62	0.01
50～59	709,958	234	0.03
60～69	1,022,341	1,039	0.10
70～	717,669	1,107	0.15
計	3,162,431	2,446	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成30年度）

年 齢	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	4,169	1,974	2,195	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,472	1,641	2,831	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,404	1,663	2,741	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	4,898	1,706	3,192	1	0	1	0.02	0.00	0.03
55～59	5,883	1,862	4,021	0	0	0	0.00	0.00	0.00
60～64	9,869	3,242	6,627	6	2	4	0.06	0.06	0.06
65～69	19,031	7,405	11,626	19	13	6	0.10	0.18	0.05
70～74	18,211	7,350	10,861	21	13	8	0.12	0.18	0.07
75～79	11,865	5,150	6,715	25	10	15	0.21	0.19	0.22
80～	7,591	3,854	3,737	14	8	6	0.18	0.21	0.16
総 数	90,393	35,847	54,546	86	46	40	0.10	0.13	0.07

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	35,980	13,398	22,582	38	17	21	0.11	0.13	0.09
1 年 前	54,413	22,449	31,964	48	29	19	0.09	0.13	0.06
計	90,393	35,847	54,546	86	46	40	0.10	0.13	0.07

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成29年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不 明
51～24	2,018	2	21	1,094	144	469	242	46
25	85	0	0	49	6	15	13	2
26	92	0	0	41	12	22	15	2
27	79	0	0	44	4	15	12	4
28	86	0	0	44	8	21	11	2
29	86	0	3	38	12	15	17	1
計	2,446	2	24	1,310	186	557	310	57

肺癌取扱い規約準ずる。

C T肺がん検診

表1 C T肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～平成30年度

年度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)
14～25	25,068	16,193	8,875	1,338	5.3	995	6.1	343	3.9	132	0.53	92	0.57	40	0.45
26	3,766	1,947	1,819	111	2.9	78	4.0	33	1.8	14	0.37	9	0.46	5	0.27
27	4,138	2,140	1,998	144	3.5	78	3.6	66	3.3	25	0.60	16	0.75	9	0.45
28	4,261	2,129	2,132	248	5.8	112	5.3	136	6.4	19	0.45	12	0.56	7	0.33
29	4,385	2,151	2,234	206	4.7	79	3.7	127	5.7	18	0.41	12	0.56	6	0.27
30	4,327	2,139	2,188	179	4.1	76	3.6	103	4.7	6	0.14	3	0.14	3	0.14
合計	45,945	26,699	19,246	2,226	4.8	1,418	5.3	808	4.2	214	0.47	144	0.54	70	0.36

表2 C T肺がん検診結果（累計）

平成14年度～平成30年度

年度	受診者数		要精検者数	要精検率(%)	有所見者数	有所見率(%)	精検受診数	精検受診率(%)
	(再掲) 喀痰実施数							
14～25	25,068	4,570	1,338	5.3	18,625	74.3	1,275	95.3
26	3,766	398	111	2.9	3,233	85.8	105	94.6
27	4,138	455	144	3.5	3,453	83.4	136	94.4
28	4,261	378	248	5.8	3,497	82.1	237	95.6
29	4,385	324	206	4.7	3,578	81.6	198	96.1
30	4,327	291	179	4.1	3,555	82.2	174	97.2
計	45,945	6,416	2,226	4.8	35,941	78.2	2,125	95.5

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

表3 C T肺がん検診喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～平成30年度

年度	喀痰検査実施数	要精検者数	要経過観察者数	判定区分					肺がん	その他のがん
				A	B	C	D	E		
14～24	3,991	8	85	16	3,889	80	5	1	2	0
25	579	0	4	3	572	3	1	0	0	0
26	398	0	6	3	392	3	0	0	0	0
27	455	0	2	0	453	2	0	0	0	0
28	378	0	2	0	376	2	0	0	0	0
29	324	0	4	0	319	3	2	0	1	0
30	291	1	0	0	290	0	1	0	0	1
計	6,416	9	103	22	6,291	93	9	1	3	1

表4 追跡調査による発見がんの病期区分（C T検診発見分・累計）

平成14年度～平成29年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不明
14～24	112	0	0	89	9	9	5	0
25	20	0	0	16	1	2	1	0
26	14	0	3	10	0	1	0	0
27	25	0	3	17	0	3	2	0
28	19	0	0	14	2	2	1	0
29	18	0	1	10	1	1	3	2
計	208	0	7	156	13	18	12	2

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

平成30年度は、124市町村¹⁾、27事業所²⁾で巡回し検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、480名（令和2年1月6日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川42・釧路18市町村 2) 札幌10・旭川14・釧路3事業所

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	113,077	62,843	33,844	16,390	31,827	19,116	8,843	3,868	81,250	43,727	25,001	12,522
事業所 ⁴⁾	12,036	7,050	2,935	2,051	9,830	6,268	1,882	1,680	2,206	782	1,053	371
個人 ⁵⁾	780	579	117	84	766	570	115	81	14	9	2	3
合計	125,893	70,472	36,896	18,525	42,423	25,954	10,840	5,629	83,470	44,518	26,056	12,896

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【最近の動向について（全国）】

平成30年（2018年）は、がん死亡数は373,584名（大腸がん死亡数50,658名）で前年よりも増加していた^{*1}。また部位別死亡数順位は、大腸がんが男性3位、女性1位であった。^{*1}

部位別の罹患数（2016年）は、男性3位、女性2位であった^{*2}。

（資料 ※1 人口動態統計による全国がん死亡データ ※2 全国がん登録による全国がん罹患データ）

【検診の受診状況】

受診総数は125,893名（前年比191名減、増加率-0.2%）で、検診車による巡回検診が83,470名（前年比増加率0.02%）、検診センターでの施設検診が42,423名（前年比増加率-0.5%）であった。なかでも、札幌管轄の巡回検診の減少が多かった（111名減、表2）。受診歴別にみると、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）の割合は全体の23.4%であった（表7）。

【精密検査の受診状況】

要精検者は9,267名（検診車6,481名、検診センター2,786名）で、要精検率は7.4%、精検受診率は82.7%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低50.6%（～39歳）、最高86.9%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検受診率は男性80.2%、女性85.0%と性別間でも差が見られた（表4）。

【発見がんについて】

平成30年度の発見がんの総数は480名（男性251名、女性229名）で、がん発見率は0.41%、陽性反応適中度は5.18%であった（表2）。男女共に初回受診者において、また、高齢になるほどがん発見率が高かった（表4）。追跡調査の結果、平成29年度の検診で発見されたがんのうち73.0%が早期がんであった（表8）。

【まとめ】

受診数は平成29年度より減少したが、減少率は下がった。昨年と同様に経年受診が多いものの、初回受診割合は増加しており巡回検診の新規開拓の結果は出始めていると考えられるがまだ初回受診割合は低く、さらに精検未受診で検診を受診する人もおり、検診および精検の目的を正しく伝えることも必要と考える。

（保健師 久保 史華）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～平成30年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
62～25	2,682,539	273,887	10.2	232,904	85.0	8,244	2,999	226	92,261	29,754	99,420
26	130,777	10,701	8.2	9,120	85.2	446	149	8	4,596	1,351	2,570
27	140,181	11,128	7.9	9,352	84.0	468	148	11	4,749	1,445	2,531
28	129,956	9,814	7.6	8,177	83.3	414	139	7	4,060	1,321	2,236
29	126,084	10,000	7.9	8,344	83.4	404	132	6	3,656	2,032	2,153
30	125,893	9,267	7.4	7,665	82.7	480	130	5	666	4,534	1,850
計	3,335,430	324,797	9.7	275,562	84.8	10,456	3,697	263	109,988	40,437	110,760

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～平成30年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総 数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
62～25	2,682,539	723,225	1,959,314	8,244	0.31	2,096	0.29	6,148	0.31	3.01
26	130,777	43,103	87,674	446	0.34	119	0.28	327	0.37	4.17
27	140,181	45,673	94,508	468	0.33	126	0.28	342	0.36	4.21
28	129,956	43,160	86,796	414	0.32	110	0.25	304	0.35	4.22
29	126,084	42,630	83,454	404	0.32	119	0.28	285	0.34	4.04
30	125,893	42,423	83,470	480	0.38	138	0.33	342	0.41	5.18
合計	3,335,430	940,214	2,395,216	10,456	0.31	2,708	0.29	7,748	0.32	3.22

国の指標値（許容値） 0.13%以上 1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管 轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
札幌	70,472	25,954	44,518	5,176	7.3	1,686	6.5	3,490	7.8	4,275	82.6	276	0.39	83	0.32	193	0.43	5.33
旭川	36,896	10,840	26,056	2,681	7.3	730	6.7	1,951	7.5	2,236	83.4	138	0.37	42	0.39	96	0.37	5.15
釧路	18,525	5,629	12,896	1,410	7.6	370	6.6	1,040	8.1	1,154	81.8	66	0.36	13	0.23	53	0.41	4.68
合計	125,893	42,423	83,470	9,267	7.4	2,786	6.6	6,481	7.8	7,665	82.7	480	0.38	138	0.33	342	0.41	5.18

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70%以上 0.13%以上 1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（平成30年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,546	77	39	1	1	0	7	16	14
	女	1,560	82	51	1	2	0	1	15	32
	計	3,106	159	90	2	3	0	8	31	46
40～44	男	3,019	138	85	1	3	0	8	43	30
	女	4,833	253	174	3	3	0	13	69	86
	計	7,852	391	259	4	6	0	21	112	116
45～49	男	2,970	168	101	8	2	0	12	45	34
	女	5,045	239	179	10	5	1	11	69	83
	計	8,015	407	280	18	7	1	23	114	117
50～54	男	2,856	185	124	7	6	0	16	76	19
	女	5,566	274	224	8	8	0	18	97	93
	計	8,422	459	348	15	14	0	34	173	112
55～59	男	3,151	227	158	8	2	0	21	95	32
	女	6,290	280	241	15	6	0	17	121	82
	計	9,441	507	399	23	8	0	38	216	114
60～64	男	4,624	390	307	30	7	0	30	188	52
	女	9,434	498	426	16	7	0	39	235	129
	計	14,058	888	733	46	14	0	69	423	181
65～69	男	9,676	903	743	48	7	0	60	512	116
	女	15,511	902	792	44	16	0	70	442	220
	計	25,187	1,805	1,535	92	23	0	130	954	336
70～74	男	9,714	994	839	71	12	0	70	563	123
	女	14,318	995	899	68	11	0	76	532	212
	計	24,032	1,989	1,738	139	23	0	146	1,095	335
75～79	男	6,775	782	680	48	6	1	66	433	126
	女	8,996	720	643	44	11	0	61	367	159
	計	15,771	1,502	1,323	92	17	1	127	800	285
80～	男	5,054	655	551	29	7	2	45	379	89
	女	4,955	505	409	20	8	1	25	237	119
	計	10,009	1,160	960	49	15	3	70	616	208
合計	男	49,385	4,519	3,627	251	53	3	335	2,350	635
	女	76,508	4,748	4,038	229	77	2	331	2,184	1,215
	計	125,893	9,267	7,665	480	130	5	666	4,534	1,850

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	5,353	1	0.02
30～39	65,909	34	0.05
40～49	448,437	448	0.10
50～59	714,978	1,439	0.20
60～69	1,153,244	4,204	0.36
70～	821,616	3,850	0.47
計	3,209,537	9,976	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（平成30年度）

年 齢	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	165	102	63	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	633	304	329	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,308	1,140	1,168	2	1	1	0.09	0.09	0.09
40～44	7,852	3,019	4,833	4	1	3	0.05	0.03	0.06
45～49	8,015	2,970	5,045	18	8	10	0.22	0.27	0.20
50～54	8,422	2,856	5,566	15	7	8	0.18	0.25	0.14
55～59	9,441	3,151	6,290	23	8	15	0.24	0.25	0.24
60～64	14,058	4,624	9,434	46	30	16	0.33	0.65	0.17
65～69	25,187	9,676	15,511	92	48	44	0.37	0.50	0.28
70～74	24,032	9,714	14,318	139	71	68	0.58	0.73	0.47
75～79	15,771	6,775	8,996	92	48	44	0.58	0.71	0.49
80～	10,009	5,054	4,955	49	29	20	0.49	0.57	0.40
総 数	125,893	49,385	76,508	480	251	229	0.38	0.51	0.30

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（平成30年度）

受診歴	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 (%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	29,472	11,637	17,835	214	117	97	0.73	1.01	0.54
1 年 前	75,201	31,222	43,979	182	98	84	0.24	0.31	0.19
2 年 前	15,830	4,672	11,158	59	23	36	0.37	0.49	0.32
3 年 前	5,390	1,854	3,536	25	13	12	0.46	0.70	0.34
計	125,893	49,385	76,508	480	251	229	0.38	0.51	0.30

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成29年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
62～24	7,808	7,740	99.1	5,184	67.0	2,529	32.7	27	0.3	3,741	48.3	68	0.9
25	436	430	98.6	305	70.9	125	29.1	0	0.0	227	52.8	6	1.4
26	446	440	98.7	301	68.4	137	31.1	2	0.5	225	51.1	6	1.3
27	468	464	99.1	316	68.1	148	31.9	0	0.0	230	49.6	4	0.9
28	414	407	98.3	297	73.0	109	26.8	1	0.2	233	57.2	7	1.7
29	404	400	99.0	292	73.0	106	26.5	2	0.5	204	51.0	4	1.0
計	9,976	9,881	99.0	6,695	67.8	3,154	31.9	32	0.3	4,860	49.2	95	1.0

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成29年度）

手術施行	早期がん		進行がん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
400	181	111	32	48	21	5	2

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

平成30年度は、78市町村¹⁾、6事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、140名（令和元年12月27日現在）のがんを発見した。

1) 札幌25・旭川26・釧路14市町村 2) 札幌4事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	12,242	5,143	3,527	3,572	1,104	379	132	593	11,138	4,764	3,395	2,979
事業所 ⁴⁾	715	364	295	56	587	341	190	56	128	23	105	0
個人 ⁵⁾	3,261	2,230	958	73	3,090	2,073	944	73	171	157	14	0
合 計	16,218	7,737	4,780	3,701	4,781	2,793	1,266	722	11,437	4,944	3,514	2,979

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの 5) 上記以外のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定められているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。平成30年度の受診総数について、前年度より減少していた平成29年度と比較して279名の増加があった（表1）。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は860名で、要精検率は5.3%であった。そのうち精検受診者数は733名であり、精検受診率は85.2%で、例年と大きな差はなかった（表1）。

【発見がんについて】

発見がん（率）は140名（0.9%）で、検診センター46名、検診車94名であった（表3）。

年齢階級別にみると、50歳～54歳の階級以降からがんが発見されており、75歳～79歳の階級で発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、初回受診者のがん発見率が最も高く、次いで2年前の受診者の発見率が高かった（表6）。

【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴って急増しており、現在は男性の11人に1人が罹患するといわれている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の働き盛りの世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

（保健師 勝藤 瞳）

表1 前立腺がん検診実施状況及び精検結果（累計）

平成9年度～平成30年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
9～25	125,989	7,938	6.3	6,044	76.1	1,348	2,179	1,524	993
26	14,825	776	5.2	624	80.4	137	177	175	135
27	16,208	770	4.8	641	83.2	162	167	175	137
28	16,587	724	4.4	610	84.3	141	165	182	122
29	15,939	824	5.2	691	83.9	138	215	193	145
30	16,218	860	5.3	733	85.2	140	222	234	137
計	205,766	11,892	5.8	9,343	78.6	2,066	3,125	2,483	1,669

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～平成30年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
9～25	125,989	39,578	86,411	1,348	1.07	472	1.19	876	1.01	16.98
26	14,825	4,974	9,851	137	0.92	47	0.94	90	0.91	17.65
27	16,208	5,113	11,095	162	1.00	53	1.04	109	0.98	21.04
28	16,587	5,079	11,508	141	0.85	51	1.00	90	0.78	19.48
29	15,939	4,844	11,095	138	0.87	42	0.87	96	0.87	16.75
30	16,218	4,781	11,437	140	0.86	46	0.96	94	0.82	16.28
計	205,766	64,369	141,397	2,066	1.00	711	1.10	1,355	0.96	

表3 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（平成30年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数					精 検 受 診 者 数		発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)	
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車		発見 率 (%)
札幌	7,737	2,793	4,944	416	5.4	127	4.5	289	5.8	361	86.8	77	1.0	32	1.1	45	0.9	18.51
旭川	4,780	1,266	3,514	230	4.8	57	4.5	173	4.9	190	82.6	36	0.8	8	0.6	28	0.8	15.65
釧路	3,701	722	2,979	214	5.8	29	4.0	185	6.2	182	85.0	27	0.7	6	0.8	21	0.7	12.62
総数	16,218	4,781	11,437	860	5.3	213	4.5	647	5.7	733	85.2	140	0.9	46	1.0	94	0.8	16.28

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～平成29年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,164	0	0.00
40～49	6,807	2	0.03
50～59	31,652	72	0.23
60～69	78,639	703	0.89
70～	71,256	1,149	1.61
年齢不詳	30	0	0.00
総 数	189,548	1,926	1.02

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（平成30年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	4,574	75	1.64
1年前	9,319	43	0.46
2年前	1,708	14	0.82
3年前	617	8	1.30
計	16,218	140	0.86

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（平成30年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	108	0	0.00
40～44	299	0	0.00
45～49	388	0	0.00
50～54	1,046	1	0.10
55～59	1,294	4	0.31
60～64	1,910	14	0.73
65～69	4,127	40	0.97
70～74	3,698	45	1.22
75～79	2,109	28	1.33
80～	1,239	8	0.65
総 数	16,218	140	0.86

※5歳階級表

3 健康診査の成績

健康診査

各市町村と契約し、国民健康保険加入者、その他の健康保険組合加入者の特定健康診査ならびに後期高齢者の健康診査、市町村の一般健康診査を実施している。

平成30年度は、94市町村¹⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりである。

1) 札幌41・旭川32・釧路21市町村

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ²⁾	54,963	27,063	17,559	10,341	10,224	6,422	2,796	1,006	44,739	20,641	14,763	9,335
その他 ³⁾	45,496	31,226	7,722	6,548	19,883	12,096	4,002	3,785	25,613	19,130	3,720	2,763
合 計	100,459	58,289	25,281	16,889	30,107	18,518	6,798	4,791	70,352	39,771	18,483	12,098

2) 実施主体が市町村国民健康保険、後期高齢者健康保険組合、市町村のもの

3) 実施主体がその他の健康保険組合のもの

○市町村健康診査

表1・2について、市町村健康診査の実施数をまとめたものです。

【表について】

特定健診が開始された平成20年度以降は、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、集計項目を表2のとおり変更した。

要指導・要医療の基準値については、厚生労働省健康局や各専門学会のガイドラインを参考に定めている。

また、現在治療中の者は要医療に含めている。

貧血検査、腎機能検査については、市町村の選択項目であるため、市町村によって対象者が異なる。

【受診動向について】

平成30年度の受診総数は54,963名であり、巡回検診、施設検診ともに増加し合計で前年度より1,964名増加した。健診結果別にみると、「異常なし」は1,906名、「要指導」は17,069名、「要医療（治療継続を含む）」は35,988名で、「要指導」・「要医療」をあわせると約96.5%となり、ほとんどの者が、いずれかの項目で要指導以上の判定となっている（表2）。

【各項目について】

各項目において、予備群以上に該当する者・有病者ともに、脂質異常、高血圧、糖尿病、肝疾患の順に多かった。喫煙率（総受診数における現在喫煙している者の数）は14.0%と前年度と同様だった。

【まとめ】

メタボリックシンドロームによる動脈硬化性疾患の発症を予防するためには、特定健診を受診し自身の健康状況を知ることが重要である。受診率向上のため各市町村と連携しながら、健診の周知・受診勧奨・受診しやすい環境づくり等に力を入れていきたい。

（保健師 吉川 泰代）

表1 基本健康診査

平成5年度～平成19年度

年 度	受診者数	異常なし	要指導	要医療	要 医 療 内 訳						
					循環器疾患	貧 血	肝疾患	糖尿病	尿路系疾患	腎機能障害	その他
5～15	203,295	35,450	57,453	110,392	86,568	4,467	18,718	14,006	13,884	2,007	22,284
16	34,512	5,184	11,020	18,308	15,075	772	2,815	2,641	1,719	463	5,061
17	36,581	5,442	12,199	18,940	15,771	792	3,067	2,878	1,645	589	4,380
18	45,650	6,395	12,919	26,336	22,633	1,052	3,377	4,307	1,962	905	6,130
19	50,399	7,548	14,269	28,582	23,234	1,237	3,930	4,735	2,037	769	7,516
計	370,437	60,019	107,860	202,558	163,281	8,320	31,907	28,567	21,247	4,733	45,371

注) 1人で2以上の疾患を有するものがあるため要医療と要医療内訳の計は一致しない。

要医療はすでに治療継続中も含む。

平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

表2 健康診査

平成20年度～平成30年度

年 度	受診者数	異常なし	要指導	要医療	要指導・要医療内訳										喫煙率 (%)		
					高 血 圧			脂質異常		糖 尿 病		肝疾患(疑いを含む)		貧血(注1) (疑いを含む)		腎機能障害(注1) (疑いを含む)	
					(再 掲)		(再掲)	(再掲)		(再掲)	(再掲)						
					予備群	有病者		予備群	有病者								
20～25	286,579	15,659	100,212	170,708	139,428	58,924	80,504	47,357	6,456	172,333	158,417	13,916	67,608	39,219	19,165	8,684	13.0
26	52,299	3,304	14,201	34,794	25,219	10,794	14,425	32,410	16,703	21,454	17,836	3,618	12,692	9,487	2,873	2,318	14.3
27	57,054	3,360	16,459	37,235	28,537	11,933	16,604	35,547	18,641	24,497	20,303	4,194	13,710	10,231	3,416	2,872	14.3
28	55,824	3,092	15,921	36,811	28,712	11,744	16,968	34,296	17,561	24,029	19,806	4,223	13,291	9,878	3,192	2,776	14.3
29	52,999	2,436	15,081	35,482	27,873	11,437	16,436	31,949	15,797	25,256	21,037	4,219	13,057	9,815	2,906	2,758	14.0
30	54,963	1,906	17,069	35,988	27,712	11,250	16,462	33,861	17,095	25,594	27,630	4,117	13,254	9,790	3,051	3,053	14.0
計	559,718	29,757	178,943	351,018	277,481	116,082	161,399	215,420	92,253	293,163	265,029	34,287	133,612	88,420	34,603	22,461	

※1人で2つ以上の疾患を有する場合があるため、要医療と要医療内訳の計は一致しない。

※要医療はすでに治療継続中も含む。

※平成20年度より、健康増進法施行規則第4条の2に基づき、表2の健診診査に変わった。

注1) 貧血検査と腎機能検査は、市町村が実施対象者を選択するため全数ではない。

【特定健診】メタボリック判定結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		非 該 当		予 備 群 該 当		基 準 該 当		判 定 不 能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	1	1	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	34	26	76.5	6	17.6	1	2.9	1	2.9
	25～29歳	77	56	72.7	11	14.3	6	7.8	4	5.2
	30～34歳	223	177	79.4	31	13.9	11	4.9	4	1.8
	35～39歳	359	250	69.6	68	18.9	32	8.9	9	2.5
	40～44歳	852	549	64.4	186	21.8	116	13.6	1	0.1
	45～49歳	899	549	61.1	177	19.7	173	19.2		0.0
	50～54歳	966	578	59.8	198	20.5	190	19.7		0.0
	55～59歳	1,092	618	56.6	221	20.2	252	23.1	1	0.1
	60～64歳	1,958	1,036	52.9	370	18.9	551	28.1	1	0.1
	65～69歳	4,951	2,616	52.8	909	18.4	1,400	28.3	26	0.5
	70～74歳	5,638	3,080	54.6	945	16.8	1,572	27.9	41	0.7
	75～79歳	3,693	1,316	35.6	398	10.8	598	16.2	1,381	37.4
	80歳以上	2,617	828	31.6	258	9.9	374	14.3	1,157	44.2
小 計	23,360	11,680	50.0	3,778	16.2	5,276	22.6	2,626	11.2	
女 性	～19歳	6	6	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	51	47	92.2	1	2.0	1	2.0	2	3.9
	25～29歳	138	131	94.9	1	0.7	1	0.7	5	3.6
	30～34歳	429	400	93.0	9	2.1	5	1.2	15	3.5
	35～39歳	728	680	93.4	20	2.7	7	1.0	21	2.9
	40～44歳	1,447	1,350	93.3	70	4.8	25	1.7	2	0.1
	45～49歳	1,548	1,418	91.6	86	5.6	41	2.6	3	0.2
	50～54歳	1,750	1,546	88.3	107	6.1	96	5.5	1	0.1
	55～59歳	2,217	1,958	88.3	117	5.3	141	6.4	1	0.0
	60～64歳	3,761	3,306	87.9	200	5.3	255	6.8		0.0
	65～69歳	7,772	6,662	85.7	443	5.7	644	8.3	23	0.3
	70～74歳	7,619	6,509	85.4	403	5.3	671	8.8	36	0.5
	75～79歳	4,459	2,385	53.5	164	3.7	288	6.5	1,622	36.4
	80歳以上	2,411	1,159	48.1	80	3.3	140	5.8	1,032	42.8
小 計	34,336	27,557	80.3	1,701	5.0	2,315	6.7	2,763	8.0	
総 数	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	85	73	85.9	7	8.2	2	2.4	3	3.5
	25～29歳	215	187	87.0	12	5.6	7	3.3	9	4.2
	30～34歳	652	577	88.5	40	6.1	16	2.5	19	2.9
	35～39歳	1,087	930	85.6	88	8.1	39	3.6	30	2.8
	40～44歳	2,299	1,899	82.6	256	11.1	141	6.1	3	0.1
	45～49歳	2,447	1,967	80.4	263	10.7	214	8.7	3	0.1
	50～54歳	2,716	2,124	78.2	305	11.2	286	10.5	1	0.0
	55～59歳	3,309	2,576	77.8	338	10.2	393	11.9	2	0.1
	60～64歳	5,719	4,342	75.9	570	10.0	806	14.1	1	0.0
	65～69歳	12,723	9,278	72.9	1,352	10.6	2,044	16.1	49	0.4
	70～74歳	13,257	9,589	72.3	1,348	10.2	2,243	16.9	77	0.6
	75～79歳	8,152	3,701	45.4	562	6.9	886	10.9	3,003	36.8
	80歳以上	5,028	1,987	39.5	338	6.7	514	10.2	2,189	43.5
合 計	57,696	39,237	68.0	5,479	9.5	7,591	13.2	5,389	9.3	

メタボリックシンドローム判定結果

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、57,696人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性23,360人（40.5%）女性34,336人（59.5%）であった。

また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する予備軍該当者が9.5%、いずれか2項目以上が該当する基準該当が13.2%、非該当は68.0%であった。腹囲未実施など、判定条件をみたまらず判定不能となったものが9.3%あった。

男性では予備軍該当が16.2%、基準該当が22.6%、非該当が50.0%であり、女性では予備軍該当が5.0%、基準該当が6.7%、非該当が80.3%であった。

【特定健診】腹囲測定結果

平成30年度

	受診者数	判 定				
		男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上		
		(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0
	20～24歳	33	25	75.8	8	24.2
	25～29歳	73	45	61.6	28	38.4
	30～34歳	219	137	62.6	82	37.4
	35～39歳	350	190	54.3	160	45.7
	40～44歳	851	429	50.4	422	49.6
	45～49歳	899	446	49.6	453	50.4
	50～54歳	966	468	48.4	498	51.6
	55～59歳	1,091	535	49.0	556	51.0
	60～64歳	1,957	914	46.7	1,043	53.3
	65～69歳	4,925	2,373	48.2	2,552	51.8
	70～74歳	5,597	2,862	51.1	2,735	48.9
	75～79歳	2,312	1,246	53.9	1,066	46.1
	80歳以上	1,460	798	54.7	662	45.3
小 計	20,734	10,469	50.5	10,265	49.5	
女 性	～19歳	6	5	83.3	1	16.7
	20～24歳	49	47	95.9	2	4.1
	25～29歳	133	119	89.5	14	10.5
	30～34歳	414	385	93.0	29	7.0
	35～39歳	707	649	91.8	58	8.2
	40～44歳	1,445	1,260	87.2	185	12.8
	45～49歳	1,545	1,351	87.4	194	12.6
	50～54歳	1,749	1,474	84.3	275	15.7
	55～59歳	2,216	1,878	84.7	338	15.3
	60～64歳	3,761	3,195	85.0	566	15.0
	65～69歳	7,749	6,545	84.5	1,204	15.5
	70～74歳	7,584	6,386	84.2	1,198	15.8
	75～79歳	2,837	2,354	83.0	483	17.0
	80歳以上	1,379	1,149	83.3	230	16.7
小 計	31,574	26,797	84.9	4,777	15.1	
総 数	～19歳	7	6	85.7	1	14.3
	20～24歳	82	72	87.8	10	12.2
	25～29歳	206	164	79.6	42	20.4
	30～34歳	633	522	82.5	111	17.5
	35～39歳	1,057	839	79.4	218	20.6
	40～44歳	2,296	1,689	73.6	607	26.4
	45～49歳	2,444	1,797	73.5	647	26.5
	50～54歳	2,715	1,942	71.5	773	28.5
	55～59歳	3,307	2,413	73.0	894	27.0
	60～64歳	5,718	4,109	71.9	1,609	28.1
	65～69歳	12,674	8,918	70.4	3,756	29.6
	70～74歳	13,181	9,248	70.2	3,933	29.8
	75～79歳	5,149	3,600	69.9	1,549	30.1
	80歳以上	2,839	1,947	68.6	892	31.4
合 計	52,308	37,266	71.2	15,042	28.8	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、52,308人に腹囲測定を行った。
男女別では、男性20,734人（39.6%）女性31,574人（60.4%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

男性85女性90cm未満の異常なし（精検不要）71.2%、男性85女性90cm以上の要指導は28.8%であった。

【特定健診】 血圧測定結果

平成30年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	22	19	86.4	3	13.6	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	45	36	80.0	9	20.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	93	69	74.2	22	23.7	0	0.0	2	2.2
	30～34歳	234	196	83.8	34	14.5	1	0.4	3	1.3
	35～39歳	366	283	77.3	67	18.3	10	2.7	6	1.6
	40～44歳	860	588	68.4	203	23.6	35	4.1	34	4.0
	45～49歳	904	553	61.2	220	24.3	81	9.0	50	5.5
	50～54歳	976	551	56.5	245	25.1	141	14.4	39	4.0
	55～59歳	1,103	510	46.2	289	26.2	234	21.2	70	6.3
	60～64歳	1,968	689	35.0	581	29.5	604	30.7	94	4.8
	65～69歳	4,954	1,387	28.0	1,397	28.2	1,882	38.0	288	5.8
	70～74歳	5,647	1,332	23.6	1,449	25.7	2,533	44.9	333	5.9
	75～79歳	3,761	777	20.7	890	23.7	1,906	50.7	188	5.0
	80歳以上	2,703	426	15.8	591	21.9	1,519	56.2	167	6.2
小計	23,636	7,416	31.4	6,000	25.4	8,946	37.8	1,274	5.4	
女性	～19歳	16	15	93.8	0	0.0	0	0.0	1	6.3
	20～24歳	57	52	91.2	3	5.3	1	1.8	1	1.8
	25～29歳	145	140	96.6	5	3.4	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	438	413	94.3	22	5.0	2	0.5	1	0.2
	35～39歳	729	667	91.5	54	7.4	5	0.7	3	0.4
	40～44歳	1,447	1,257	86.9	137	9.5	33	2.3	20	1.4
	45～49歳	1,549	1,224	79.0	245	15.8	58	3.7	22	1.4
	50～54歳	1,760	1,241	70.5	304	17.3	175	9.9	40	2.3
	55～59歳	2,228	1,396	62.7	459	20.6	314	14.1	59	2.6
	60～64歳	3,771	2,083	55.2	817	21.7	752	19.9	119	3.2
	65～69歳	7,778	3,342	43.0	2,022	26.0	2,128	27.4	286	3.7
	70～74歳	7,627	2,549	33.4	1,951	25.6	2,806	36.8	321	4.2
	75～79歳	4,566	1,184	25.9	1,107	24.2	2,101	46.0	174	3.8
	80歳以上	2,550	441	17.3	552	21.6	1,430	56.1	127	5.0
小計	34,661	16,004	46.2	7,678	22.2	9,805	28.3	1,174	3.4	
総数	～19歳	38	34	89.5	3	7.9	0	0.0	1	2.6
	20～24歳	102	88	86.3	12	11.8	1	1.0	1	1.0
	25～29歳	238	209	87.8	27	11.3	0	0.0	2	0.8
	30～34歳	672	609	90.6	56	8.3	3	0.4	4	0.6
	35～39歳	1,095	950	86.8	121	11.1	15	1.4	9	0.8
	40～44歳	2,307	1,845	80.0	340	14.7	68	2.9	54	2.3
	45～49歳	2,453	1,777	72.4	465	19.0	139	5.7	72	2.9
	50～54歳	2,736	1,792	65.5	549	20.1	316	11.5	79	2.9
	55～59歳	3,331	1,906	57.2	748	22.5	548	16.5	129	3.9
	60～64歳	5,739	2,772	48.3	1,398	24.4	1,356	23.6	213	3.7
	65～69歳	12,732	4,729	37.1	3,419	26.9	4,010	31.5	574	4.5
	70～74歳	13,274	3,881	29.2	3,400	25.6	5,339	40.2	654	4.9
	75～79歳	8,327	1,961	23.5	1,997	24.0	4,007	48.1	362	4.3
	80歳以上	5,253	867	16.5	1,143	21.8	2,949	56.1	294	5.6
合計	58,297	23,420	40.2	13,678	23.5	18,751	32.2	2,448	4.2	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,297人に血圧測定を行った。
 男女別では、男性23,636人（40.5%）女性34,661人（59.5%）であった。
 また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）40.2%、要指導23.5%、治療継続32.2%、要医療4.2%であった。

【特定健診】血中脂質検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	24	19	79.2	5	20.8	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	45	35	77.8	7	15.6	0	0.0	3	6.7
	25～29歳	93	49	52.7	35	37.6	2	2.2	7	7.5
	30～34歳	235	120	51.1	91	38.7	2	0.9	22	9.4
	35～39歳	366	144	39.3	177	48.4	6	1.6	39	10.7
	40～44歳	860	271	31.5	446	51.9	39	4.5	104	12.1
	45～49歳	904	266	29.4	456	50.4	84	9.3	98	10.8
	50～54歳	976	264	27.0	494	50.6	112	11.5	106	10.9
	55～59歳	1,103	271	24.6	540	49.0	181	16.4	111	10.1
	60～64歳	1,968	478	24.3	937	47.6	396	20.1	157	8.0
	65～69歳	4,955	1,214	24.5	2,264	45.7	1,191	24.0	286	5.8
	70～74歳	5,648	1,526	27.0	2,441	43.2	1,388	24.6	293	5.2
	75～79歳	3,761	1,181	31.4	1,475	39.2	970	25.8	135	3.6
	80歳以上	2,703	986	36.5	974	36.0	666	24.6	77	2.8
小 計	23,641	6,824	28.9	10,342	43.7	5,037	21.3	1,438	6.1	
女 性	～19歳	17	14	82.4	3	17.6	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	57	48	84.2	9	15.8	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	145	102	70.3	42	29.0	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	438	289	66.0	137	31.3	4	0.9	8	1.8
	35～39歳	730	478	65.5	235	32.2	2	0.3	15	2.1
	40～44歳	1,447	840	58.1	552	38.1	15	1.0	40	2.8
	45～49歳	1,549	733	47.3	689	44.5	47	3.0	80	5.2
	50～54歳	1,760	513	29.1	979	55.6	135	7.7	133	7.6
	55～59歳	2,228	500	22.4	1,195	53.6	347	15.6	186	8.3
	60～64歳	3,773	632	16.8	1,927	51.1	895	23.7	319	8.5
	65～69歳	7,780	1,286	16.5	3,729	47.9	2,267	29.1	498	6.4
	70～74歳	7,626	1,277	16.7	3,299	43.3	2,706	35.5	344	4.5
	75～79歳	4,567	840	18.4	1,764	38.6	1,804	39.5	159	3.5
	80歳以上	2,550	603	23.6	932	36.5	925	36.3	90	3.5
小 計	34,667	8,155	23.5	15,492	44.7	9,147	26.4	1,873	5.4	
総 数	～19歳	41	33	80.5	8	19.5	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	102	83	81.4	16	15.7	0	0.0	3	2.9
	25～29歳	238	151	63.4	77	32.4	2	0.8	8	3.4
	30～34歳	673	409	60.8	228	33.9	6	0.9	30	4.5
	35～39歳	1,096	622	56.8	412	37.6	8	0.7	54	4.9
	40～44歳	2,307	1,111	48.2	998	43.3	54	2.3	144	6.2
	45～49歳	2,453	999	40.7	1,145	46.7	131	5.3	178	7.3
	50～54歳	2,736	777	28.4	1,473	53.8	247	9.0	239	8.7
	55～59歳	3,331	771	23.1	1,735	52.1	528	15.9	297	8.9
	60～64歳	5,741	1,110	19.3	2,864	49.9	1,291	22.5	476	8.3
	65～69歳	12,735	2,500	19.6	5,993	47.1	3,458	27.2	784	6.2
	70～74歳	13,274	2,803	21.1	5,740	43.2	4,094	30.8	637	4.8
	75～79歳	8,328	2,021	24.3	3,239	38.9	2,774	33.3	294	3.5
	80歳以上	5,253	1,589	30.2	1,906	36.3	1,591	30.3	167	3.2
合 計	58,308	14,979	25.7	25,834	44.3	14,184	24.3	3,311	5.7	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,308人に血中脂質検査を行った。
男女別では、男性23,641人（40.5%）女性34,667人（59.5%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）25.7%、要指導44.3%、治療継続24.3%、要医療5.7%であった。

【特定健診】糖代謝検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	24	23	95.8	1	4.2	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	45	34	75.6	11	24.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	93	76	81.7	16	17.2	0	0.0	1	1.1
	30～34歳	235	178	75.7	54	23.0	2	0.9	1	0.4
	35～39歳	367	253	68.9	106	28.9	4	1.1	4	1.1
	40～44歳	860	514	59.8	310	36.0	19	2.2	17	2.0
	45～49歳	904	487	53.9	353	39.0	36	4.0	28	3.1
	50～54歳	976	455	46.6	424	43.4	61	6.3	36	3.7
	55～59歳	1,103	418	37.9	539	48.9	88	8.0	58	5.3
	60～64歳	1,968	652	33.1	1,037	52.7	172	8.7	107	5.4
	65～69歳	4,955	1,488	30.0	2,566	51.8	636	12.8	265	5.3
	70～74歳	5,648	1,574	27.9	2,953	52.3	813	14.4	308	5.5
	75～79歳	3,761	1,006	26.7	2,014	53.5	525	14.0	216	5.7
80歳以上	2,703	713	26.4	1,455	53.8	366	13.5	169	6.3	
小 計	23,642	7,871	33.3	11,839	50.1	2,722	11.5	1,210	5.1	
女 性	～19歳	17	15	88.2	1	5.9	0	0.0	1	5.9
	20～24歳	57	53	93.0	4	7.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	145	126	86.9	18	12.4	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	438	370	84.5	66	15.1	2	0.5	0	0.0
	35～39歳	730	554	75.9	168	23.0	2	0.3	6	0.8
	40～44歳	1,447	1,105	76.4	318	22.0	16	1.1	8	0.6
	45～49歳	1,549	1,085	70.0	429	27.7	23	1.5	12	0.8
	50～54歳	1,760	1,081	61.4	604	34.3	44	2.5	31	1.8
	55～59歳	2,228	1,143	51.3	974	43.7	71	3.2	40	1.8
	60～64歳	3,773	1,648	43.7	1,898	50.3	140	3.7	87	2.3
	65～69歳	7,780	2,909	37.4	4,246	54.6	440	5.7	185	2.4
	70～74歳	7,626	2,388	31.3	4,483	58.8	524	6.9	231	3.0
	75～79歳	4,567	1,443	31.6	2,641	57.8	345	7.6	138	3.0
80歳以上	2,550	735	28.8	1,468	57.6	242	9.5	105	4.1	
小 計	34,667	14,655	42.3	17,318	50.0	1,849	5.3	845	2.4	
総 数	～19歳	41	38	92.7	2	4.9	0	0.0	1	2.4
	20～24歳	102	87	85.3	15	14.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	238	202	84.9	34	14.3	0	0.0	2	0.8
	30～34歳	673	548	81.4	120	17.8	4	0.6	1	0.1
	35～39歳	1,097	807	73.6	274	25.0	6	0.5	10	0.9
	40～44歳	2,307	1,619	70.2	628	27.2	35	1.5	25	1.1
	45～49歳	2,453	1,572	64.1	782	31.9	59	2.4	40	1.6
	50～54歳	2,736	1,536	56.1	1,028	37.6	105	3.8	67	2.4
	55～59歳	3,331	1,561	46.9	1,513	45.4	159	4.8	98	2.9
	60～64歳	5,741	2,300	40.1	2,935	51.1	312	5.4	194	3.4
	65～69歳	12,735	4,397	34.5	6,812	53.5	1,076	8.4	450	3.5
	70～74歳	13,274	3,962	29.8	7,436	56.0	1,337	10.1	539	4.1
	75～79歳	8,328	2,449	29.4	4,655	55.9	870	10.4	354	4.3
80歳以上	5,253	1,448	27.6	2,923	55.6	608	11.6	274	5.2	
合 計	58,309	22,526	38.6	29,157	50.0	4,571	7.8	2,055	3.5	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,309人に糖代謝検査を行った。男女別では、男性23,642人（40.5%）女性34,667人（59.5%）であった。また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）38.6%、要指導50.0%、治療継続7.8%、要医療3.5%であった。

【特定健診】尿検査（蛋白）結果

平成30年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	23	22	95.7	0	0.0	1	4.3
	20～24歳	46	45	97.8	0	0.0	1	2.2
	25～29歳	93	93	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	235	233	99.1	0	0.0	2	0.9
	35～39歳	366	358	97.8	2	0.5	6	1.6
	40～44歳	856	831	97.1	9	1.1	16	1.9
	45～49歳	902	880	97.6	7	0.8	15	1.7
	50～54歳	972	943	97.0	8	0.8	21	2.2
	55～59歳	1,101	1,068	97.0	14	1.3	19	1.7
	60～64歳	1,962	1,896	96.6	25	1.3	41	2.1
	65～69歳	4,948	4,784	96.7	51	1.0	113	2.3
	70～74歳	5,640	5,407	95.9	52	0.9	181	3.2
	75～79歳	3,760	3,588	95.4	36	1.0	136	3.6
	80歳以上	2,702	2,554	94.5	31	1.1	117	4.3
小計	23,606	22,702	96.2	235	1.0	669	2.8	
女 性	～19歳	13	13	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	57	56	98.2	0	0.0	1	1.8
	25～29歳	144	141	97.9	2	1.4	1	0.7
	30～34歳	436	431	98.9	1	0.2	4	0.9
	35～39歳	728	713	97.9	6	0.8	9	1.2
	40～44歳	1,443	1,414	98.0	12	0.8	17	1.2
	45～49歳	1,546	1,514	97.9	10	0.6	22	1.4
	50～54歳	1,756	1,734	98.7	7	0.4	15	0.9
	55～59歳	2,225	2,207	99.2	7	0.3	11	0.5
	60～64歳	3,766	3,735	99.2	14	0.4	17	0.5
	65～69歳	7,764	7,695	99.1	21	0.3	48	0.6
	70～74歳	7,616	7,544	99.1	21	0.3	51	0.7
	75～79歳	4,565	4,473	98.0	23	0.5	69	1.5
	80歳以上	2,549	2,477	97.2	5	0.2	67	2.6
小計	34,608	34,147	98.5	129	0.4	332	1.0	
総 数	～19歳	36	35	97.2	0	0.0	1	2.8
	20～24歳	103	101	98.1	0	0.0	2	1.9
	25～29歳	237	234	98.7	2	0.8	1	0.4
	30～34歳	671	664	99.0	1	0.1	6	0.9
	35～39歳	1,094	1,071	97.9	8	0.7	15	1.4
	40～44歳	2,299	2,245	97.7	21	0.9	33	1.4
	45～49歳	2,448	2,394	97.8	17	0.7	37	1.5
	50～54歳	2,728	2,677	98.1	15	0.5	36	1.3
	55～59歳	3,326	3,275	98.5	21	0.6	30	0.9
	60～64歳	5,728	5,631	98.3	39	0.7	58	1.0
	65～69歳	12,712	12,479	98.2	72	0.6	161	1.3
	70～74歳	13,256	12,951	97.7	73	0.6	232	1.8
	75～79歳	8,325	8,061	96.8	59	0.7	205	2.5
	80歳以上	5,251	5,031	95.8	36	0.7	184	3.5
合計	58,214	56,849	97.8	364	0.6	1,001	1.7	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,214人に尿蛋白検査を行った。
男女別では、男性23,606人（40.5%）女性34,608人（59.5%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.8%、要指導0.6%、要医療1.7%であった。

【特定健診】尿検査（糖）結果

平成30年度

	受診者数	判 定						
		異常なし		要 指 導		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	23	23	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	46	45	97.8	0	0.0	1	2.2
	25～29歳	93	93	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	235	233	99.1	0	0.0	2	0.9
	35～39歳	366	362	98.9	0	0.0	4	1.1
	40～44歳	856	830	97.0	0	0.0	26	3.0
	45～49歳	902	874	96.9	0	0.0	28	3.1
	50～54歳	972	921	94.8	0	0.0	51	5.2
	55～59歳	1,101	1,026	93.2	0	0.0	75	6.8
	60～64歳	1,962	1,852	94.4	0	0.0	110	5.6
	65～69歳	4,948	4,629	93.6	0	0.0	319	6.4
	70～74歳	5,640	5,315	94.2	0	0.0	325	5.8
	75～79歳	3,760	3,535	94.0	0	0.0	225	6.0
	80歳以上	2,702	2,560	94.7	0	0.0	142	5.3
小 計	23,606	22,298	94.5	0	0.0	1,308	5.5	
女 性	～19歳	13	13	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	57	57	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	144	144	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	436	436	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	728	727	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	1,443	1,437	99.6	0	0.0	6	0.4
	45～49歳	1,546	1,534	99.2	0	0.0	12	0.8
	50～54歳	1,756	1,734	98.7	0	0.0	22	1.3
	55～59歳	2,225	2,197	98.7	0	0.0	28	1.3
	60～64歳	3,766	3,716	98.7	0	0.0	50	1.3
	65～69歳	7,764	7,645	98.5	0	0.0	119	1.5
	70～74歳	7,616	7,492	98.4	0	0.0	124	1.6
	75～79歳	4,565	4,488	98.3	0	0.0	77	1.7
	80歳以上	2,549	2,504	98.2	0	0.0	45	1.8
小 計	34,608	34,124	98.6	0	0.0	484	1.4	
総 数	～19歳	36	36	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	103	102	99.0	0	0.0	1	1.0
	25～29歳	237	237	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	671	669	99.7	0	0.0	2	0.3
	35～39歳	1,094	1,089	99.5	0	0.0	5	0.5
	40～44歳	2,299	2,267	98.6	0	0.0	32	1.4
	45～49歳	2,448	2,408	98.4	0	0.0	40	1.6
	50～54歳	2,728	2,655	97.3	0	0.0	73	2.7
	55～59歳	3,326	3,223	96.9	0	0.0	103	3.1
	60～64歳	5,728	5,568	97.2	0	0.0	160	2.8
	65～69歳	12,712	12,274	96.6	0	0.0	438	3.4
	70～74歳	13,256	12,807	96.6	0	0.0	449	3.4
	75～79歳	8,325	8,023	96.4	0	0.0	302	3.6
	80歳以上	5,251	5,064	96.4	0	0.0	187	3.6
合 計	58,214	56,422	96.9	0	0.0	1,792	3.1	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,214人に尿糖検査を行った。
男女別では、男性23,606人（40.5%）女性34,608人（59.5%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.9%、要医療3.1%であった。

【事業所健診】 診察結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有 所 見		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	248	246	99.2	2	0.8	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,019	988	97.0	31	3.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	847	842	99.4	4	0.5	0	0.0	1	0.1
	30～34歳	1,080	1,069	99.0	7	0.6	2	0.2	2	0.2
	35～39歳	1,281	1,269	99.1	8	0.6	3	0.2	1	0.1
	40～44歳	1,676	1,661	99.1	10	0.6	4	0.2	1	0.1
	45～49歳	1,712	1,698	99.2	8	0.5	1	0.1	5	0.3
	50～54歳	1,485	1,462	98.5	15	1.0	6	0.4	2	0.1
	55～59歳	1,386	1,363	98.3	13	0.9	7	0.5	3	0.2
	60～64歳	1,233	1,191	96.6	18	1.5	9	0.7	15	1.2
	65～69歳	911	873	95.8	13	1.4	16	1.8	9	1.0
	70～74歳	357	330	92.4	13	3.6	12	3.4	2	0.6
	75～79歳	66	59	89.4	2	3.0	2	3.0	3	4.5
	80歳以上	47	36	76.6	3	6.4	6	12.8	2	4.3
小 計	13,348	13,087	98.0	147	1.1	68	0.5	46	0.3	
女 性	～19歳	234	219	93.6	13	5.6	0	0.0	2	0.9
	20～24歳	945	898	95.0	38	4.0	8	0.8	1	0.1
	25～29歳	639	626	98.0	8	1.3	1	0.2	4	0.6
	30～34歳	630	625	99.2	3	0.5	1	0.2	1	0.2
	35～39歳	938	922	98.3	12	1.3	2	0.2	2	0.2
	40～44歳	1,862	1,840	98.8	17	0.9	3	0.2	2	0.1
	45～49歳	2,013	1,968	97.8	28	1.4	7	0.3	10	0.5
	50～54歳	1,732	1,703	98.3	23	1.3	1	0.1	5	0.3
	55～59歳	1,414	1,385	97.9	20	1.4	3	0.2	6	0.4
	60～64歳	1,102	1,079	97.9	12	1.1	2	0.2	9	0.8
	65～69歳	734	698	95.1	19	2.6	7	1.0	10	1.4
	70～74歳	253	244	96.4	4	1.6	3	1.2	2	0.8
	75～79歳	45	35	77.8	3	6.7	3	6.7	4	8.9
	80歳以上	130	78	60.0	21	16.2	17	13.1	14	10.8
小 計	12,671	12,320	97.2	221	1.7	58	0.5	72	0.6	
総 数	～19歳	482	465	96.5	15	3.1	0	0.0	2	0.4
	20～24歳	1,964	1,886	96.0	69	3.5	8	0.4	1	0.1
	25～29歳	1,486	1,468	98.8	12	0.8	1	0.1	5	0.3
	30～34歳	1,710	1,694	99.1	10	0.6	3	0.2	3	0.2
	35～39歳	2,219	2,191	98.7	20	0.9	5	0.2	3	0.1
	40～44歳	3,538	3,501	99.0	27	0.8	7	0.2	3	0.1
	45～49歳	3,725	3,666	98.4	36	1.0	8	0.2	15	0.4
	50～54歳	3,217	3,165	98.4	38	1.2	7	0.2	7	0.2
	55～59歳	2,800	2,748	98.1	33	1.2	10	0.4	9	0.3
	60～64歳	2,335	2,270	97.2	30	1.3	11	0.5	24	1.0
	65～69歳	1,645	1,571	95.5	32	1.9	23	1.4	19	1.2
	70～74歳	610	574	94.1	17	2.8	15	2.5	4	0.7
	75～79歳	111	94	84.7	5	4.5	5	4.5	7	6.3
	80歳以上	177	114	64.4	24	13.6	23	13.0	16	9.0
合 計	26,019	25,407	97.6	368	1.4	126	0.5	118	0.5	

実施状況

事業所健診のなかで、26,019人に診察を行った。

男女別では、男性13,348人（51.3%）女性12,671人（48.7%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）97.6%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回検診まで様子を見ていいもの（有所見）1.4%、要医療0.5%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	826	532	64.4	286	34.6	0	0.0	8	1.0
	20～24歳	2,334	1,533	65.7	775	33.2	3	0.1	23	1.0
	25～29歳	1,506	1,162	77.2	313	20.8	11	0.7	20	1.3
	30～34歳	1,587	1,232	77.6	325	20.5	14	0.9	16	1.0
	35～39歳	1,821	1,349	74.1	398	21.9	36	2.0	38	2.1
	40～44歳	2,749	1,898	69.0	619	22.5	158	5.7	74	2.7
	45～49歳	3,242	1,918	59.2	799	24.6	382	11.8	143	4.4
	50～54歳	3,159	1,623	51.4	798	25.3	607	19.2	131	4.1
	55～59歳	2,991	1,254	41.9	814	27.2	773	25.8	150	5.0
	60～64歳	2,155	769	35.7	522	24.2	770	35.7	94	4.4
	65～69歳	925	251	27.1	215	23.2	400	43.2	59	6.4
	70～74歳	358	93	26.0	82	22.9	172	48.0	11	3.1
	75～79歳	66	20	30.3	13	19.7	27	40.9	6	9.1
	80歳以上	47	7	14.9	7	14.9	32	68.1	1	2.1
小 計	23,766	13,641	57.4	5,966	25.1	3,385	14.2	774	3.3	
女 性	～19歳	761	693	91.1	64	8.4	0	0.0	4	0.5
	20～24歳	1,979	1,828	92.4	149	7.5	0	0.0	2	0.1
	25～29歳	1,039	996	95.9	37	3.6	3	0.3	3	0.3
	30～34歳	890	834	93.7	52	5.8	3	0.3	1	0.1
	35～39歳	1,229	1,105	89.9	96	7.8	14	1.1	14	1.1
	40～44歳	2,341	2,027	86.6	239	10.2	51	2.2	24	1.0
	45～49歳	2,514	1,995	79.4	354	14.1	113	4.5	52	2.1
	50～54歳	2,158	1,539	71.3	355	16.5	220	10.2	44	2.0
	55～59歳	1,751	1,176	67.2	287	16.4	249	14.2	39	2.2
	60～64歳	1,259	745	59.2	225	17.9	257	20.4	32	2.5
	65～69歳	735	357	48.6	172	23.4	190	25.9	16	2.2
	70～74歳	253	107	42.3	49	19.4	89	35.2	8	3.2
	75～79歳	45	6	13.3	9	20.0	25	55.6	5	11.1
	80歳以上	131	16	12.2	11	8.4	98	74.8	6	4.6
小 計	17,085	13,424	78.6	2,099	12.3	1,312	7.7	250	1.5	
総 数	～19歳	1,587	1,225	77.2	350	22.1	0	0.0	12	0.8
	20～24歳	4,313	3,361	77.9	924	21.4	3	0.1	25	0.6
	25～29歳	2,545	2,158	84.8	350	13.8	14	0.6	23	0.9
	30～34歳	2,477	2,066	83.4	377	15.2	17	0.7	17	0.7
	35～39歳	3,050	2,454	80.5	494	16.2	50	1.6	52	1.7
	40～44歳	5,090	3,925	77.1	858	16.9	209	4.1	98	1.9
	45～49歳	5,756	3,913	68.0	1,153	20.0	495	8.6	195	3.4
	50～54歳	5,317	3,162	59.5	1,153	21.7	827	15.6	175	3.3
	55～59歳	4,742	2,430	51.2	1,101	23.2	1,022	21.6	189	4.0
	60～64歳	3,414	1,514	44.3	747	21.9	1,027	30.1	126	3.7
	65～69歳	1,660	608	36.6	387	23.3	590	35.5	75	4.5
	70～74歳	611	200	32.7	131	21.4	261	42.7	19	3.1
	75～79歳	111	26	23.4	22	19.8	52	46.8	11	9.9
	80歳以上	178	23	12.9	18	10.1	130	73.0	7	3.9
合 計	40,851	27,065	66.3	8,065	19.7	4,697	11.5	1,024	2.5	

実施状況

事業所健診のなかで、40,851人に血圧測定を行った。

男女別では、男性23,766人（58.2%）女性17,085人（41.8%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）66.3%、要指導19.7%、治療継続11.5%、要医療2.5%であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

平成30年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	820	778	94.9	4	0.5	38	4.6
	20～24歳	3,073	2,950	96.0	18	0.6	105	3.4
	25～29歳	1,456	1,425	97.9	14	1.0	17	1.2
	30～34歳	1,540	1,508	97.9	9	0.6	23	1.5
	35～39歳	1,791	1,754	97.9	19	1.1	18	1.0
	40～44歳	2,726	2,663	97.7	33	1.2	30	1.1
	45～49歳	3,226	3,120	96.7	54	1.7	52	1.6
	50～54歳	3,155	3,025	95.9	75	2.4	55	1.7
	55～59歳	2,978	2,852	95.8	53	1.8	73	2.5
	60～64歳	2,151	2,062	95.9	46	2.1	43	2.0
	65～69歳	927	886	95.6	14	1.5	27	2.9
	70～74歳	361	346	95.8	2	0.6	13	3.6
	75～79歳	72	69	95.8	0	0.0	3	4.2
	80歳以上	55	45	81.8	1	1.8	9	16.4
小計	24,331	23,483	96.5	342	1.4	506	2.1	
女 性	～19歳	750	692	92.3	3	0.4	55	7.3
	20～24歳	2,686	2,572	95.8	22	0.8	92	3.4
	25～29歳	1,022	994	97.3	16	1.6	12	1.2
	30～34歳	874	845	96.7	18	2.1	11	1.3
	35～39歳	1,220	1,193	97.8	16	1.3	11	0.9
	40～44歳	2,323	2,281	98.2	28	1.2	14	0.6
	45～49歳	2,505	2,457	98.1	30	1.2	18	0.7
	50～54歳	2,148	2,110	98.2	18	0.8	20	0.9
	55～59歳	1,747	1,729	99.0	11	0.6	7	0.4
	60～64歳	1,254	1,243	99.1	5	0.4	6	0.5
	65～69歳	741	733	98.9	0	0.0	8	1.1
	70～74歳	254	252	99.2	1	0.4	1	0.4
	75～79歳	53	53	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	132	119	90.2	0	0.0	13	9.8
小計	17,709	17,273	97.5	168	0.9	268	1.5	
総 数	～19歳	1,570	1,470	93.6	7	0.4	93	5.9
	20～24歳	5,759	5,522	95.9	40	0.7	197	3.4
	25～29歳	2,478	2,419	97.6	30	1.2	29	1.2
	30～34歳	2,414	2,353	97.5	27	1.1	34	1.4
	35～39歳	3,011	2,947	97.9	35	1.2	29	1.0
	40～44歳	5,049	4,944	97.9	61	1.2	44	0.9
	45～49歳	5,731	5,577	97.3	84	1.5	70	1.2
	50～54歳	5,303	5,135	96.8	93	1.8	75	1.4
	55～59歳	4,725	4,581	97.0	64	1.4	80	1.7
	60～64歳	3,405	3,305	97.1	51	1.5	49	1.4
	65～69歳	1,668	1,619	97.1	14	0.8	35	2.1
	70～74歳	615	598	97.2	3	0.5	14	2.3
	75～79歳	125	122	97.6	0	0.0	3	2.4
	80歳以上	187	164	87.7	1	0.5	22	11.8
合計	42,040	40,756	96.9	510	1.2	774	1.8	

実施状況

事業所健診のなかで、42,040人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性24,331人（57.94%）女性17,709人（42.1%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.9%、要指導1.2%、要医療1.8%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

平成30年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	820	813	99.1	0	0.0	7	0.9
	20～24歳	3,073	3,046	99.1	0	0.0	27	0.9
	25～29歳	1,456	1,442	99.0	0	0.0	14	1.0
	30～34歳	1,540	1,513	98.2	0	0.0	27	1.8
	35～39歳	1,791	1,764	98.5	1	0.1	26	1.5
	40～44歳	2,726	2,641	96.9	4	0.1	81	3.0
	45～49歳	3,226	3,095	95.9	5	0.2	126	3.9
	50～54歳	3,155	2,975	94.3	10	0.3	170	5.4
	55～59歳	2,978	2,799	94.0	12	0.4	167	5.6
	60～64歳	2,151	2,027	94.2	9	0.4	115	5.3
	65～69歳	927	833	89.9	2	0.2	92	9.9
	70～74歳	361	325	90.0	0	0.0	36	10.0
	75～79歳	72	71	98.6	0	0.0	1	1.4
	80歳以上	55	48	87.3	0	0.0	7	12.7
小計	24,331	23,392	96.1	43	0.2	896	3.7	
女 性	～19歳	750	747	99.6	0	0.0	3	0.4
	20～24歳	2,686	2,669	99.4	0	0.0	17	0.6
	25～29歳	1,022	1,019	99.7	0	0.0	3	0.3
	30～34歳	874	873	99.9	0	0.0	1	0.1
	35～39歳	1,220	1,215	99.6	0	0.0	5	0.4
	40～44歳	2,323	2,304	99.2	1	0.0	18	0.8
	45～49歳	2,505	2,480	99.0	0	0.0	25	1.0
	50～54歳	2,148	2,115	98.5	0	0.0	33	1.5
	55～59歳	1,747	1,721	98.5	0	0.0	26	1.5
	60～64歳	1,254	1,227	97.8	0	0.0	27	2.2
	65～69歳	741	724	97.7	0	0.0	17	2.3
	70～74歳	254	250	98.4	0	0.0	4	1.6
	75～79歳	53	51	96.2	0	0.0	2	3.8
	80歳以上	132	130	98.5	0	0.0	2	1.5
小計	17,709	17,525	99.0	1	0.0	183	1.0	
総 数	～19歳	1,570	1,560	99.4	0	0.0	10	0.6
	20～24歳	5,759	5,715	99.2	0	0.0	44	0.8
	25～29歳	2,478	2,461	99.3	0	0.0	17	0.7
	30～34歳	2,414	2,386	98.8	0	0.0	28	1.2
	35～39歳	3,011	2,979	98.9	1	0.0	31	1.0
	40～44歳	5,049	4,945	97.9	5	0.1	99	2.0
	45～49歳	5,731	5,575	97.3	5	0.1	151	2.6
	50～54歳	5,303	5,090	96.0	10	0.2	203	3.8
	55～59歳	4,725	4,520	95.7	12	0.3	193	4.1
	60～64歳	3,405	3,254	95.6	9	0.3	142	4.2
	65～69歳	1,668	1,557	93.3	2	0.1	109	6.5
	70～74歳	615	575	93.5	0	0.0	40	6.5
	75～79歳	125	122	97.6	0	0.0	3	2.4
	80歳以上	187	178	95.2	0	0.0	9	4.8
合計	42,040	40,917	97.3	44	0.1	1,079	2.6	

実施状況

事業所健診のなかで、42,040人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性24,331人（57.94%）女性17,709人（42.1%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.3%、要指導0.1%、要医療2.6%であった。

【事業所健診】肝機能結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	729	593	81.3	83	11.4	0	0.0	53	7.3
	20～24歳	1,361	975	71.6	260	19.1	8	0.6	118	8.7
	25～29歳	1,210	770	63.6	297	24.5	3	0.2	140	11.6
	30～34歳	1,279	749	58.6	362	28.3	7	0.5	161	12.6
	35～39歳	1,690	958	56.7	455	26.9	17	1.0	260	15.4
	40～44歳	2,702	1,365	50.5	915	33.9	26	1.0	396	14.7
	45～49歳	3,196	1,581	49.5	1,053	32.9	55	1.7	507	15.9
	50～54歳	3,095	1,508	48.7	1,137	36.7	75	2.4	375	12.1
	55～59歳	2,929	1,455	49.7	1,007	34.4	91	3.1	376	12.8
	60～64歳	2,105	1,100	52.3	701	33.3	69	3.3	235	11.2
	65～69歳	899	480	53.4	271	30.1	26	2.9	122	13.6
	70～74歳	362	221	61.0	102	28.2	7	1.9	32	8.8
	75～79歳	74	53	71.6	16	21.6	0	0.0	5	6.8
80歳以上	60	43	71.7	14	23.3	1	1.7	2	3.3	
小 計	21,691	11,851	54.6	6,673	30.8	385	1.8	2,782	12.8	
女 性	～19歳	727	689	94.8	25	3.4	2	0.3	11	1.5
	20～24歳	943	895	94.9	34	3.6	2	0.2	12	1.3
	25～29歳	843	787	93.4	44	5.2	0	0.0	12	1.4
	30～34歳	732	675	92.2	48	6.6	1	0.1	8	1.1
	35～39歳	1,151	1,026	89.1	105	9.1	2	0.2	18	1.6
	40～44歳	2,302	1,999	86.8	230	10.0	18	0.8	55	2.4
	45～49歳	2,474	2,054	83.0	301	12.2	19	0.8	100	4.0
	50～54歳	2,118	1,686	79.6	315	14.9	19	0.9	98	4.6
	55～59歳	1,725	1,326	76.9	304	17.6	27	1.6	68	3.9
	60～64歳	1,232	943	76.5	212	17.2	18	1.5	59	4.8
	65～69歳	718	569	79.2	102	14.2	16	2.2	31	4.3
	70～74歳	250	192	76.8	35	14.0	8	3.2	15	6.0
	75～79歳	52	38	73.1	13	25.0	0	0.0	1	1.9
80歳以上	172	152	88.4	14	8.1	4	2.3	2	1.2	
小 計	15,439	13,031	84.4	1,782	11.5	136	0.9	490	3.2	
総 数	～19歳	1,456	1,282	88.0	108	7.4	2	0.1	64	4.4
	20～24歳	2,304	1,870	81.2	294	12.8	10	0.4	130	5.6
	25～29歳	2,053	1,557	75.8	341	16.6	3	0.1	152	7.4
	30～34歳	2,011	1,424	70.8	410	20.4	8	0.4	169	8.4
	35～39歳	2,841	1,984	69.8	560	19.7	19	0.7	278	9.8
	40～44歳	5,004	3,364	67.2	1,145	22.9	44	0.9	451	9.0
	45～49歳	5,670	3,635	64.1	1,354	23.9	74	1.3	607	10.7
	50～54歳	5,213	3,194	61.3	1,452	27.9	94	1.8	473	9.1
	55～59歳	4,654	2,781	59.8	1,311	28.2	118	2.5	444	9.5
	60～64歳	3,337	2,043	61.2	913	27.4	87	2.6	294	8.8
	65～69歳	1,617	1,049	64.9	373	23.1	42	2.6	153	9.5
	70～74歳	612	413	67.5	137	22.4	15	2.5	47	7.7
	75～79歳	126	91	72.2	29	23.0	0	0.0	6	4.8
80歳以上	232	195	84.1	28	12.1	5	2.2	4	1.7	
合 計	37,130	24,882	67.0	8,455	22.8	521	1.4	3,272	8.8	

実施状況

事業所健診のなかで、37,130人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性21,691人（58.4%）女性15,439人（41.6%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）67.0%、要指導22.8%、治療継続1.4%、要医療8.8%であった。

【事業所健診】 血中脂質検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	646	500	77.4	133	20.6	0	0.0	13	2.0
	20～24歳	1,312	819	62.4	427	32.5	4	0.3	62	4.7
	25～29歳	1,204	647	53.7	458	38.0	14	1.2	85	7.1
	30～34歳	1,273	543	42.7	600	47.1	21	1.6	109	8.6
	35～39歳	1,684	632	37.5	841	49.9	37	2.2	174	10.3
	40～44歳	2,699	818	30.3	1,368	50.7	163	6.0	350	13.0
	45～49歳	3,195	849	26.6	1,634	51.1	283	8.9	429	13.4
	50～54歳	3,095	747	24.1	1,532	49.5	432	14.0	384	12.4
	55～59歳	2,929	708	24.2	1,435	49.0	491	16.8	295	10.1
	60～64歳	2,105	534	25.4	950	45.1	419	19.9	202	9.6
	65～69歳	899	229	25.5	404	44.9	211	23.5	55	6.1
	70～74歳	362	92	25.4	166	45.9	86	23.8	18	5.0
	75～79歳	74	21	28.4	31	41.9	16	21.6	6	8.1
	80歳以上	60	26	43.3	20	33.3	13	21.7	1	1.7
小 計	21,537	7,165	33.3	9,999	46.4	2,190	10.2	2,183	10.1	
女 性	～19歳	600	461	76.8	133	22.2	0	0.0	6	1.0
	20～24歳	883	671	76.0	195	22.1	2	0.2	15	1.7
	25～29歳	835	608	72.8	210	25.1	2	0.2	15	1.8
	30～34歳	730	490	67.1	218	29.9	1	0.1	21	2.9
	35～39歳	1,149	734	63.9	359	31.2	15	1.3	41	3.6
	40～44歳	2,301	1,325	57.6	868	37.7	39	1.7	69	3.0
	45～49歳	2,474	1,181	47.7	1,064	43.0	91	3.7	138	5.6
	50～54歳	2,118	729	34.4	1,053	49.7	162	7.6	174	8.2
	55～59歳	1,725	398	23.1	871	50.5	269	15.6	187	10.8
	60～64歳	1,232	241	19.6	611	49.6	271	22.0	109	8.8
	65～69歳	718	144	20.1	353	49.2	180	25.1	41	5.7
	70～74歳	250	43	17.2	120	48.0	69	27.6	18	7.2
	75～79歳	52	9	17.3	30	57.7	12	23.1	1	1.9
	80歳以上	172	66	38.4	76	44.2	19	11.0	11	6.4
小 計	15,239	7,100	46.6	6,161	40.4	1,132	7.4	846	5.6	
総 数	～19歳	1,246	961	77.1	266	21.3	0	0.0	19	1.5
	20～24歳	2,195	1,490	67.9	622	28.3	6	0.3	77	3.5
	25～29歳	2,039	1,255	61.5	668	32.8	16	0.8	100	4.9
	30～34歳	2,003	1,033	51.6	818	40.8	22	1.1	130	6.5
	35～39歳	2,833	1,366	48.2	1,200	42.4	52	1.8	215	7.6
	40～44歳	5,000	2,143	42.9	2,236	44.7	202	4.0	419	8.4
	45～49歳	5,669	2,030	35.8	2,698	47.6	374	6.6	567	10.0
	50～54歳	5,213	1,476	28.3	2,585	49.6	594	11.4	558	10.7
	55～59歳	4,654	1,106	23.8	2,306	49.5	760	16.3	482	10.4
	60～64歳	3,337	775	23.2	1,561	46.8	690	20.7	311	9.3
	65～69歳	1,617	373	23.1	757	46.8	391	24.2	96	5.9
	70～74歳	612	135	22.1	286	46.7	155	25.3	36	5.9
	75～79歳	126	30	23.8	61	48.4	28	22.2	7	5.6
	80歳以上	232	92	39.7	96	41.4	32	13.8	12	5.2
合 計	36,776	14,265	38.8	16,160	43.9	3,322	9.0	3,029	8.2	

実施状況

事業所健診のなかで、36,776人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性21,537人（58.6%）女性15,239人（41.4%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）38.8%、要指導43.9%、治療継続9.0%、要医療8.2%であった。

【事業所健診】糖代謝検査結果

平成30年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	548	526	96.0	20	3.6	0	0.0	2	0.4
	20～24歳	1,710	1,606	93.9	90	5.3	4	0.2	10	0.6
	25～29歳	1,473	1,358	92.2	93	6.3	5	0.3	17	1.2
	30～34歳	1,585	1,397	88.1	157	9.9	11	0.7	20	1.3
	35～39歳	1,817	1,529	84.1	241	13.3	20	1.1	27	1.5
	40～44歳	2,746	2,068	75.3	532	19.4	87	3.2	59	2.1
	45～49歳	3,241	2,146	66.2	834	25.7	172	5.3	89	2.7
	50～54歳	3,158	1,790	56.7	999	31.6	259	8.2	110	3.5
	55～59歳	2,985	1,486	49.8	1,060	35.5	305	10.2	134	4.5
	60～64歳	2,153	1,040	48.3	761	35.3	254	11.8	98	4.6
	65～69歳	928	465	50.1	286	30.8	126	13.6	51	5.5
	70～74歳	363	157	43.3	130	35.8	56	15.4	20	5.5
	75～79歳	74	36	48.6	27	36.5	7	9.5	4	5.4
80歳以上	60	38	63.3	9	15.0	9	15.0	4	6.7	
小計	22,841	15,642	68.5	5,239	22.9	1,315	5.8	645	2.8	
女性	～19歳	352	338	96.0	12	3.4	1	0.3	1	0.3
	20～24歳	1,361	1,309	96.2	40	2.9	3	0.2	9	0.7
	25～29歳	1,020	969	95.0	46	4.5	2	0.2	3	0.3
	30～34歳	888	819	92.2	67	7.5	1	0.1	1	0.1
	35～39歳	1,228	1,109	90.3	99	8.1	13	1.1	7	0.6
	40～44歳	2,338	2,010	86.0	286	12.2	25	1.1	17	0.7
	45～49歳	2,513	2,058	81.9	395	15.7	37	1.5	23	0.9
	50～54歳	2,156	1,642	76.2	436	20.2	48	2.2	30	1.4
	55～59歳	1,749	1,168	66.8	496	28.4	56	3.2	29	1.7
	60～64歳	1,258	792	63.0	382	30.4	56	4.5	28	2.2
	65～69歳	742	437	58.9	239	32.2	53	7.1	13	1.8
	70～74歳	255	132	51.8	98	38.4	19	7.5	6	2.4
	75～79歳	54	30	55.6	14	25.9	7	13.0	3	5.6
80歳以上	172	135	78.5	7	4.1	28	16.3	2	1.2	
小計	16,086	12,948	80.5	2,617	16.3	349	2.2	172	1.1	
総数	～19歳	900	864	96.0	32	3.6	1	0.1	3	0.3
	20～24歳	3,071	2,915	94.9	130	4.2	7	0.2	19	0.6
	25～29歳	2,493	2,327	93.3	139	5.6	7	0.3	20	0.8
	30～34歳	2,473	2,216	89.6	224	9.1	12	0.5	21	0.8
	35～39歳	3,045	2,638	86.6	340	11.2	33	1.1	34	1.1
	40～44歳	5,084	4,078	80.2	818	16.1	112	2.2	76	1.5
	45～49歳	5,754	4,204	73.1	1,229	21.4	209	3.6	112	1.9
	50～54歳	5,314	3,432	64.6	1,435	27.0	307	5.8	140	2.6
	55～59歳	4,734	2,654	56.1	1,556	32.9	361	7.6	163	3.4
	60～64歳	3,411	1,832	53.7	1,143	33.5	310	9.1	126	3.7
	65～69歳	1,670	902	54.0	525	31.4	179	10.7	64	3.8
	70～74歳	618	289	46.8	228	36.9	75	12.1	26	4.2
	75～79歳	128	66	51.6	41	32.0	14	10.9	7	5.5
80歳以上	232	173	74.6	16	6.9	37	15.9	6	2.6	
合計	38,927	28,590	73.4	7,856	20.2	1,664	4.3	817	2.1	

実施状況

事業所健診のなかで、38,927人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性22,841人（58.7%）女性16,086人（41.3%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）73.4%、要指導20.2%、治療継続4.3%、要医療2.1%であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

平成30年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	921	871	94.6	8	0.9	1	0.1	41	4.5
	20～24歳	3,237	3,092	95.5	20	0.6	6	0.2	119	3.7
	25～29歳	1,511	1,465	97.0	17	1.1	3	0.2	26	1.7
	30～34歳	1,589	1,535	96.6	20	1.3	4	0.3	30	1.9
	35～39歳	1,821	1,715	94.2	70	3.8	7	0.4	29	1.6
	40～44歳	2,747	2,532	92.2	155	5.6	17	0.6	43	1.6
	45～49歳	3,240	2,898	89.4	245	7.6	26	0.8	71	2.2
	50～54歳	3,159	2,727	86.3	330	10.4	27	0.9	75	2.4
	55～59歳	2,985	2,502	83.8	344	11.5	51	1.7	88	2.9
	60～64歳	2,153	1,735	80.6	314	14.6	21	1.0	83	3.9
	65～69歳	927	676	72.9	178	19.2	14	1.5	59	6.4
	70～74歳	363	216	59.5	110	30.3	6	1.7	31	8.5
	75～79歳	73	46	63.0	18	24.7	0	0.0	9	12.3
	80歳以上	55	25	45.5	13	23.6	1	1.8	16	29.1
小計	24,781	22,035	88.9	1,842	7.4	184	0.7	720	2.9	
女性	～19歳	784	704	89.8	4	0.5	1	0.1	75	9.6
	20～24歳	2,790	2,608	93.5	38	1.4	0	0.0	144	5.2
	25～29歳	1,034	981	94.9	35	3.4	3	0.3	15	1.5
	30～34歳	888	838	94.4	32	3.6	2	0.2	16	1.8
	35～39歳	1,229	1,107	90.1	83	6.8	4	0.3	35	2.8
	40～44歳	2,338	2,093	89.5	196	8.4	4	0.2	45	1.9
	45～49歳	2,514	2,125	84.5	288	11.5	7	0.3	94	3.7
	50～54歳	2,156	1,696	78.7	354	16.4	13	0.6	93	4.3
	55～59歳	1,748	1,323	75.7	352	20.1	13	0.7	60	3.4
	60～64歳	1,258	896	71.2	301	23.9	3	0.2	58	4.6
	65～69歳	742	517	69.7	179	24.1	9	1.2	37	5.0
	70～74歳	254	147	57.9	84	33.1	1	0.4	22	8.7
	75～79歳	53	32	60.4	15	28.3	0	0.0	6	11.3
	80歳以上	132	42	31.8	39	29.5	4	3.0	47	35.6
小計	17,920	15,109	84.3	2,000	11.2	64	0.4	747	4.2	
総数	～19歳	1,705	1,575	92.4	12	0.7	2	0.1	116	6.8
	20～24歳	6,027	5,700	94.6	58	1.0	6	0.1	263	4.4
	25～29歳	2,545	2,446	96.1	52	2.0	6	0.2	41	1.6
	30～34歳	2,477	2,373	95.8	52	2.1	6	0.2	46	1.9
	35～39歳	3,050	2,822	92.5	153	5.0	11	0.4	64	2.1
	40～44歳	5,085	4,625	91.0	351	6.9	21	0.4	88	1.7
	45～49歳	5,754	5,023	87.3	533	9.3	33	0.6	165	2.9
	50～54歳	5,315	4,423	83.2	684	12.9	40	0.8	168	3.2
	55～59歳	4,733	3,825	80.8	696	14.7	64	1.4	148	3.1
	60～64歳	3,411	2,631	77.1	615	18.0	24	0.7	141	4.1
	65～69歳	1,669	1,193	71.5	357	21.4	23	1.4	96	5.8
	70～74歳	617	363	58.8	194	31.4	7	1.1	53	8.6
	75～79歳	126	78	61.9	33	26.2	0	0.0	15	11.9
	80歳以上	187	67	35.8	52	27.8	5	2.7	63	33.7
合計	42,701	37,144	87.0	3,842	9.0	248	0.6	1,467	3.4	

実施状況

事業所健診のなかで、37,047人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性21,660人（58.5%）女性15,387人（41.5%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）85.4%、要指導8.6%、治療継続0.9%、要医療5.2%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	729	643	88.2	28	3.8	1	0.1	57	7.8
	20～24歳	1,361	1,229	90.3	86	6.3	0	0.0	46	3.4
	25～29歳	1,210	1,099	90.8	84	6.9	0	0.0	27	2.2
	30～34歳	1,276	1,183	92.7	66	5.2	1	0.1	26	2.0
	35～39歳	1,685	1,559	92.5	80	4.7	2	0.1	44	2.6
	40～44歳	2,693	2,409	89.5	185	6.9	9	0.3	90	3.3
	45～49歳	3,193	2,846	89.1	229	7.2	7	0.2	111	3.5
	50～54歳	3,093	2,674	86.5	281	9.1	8	0.3	130	4.2
	55～59歳	2,921	2,558	87.6	256	8.8	13	0.4	94	3.2
	60～64歳	2,104	1,852	88.0	179	8.5	6	0.3	67	3.2
	65～69歳	900	793	88.1	60	6.7	3	0.3	44	4.9
	70～74歳	361	314	87.0	27	7.5	3	0.8	17	4.7
	75～79歳	74	59	79.7	9	12.2	0	0.0	6	8.1
	80歳以上	60	22	36.7	18	30.0	1	1.7	19	31.7
小 計	21,660	19,240	88.8	1,588	7.3	54	0.2	778	3.6	
女 性	～19歳	727	587	80.7	57	7.8	2	0.3	81	11.1
	20～24歳	957	802	83.8	93	9.7	8	0.8	54	5.6
	25～29歳	862	720	83.5	93	10.8	6	0.7	43	5.0
	30～34歳	751	604	80.4	104	13.8	10	1.3	33	4.4
	35～39歳	1,154	904	78.3	139	12.0	15	1.3	96	8.3
	40～44歳	2,283	1,703	74.6	290	12.7	55	2.4	235	10.3
	45～49歳	2,451	1,839	75.0	275	11.2	76	3.1	261	10.6
	50～54歳	2,101	1,699	80.9	200	9.5	65	3.1	137	6.5
	55～59歳	1,700	1,499	88.2	132	7.8	12	0.7	57	3.4
	60～64歳	1,219	1,079	88.5	93	7.6	5	0.4	42	3.4
	65～69歳	711	616	86.6	61	8.6	5	0.7	29	4.1
	70～74歳	246	222	90.2	12	4.9	1	0.4	11	4.5
	75～79歳	53	44	83.0	6	11.3	1	1.9	2	3.8
	80歳以上	172	74	43.0	41	23.8	6	3.5	51	29.7
小 計	15,387	12,392	80.5	1,596	10.4	267	1.7	1,132	7.4	
総 数	～19歳	1,456	1,230	84.5	85	5.8	3	0.2	138	9.5
	20～24歳	2,318	2,031	87.6	179	7.7	8	0.3	100	4.3
	25～29歳	2,072	1,819	87.8	177	8.5	6	0.3	70	3.4
	30～34歳	2,027	1,787	88.2	170	8.4	11	0.5	59	2.9
	35～39歳	2,839	2,463	86.8	219	7.7	17	0.6	140	4.9
	40～44歳	4,976	4,112	82.6	475	9.5	64	1.3	325	6.5
	45～49歳	5,644	4,685	83.0	504	8.9	83	1.5	372	6.6
	50～54歳	5,194	4,373	84.2	481	9.3	73	1.4	267	5.1
	55～59歳	4,621	4,057	87.8	388	8.4	25	0.5	151	3.3
	60～64歳	3,323	2,931	88.2	272	8.2	11	0.3	109	3.3
	65～69歳	1,611	1,409	87.5	121	7.5	8	0.5	73	4.5
	70～74歳	607	536	88.3	39	6.4	4	0.7	28	4.6
	75～79歳	127	103	81.1	15	11.8	1	0.8	8	6.3
	80歳以上	232	96	41.4	59	25.4	7	3.0	70	30.2
合 計	37,047	31,632	85.4	3,184	8.6	321	0.9	1,910	5.2	

実施状況

事業所健診のなかで、33,613人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性20,102人（59.8%）女性13,511人（40.2%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）85.6%、要指導9.2%、治療継続0.8%、要医療4.4%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有所見		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	436	402	92.2	23	5.3	0	0.0	11	2.5
	20～24歳	564	511	90.6	45	8.0	5	0.9	3	0.5
	25～29歳	491	418	85.1	68	13.8	2	0.4	3	0.6
	30～34歳	667	571	85.6	87	13.0	3	0.4	6	0.9
	35～39歳	1,175	993	84.5	160	13.6	6	0.5	16	1.4
	40～44歳	2,655	2,292	86.3	299	11.3	35	1.3	29	1.1
	45～49歳	3,177	2,690	84.7	392	12.3	57	1.8	38	1.2
	50～54歳	3,081	2,557	83.0	395	12.8	81	2.6	48	1.6
	55～59歳	2,926	2,341	80.0	373	12.7	150	5.1	62	2.1
	60～64歳	2,110	1,548	73.4	362	17.2	138	6.5	62	2.9
	65～69歳	895	604	67.5	168	18.8	77	8.6	46	5.1
	70～74歳	358	204	57.0	88	24.6	46	12.8	20	5.6
	75～79歳	74	41	55.4	21	28.4	10	13.5	2	2.7
80歳以上	66	20	30.3	15	22.7	12	18.2	19	28.8	
小 計	18,675	15,192	81.3	2,496	13.4	622	3.3	365	2.0	
女 性	～19歳	479	463	96.7	8	1.7	1	0.2	7	1.5
	20～24歳	343	323	94.2	14	4.1	3	0.9	3	0.9
	25～29歳	325	294	90.5	27	8.3	1	0.3	3	0.9
	30～34歳	373	341	91.4	28	7.5	1	0.3	3	0.8
	35～39歳	835	773	92.6	53	6.3	5	0.6	4	0.5
	40～44歳	2,247	2,071	92.2	150	6.7	11	0.5	15	0.7
	45～49歳	2,441	2,184	89.5	205	8.4	26	1.1	26	1.1
	50～54歳	2,092	1,823	87.1	206	9.8	21	1.0	42	2.0
	55～59歳	1,703	1,423	83.6	214	12.6	26	1.5	40	2.3
	60～64歳	1,218	974	80.0	173	14.2	28	2.3	43	3.5
	65～69歳	707	539	76.2	113	16.0	22	3.1	33	4.7
	70～74歳	249	172	69.1	45	18.1	17	6.8	15	6.0
	75～79歳	52	37	71.2	2	3.8	4	7.7	9	17.3
80歳以上	190	56	29.5	35	18.4	41	21.6	58	30.5	
小 計	13,254	11,473	86.6	1,273	9.6	207	1.6	301	2.3	
総 数	～19歳	915	865	94.5	31	3.4	1	0.1	18	2.0
	20～24歳	907	834	92.0	59	6.5	8	0.9	6	0.7
	25～29歳	816	712	87.3	95	11.6	3	0.4	6	0.7
	30～34歳	1,040	912	87.7	115	11.1	4	0.4	9	0.9
	35～39歳	2,010	1,766	87.9	213	10.6	11	0.5	20	1.0
	40～44歳	4,902	4,363	89.0	449	9.2	46	0.9	44	0.9
	45～49歳	5,618	4,874	86.8	597	10.6	83	1.5	64	1.1
	50～54歳	5,173	4,380	84.7	601	11.6	102	2.0	90	1.7
	55～59歳	4,629	3,764	81.3	587	12.7	176	3.8	102	2.2
	60～64歳	3,328	2,522	75.8	535	16.1	166	5.0	105	3.2
	65～69歳	1,602	1,143	71.3	281	17.5	99	6.2	79	4.9
	70～74歳	607	376	61.9	133	21.9	63	10.4	35	5.8
	75～79歳	126	78	61.9	23	18.3	14	11.1	11	8.7
80歳以上	256	76	29.7	50	19.5	53	20.7	77	30.1	
合 計	31,929	26,665	83.5	3,769	11.8	829	2.6	666	2.1	

実施状況

事業所健診のなかで、31,929人に心電図検査を行った。

男女別では、男性18,675人（58.5%）女性13,254人（41.5%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.5%、有所見11.8%、治療継続2.6%、要医療2.1%であった。

【事業所健診】眼底検査結果

平成30年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	11	10	90.9	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0
	30～34歳	58	57	98.3	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0
	35～39歳	170	152	89.4	6	3.5	2	1.2	10	5.9	0	0.0
	40～44歳	401	335	83.5	35	8.7	5	1.2	26	6.5	0	0.0
	45～49歳	401	300	74.8	54	13.5	7	1.7	40	10.0	0	0.0
	50～54歳	407	275	67.6	71	17.4	18	4.4	43	10.6	0	0.0
	55～59歳	323	192	59.4	77	23.8	12	3.7	42	13.0	0	0.0
	60～64歳	285	160	56.1	68	23.9	10	3.5	47	16.5	0	0.0
	65～69歳	198	91	46.0	46	23.2	19	9.6	42	21.2	0	0.0
	70～74歳	83	28	33.7	15	18.1	7	8.4	33	39.8	0	0.0
	75～79歳	17	3	17.6	4	23.5	6	35.3	4	23.5	0	0.0
80歳以上	5	0	0.0	0	0.0	3	60.0	2	40.0	0	0.0	
小計	2,362	1,606	68.0	376	15.9	89	3.8	291	12.3	0	0.0	
女性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	39	36	92.3	0	0.0	0	0.0	3	7.7	0	0.0
	35～39歳	170	152	89.4	6	3.5	3	1.8	9	5.3	0	0.0
	40～44歳	404	354	87.6	7	1.7	12	3.0	31	7.7	0	0.0
	45～49歳	425	342	80.5	34	8.0	15	3.5	34	8.0	0	0.0
	50～54歳	441	344	78.0	39	8.8	25	5.7	33	7.5	0	0.0
	55～59歳	319	217	68.0	40	12.5	24	7.5	38	11.9	0	0.0
	60～64歳	231	145	62.8	41	17.7	14	6.1	31	13.4	0	0.0
	65～69歳	133	74	55.6	20	15.0	15	11.3	24	18.0	0	0.0
	70～74歳	67	23	34.3	9	13.4	12	17.9	23	34.3	0	0.0
	75～79歳	14	1	7.1	2	14.3	4	28.6	7	50.0	0	0.0
80歳以上	6	0	0.0	1	16.7	4	66.7	1	16.7	0	0.0	
小計	2,255	1,694	75.1	199	8.8	128	5.7	234	10.4	0	0.0	
総数	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	15	14	93.3	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0
	30～34歳	97	93	95.9	0	0.0	0	0.0	4	4.1	0	0.0
	35～39歳	340	304	89.4	12	3.5	5	1.5	19	5.6	0	0.0
	40～44歳	805	689	85.6	42	5.2	17	2.1	57	7.1	0	0.0
	45～49歳	826	642	77.7	88	10.7	22	2.7	74	9.0	0	0.0
	50～54歳	848	619	73.0	110	13.0	43	5.1	76	9.0	0	0.0
	55～59歳	642	409	63.7	117	18.2	36	5.6	80	12.5	0	0.0
	60～64歳	516	305	59.1	109	21.1	24	4.7	78	15.1	0	0.0
	65～69歳	331	165	49.8	66	19.9	34	10.3	66	19.9	0	0.0
	70～74歳	150	51	34.0	24	16.0	19	12.7	56	37.3	0	0.0
	75～79歳	31	4	12.9	6	19.4	10	32.3	11	35.5	0	0.0
	80歳以上	11	0	0.0	1	9.1	7	63.6	3	27.3	0	0.0
合計	4,617	3,300	71.5	575	12.5	217	4.7	525	11.4	0	0.0	

実施状況

事業所健診のなかで、4,617人に眼底検査を行った。

男女別では、男性2,362人（51.2%）女性2,255人（48.8%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）71.5%、有所見12.5%、治療継続4.7%、要医療11.4%であった。

腹部超音波検査結果

平成30年度

	受診者数	判 定												
		異常なし		有所見		要 指 導		治 療 継 続		要 精 検		読影不能・判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	1	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	3	2	66.7	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	6	3	50.0	0	0.0	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	53	18	34.0	2	3.8	31	58.5	0	0.0	2	3.8	0	0.0
	35～39歳	146	51	34.9	1	0.7	86	58.9	0	0.0	8	5.5	0	0.0
	40～44歳	383	65	17.0	11	2.9	281	73.4	0	0.0	26	6.8	0	0.0
	45～49歳	371	38	10.2	14	3.8	289	77.9	4	1.1	26	7.0	0	0.0
	50～54歳	385	37	9.6	4	1.0	313	81.3	2	0.5	29	7.5	0	0.0
	55～59歳	296	19	6.4	14	4.7	225	76.0	3	1.0	35	11.8	0	0.0
	60～64歳	310	25	8.1	4	1.3	243	78.4	3	1.0	35	11.3	0	0.0
	65～69歳	413	26	6.3	0	0.0	358	86.7	1	0.2	28	6.8	0	0.0
	70～74歳	329	15	4.6	3	0.9	279	84.8	0	0.0	32	9.7	0	0.0
	75～79歳	160	7	4.4	0	0.0	136	85.0	0	0.0	17	10.6	0	0.0
	80歳以上	75	0	0.0	0	0.0	67	89.3	0	0.0	8	10.7	0	0.0
小 計	2,931	306	10.4	53	1.8	2,313	78.9	13	0.4	246	8.4	0	0.0	
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	0	0.0	0	0.0	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	41	17	41.5	0	0.0	21	51.2	0	0.0	3	7.3	0	0.0
	35～39歳	153	63	41.2	1	0.7	83	54.2	0	0.0	6	3.9	0	0.0
	40～44歳	401	111	27.7	4	1.0	255	63.6	0	0.0	31	7.7	0	0.0
	45～49歳	446	100	22.4	3	0.7	323	72.4	0	0.0	20	4.5	0	0.0
	50～54歳	503	92	18.3	3	0.6	373	74.2	0	0.0	35	7.0	0	0.0
	55～59歳	444	60	13.5	3	0.7	343	77.3	0	0.0	38	8.6	0	0.0
	60～64歳	508	37	7.3	1	0.2	420	82.7	0	0.0	50	9.8	0	0.0
	65～69歳	600	50	8.3	0	0.0	477	79.5	0	0.0	73	12.2	0	0.0
	70～74歳	500	35	7.0	0	0.0	412	82.4	0	0.0	53	10.6	0	0.0
	75～79歳	223	15	6.7	1	0.4	188	84.3	0	0.0	19	8.5	0	0.0
	80歳以上	75	3	4.0	0	0.0	67	89.3	0	0.0	5	6.7	0	0.0
小 計	3,899	583	15.0	16	0.4	2,967	76.1	0	0.0	333	8.5	0	0.0	
総 数	～19歳	1	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	2	50.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	10	3	30.0	0	0.0	7	70.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	94	35	37.2	2	2.1	52	55.3	0	0.0	5	5.3	0	0.0
	35～39歳	299	114	38.1	2	0.7	169	56.5	0	0.0	14	4.7	0	0.0
	40～44歳	784	176	22.4	15	1.9	536	68.4	0	0.0	57	7.3	0	0.0
	45～49歳	817	138	16.9	17	2.1	612	74.9	4	0.5	46	5.6	0	0.0
	50～54歳	888	129	14.5	7	0.8	686	77.3	2	0.2	64	7.2	0	0.0
	55～59歳	740	79	10.7	17	2.3	568	76.8	3	0.4	73	9.9	0	0.0
	60～64歳	818	62	7.6	5	0.6	663	81.1	3	0.4	85	10.4	0	0.0
	65～69歳	1,013	76	7.5	0	0.0	835	82.4	1	0.1	101	10.0	0	0.0
	70～74歳	829	50	6.0	3	0.4	691	83.4	0	0.0	85	10.3	0	0.0
	75～79歳	383	22	5.7	1	0.3	324	84.6	0	0.0	36	9.4	0	0.0
	80歳以上	150	3	2.0	0	0.0	134	89.3	0	0.0	13	8.7	0	0.0
合 計	6,830	889	13.0	69	1.0	5,280	77.3	13	0.2	579	8.5	0	0.0	

実施状況

腹部超音波検査は、6,830人に実施している。

男女別では、男性2,931人（42.9%）女性3,899人（57.1%）であった。

また、年齢階級でみると、65～69歳が最も多く、次いで、50～54歳、70～74歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）13.0%、有所見1.0%、要指導77.3%、治療継続0.2%、要精検8.5%であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

平成30年度

	受診者数	判 定								
		陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	3	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	49	40	81.6	8	16.3	0	0.0	1	2.0
	35～39歳	92	78	84.8	14	15.2	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	607	588	96.9	15	2.5	0	0.0	4	0.7
	45～49歳	408	381	93.4	23	5.6	1	0.2	3	0.7
	50～54歳	372	357	96.0	11	3.0	0	0.0	4	1.1
	55～59歳	373	351	94.1	14	3.8	0	0.0	8	2.1
	60～64歳	443	425	95.9	10	2.3	0	0.0	8	1.8
	65～69歳	644	627	97.4	5	0.8	0	0.0	12	1.9
	70～74歳	430	419	97.4	0	0.0	0	0.0	11	2.6
	75～79歳	173	171	98.8	1	0.6	0	0.0	1	0.6
	80歳以上	99	99	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計	3,699	3,544	95.8	102	2.8	1	0.0	52	1.4	
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	60	49	81.7	11	18.3	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	40	32	80.0	8	20.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	63	56	88.9	7	11.1	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	128	119	93.0	8	6.3	0	0.0	1	0.8
	40～44歳	1,192	1,179	98.9	10	0.8	0	0.0	3	0.3
	45～49歳	521	504	96.7	9	1.7	0	0.0	8	1.5
	50～54歳	572	552	96.5	14	2.4	0	0.0	6	1.0
	55～59歳	428	417	97.4	7	1.6	0	0.0	4	0.9
	60～64歳	526	513	97.5	5	1.0	0	0.0	8	1.5
	65～69歳	675	661	97.9	0	0.0	0	0.0	14	2.1
	70～74歳	438	433	98.9	0	0.0	0	0.0	5	1.1
	75～79歳	164	160	97.6	0	0.0	0	0.0	4	2.4
	80歳以上	137	136	99.3	0	0.0	0	0.0	1	0.7
小 計	4,948	4,815	97.3	79	1.6	0	0.0	54	1.1	
総 数	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	66	55	83.3	11	16.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	43	34	79.1	9	20.9	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	112	96	85.7	15	13.4	0	0.0	1	0.9
	35～39歳	220	197	89.5	22	10.0	0	0.0	1	0.5
	40～44歳	1,799	1,767	98.2	25	1.4	0	0.0	7	0.4
	45～49歳	929	885	95.3	32	3.4	1	0.1	11	1.2
	50～54歳	944	909	96.3	25	2.6	0	0.0	10	1.1
	55～59歳	801	768	95.9	21	2.6	0	0.0	12	1.5
	60～64歳	969	938	96.8	15	1.5	0	0.0	16	1.7
	65～69歳	1,319	1,288	97.6	5	0.4	0	0.0	26	2.0
	70～74歳	868	852	98.2	0	0.0	0	0.0	16	1.8
	75～79歳	337	331	98.2	1	0.3	0	0.0	5	1.5
	80歳以上	236	235	99.6	0	0.0	0	0.0	1	0.4
合 計	8,647	8,359	96.7	181	2.1	1	0.0	106	1.2	

実施状況

B型肝炎検査は、8,647人に実施している。

男女別では、男性3,699人（42.8%）女性4,948人（57.2%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

抗原陰性96.7%、抗原陰性抗体陽性2.1%、抗原陽性1.2%であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

平成30年度

	受診者数	判定						
		陰性		治療継続		陽性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	39	39	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	73	73	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	571	570	99.8	0	0.0	1	0.2
	45～49歳	378	378	100.0	0	0.0	0	0.0
	50～54歳	346	346	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	355	355	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	437	437	100.0	0	0.0	0	0.0
	65～69歳	639	639	100.0	0	0.0	0	0.0
	70～74歳	431	430	99.8	0	0.0	1	0.2
	75～79歳	172	171	99.4	0	0.0	1	0.6
	80歳以上	99	99	100.0	0	0.0	0	0.0
小計	3,549	3,546	99.9	0	0.0	3	0.1	
女性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	70	70	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	61	61	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	77	77	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	114	114	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,175	1,175	100.0	0	0.0	0	0.0
	45～49歳	516	516	100.0	0	0.0	0	0.0
	50～54歳	555	555	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	422	422	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	512	511	99.8	0	0.0	1	0.2
	65～69歳	673	672	99.9	0	0.0	1	0.1
	70～74歳	439	439	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	165	165	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	137	135	98.5	0	0.0	2	1.5
小計	4,920	4,916	99.9	0	0.0	4	0.1	
総数	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	76	76	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	64	64	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	116	116	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	187	187	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,746	1,745	99.9	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	894	894	100.0	0	0.0	0	0.0
	50～54歳	901	901	100.0	0	0.0	0	0.0
	55～59歳	777	777	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	949	948	99.9	0	0.0	1	0.1
	65～69歳	1,312	1,311	99.9	0	0.0	1	0.1
	70～74歳	870	869	99.9	0	0.0	1	0.1
	75～79歳	337	336	99.7	0	0.0	1	0.3
	80歳以上	236	234	99.2	0	0.0	2	0.8
合計	8,469	8,462	99.9	0	0.0	7	0.1	

実施状況

C型肝炎検査は、8,469人に実施している。

男女別では、男性3,549人（41.9%）女性4,920人（58.1%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、50～54歳の順であった。

判定結果

陰性99.9%、陽性0.1%であった。

【総合判定】自治体結果

平成30年度

	受診者数	判 定										
		異常なし		有所見		要 指 導		治療継続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	24	14	58.3	0	0.0	9	37.5	0	0.0	1	4.2
	20～24歳	46	14	30.4	0	0.0	20	43.5	0	0.0	12	26.1
	25～29歳	93	24	25.8	0	0.0	36	38.7	2	2.2	31	33.3
	30～34歳	235	44	18.7	0	0.0	108	46.0	6	2.6	77	32.8
	35～39歳	367	47	12.8	0	0.0	169	46.0	16	4.4	135	36.8
	40～44歳	860	62	7.2	0	0.0	413	48.0	54	6.3	331	38.5
	45～49歳	904	50	5.5	0	0.0	364	40.3	111	12.3	379	41.9
	50～54歳	976	46	4.7	0	0.0	398	40.8	182	18.6	350	35.9
	55～59歳	1,103	36	3.3	0	0.0	384	34.8	257	23.3	426	38.6
	60～64歳	1,968	39	2.0	0	0.0	610	31.0	604	30.7	715	36.3
	65～69歳	4,955	51	1.0	0	0.0	1,296	26.2	1,816	36.6	1,792	36.2
	70～74歳	5,648	41	0.7	0	0.0	1,249	22.1	2,289	40.5	2,069	36.6
	75～79歳	3,761	19	0.5	0	0.0	804	21.4	1,716	45.6	1,222	32.5
	80歳以上	2,703	25	0.9	0	0.0	446	16.5	1,222	45.2	1,010	37.4
小 計	23,643	512	2.2	0	0.0	6,306	26.7	8,275	35.0	8,550	36.2	
女 性	～19歳	17	6	35.3	0	0.0	6	35.3	2	11.8	3	17.6
	20～24歳	57	31	54.4	0	0.0	19	33.3	0	0.0	7	12.3
	25～29歳	145	59	40.7	0	0.0	69	47.6	3	2.1	14	9.7
	30～34歳	438	177	40.4	0	0.0	188	42.9	14	3.2	59	13.5
	35～39歳	730	245	33.6	0	0.0	362	49.6	27	3.7	96	13.2
	40～44歳	1,447	402	27.8	0	0.0	729	50.4	73	5.0	243	16.8
	45～49歳	1,549	309	19.9	0	0.0	826	53.3	116	7.5	298	19.2
	50～54歳	1,760	185	10.5	0	0.0	941	53.5	258	14.7	376	21.4
	55～59歳	2,228	109	4.9	0	0.0	1,130	50.7	519	23.3	470	21.1
	60～64歳	3,773	98	2.6	0	0.0	1,631	43.2	1,162	30.8	882	23.4
	65～69歳	7,780	146	1.9	0	0.0	2,780	35.7	2,992	38.5	1,862	23.9
	70～74歳	7,627	92	1.2	0	0.0	2,167	28.4	3,432	45.0	1,936	25.4
	75～79歳	4,567	49	1.1	0	0.0	1,080	23.6	2,312	50.6	1,126	24.7
	80歳以上	2,550	16	0.6	0	0.0	445	17.5	1,293	50.7	796	31.2
小 計	34,668	1,924	5.5	0	0.0	12,373	35.7	12,203	35.2	8,168	23.6	
総 数	～19歳	41	20	48.8	0	0.0	15	36.6	2	4.9	4	9.8
	20～24歳	103	45	43.7	0	0.0	39	37.9	0	0.0	19	18.4
	25～29歳	238	83	34.9	0	0.0	105	44.1	5	2.1	45	18.9
	30～34歳	673	221	32.8	0	0.0	296	44.0	20	3.0	136	20.2
	35～39歳	1,097	292	26.6	0	0.0	531	48.4	43	3.9	231	21.1
	40～44歳	2,307	464	20.1	0	0.0	1,142	49.5	127	5.5	574	24.9
	45～49歳	2,453	359	14.6	0	0.0	1,190	48.5	227	9.3	677	27.6
	50～54歳	2,736	231	8.4	0	0.0	1,339	48.9	440	16.1	726	26.5
	55～59歳	3,331	145	4.4	0	0.0	1,514	45.5	776	23.3	896	26.9
	60～64歳	5,741	137	2.4	0	0.0	2,241	39.0	1,766	30.8	1,597	27.8
	65～69歳	12,735	197	1.5	0	0.0	4,076	32.0	4,808	37.8	3,654	28.7
	70～74歳	13,275	133	1.0	0	0.0	3,416	25.7	5,721	43.1	4,005	30.2
	75～79歳	8,328	68	0.8	0	0.0	1,884	22.6	4,028	48.4	2,348	28.2
	80歳以上	5,253	41	0.8	0	0.0	891	17.0	2,515	47.9	1,806	34.4
合 計	58,311	2,436	4.2	0	0.0	18,679	32.0	20,478	35.1	16,718	28.7	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、58,311人に総合判定を行った。
 男女別では、男性23,643人（40.5%）女性34,668人（59.5%）であった。
 また、年齢階級でみると、70～74歳が最も高く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）4.2%、要指導32.0%、治療継続35.1%、要医療28.7%であった。

【総合判定】事業所結果

平成30年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見		要指導		要精検		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	979	415	42.4	17	1.7	368	37.6	3	0.3	176	18.0
	20～24歳	1,794	558	31.1	43	2.4	872	48.6	6	0.3	315	17.6
	25～29歳	1,477	423	28.6	48	3.2	700	47.4	3	0.2	303	20.5
	30～34歳	1,587	355	22.4	43	2.7	825	52.0	14	0.9	350	22.1
	35～39歳	1,822	232	12.7	54	3.0	968	53.1	44	2.4	524	28.8
	40～44歳	2,749	156	5.7	84	3.1	1,446	52.6	120	4.4	943	34.3
	45～49歳	3,250	155	4.8	75	2.3	1,720	52.9	136	4.2	1,164	35.8
	50～54歳	3,167	104	3.3	74	2.3	1,712	54.1	168	5.3	1,109	35.0
	55～59歳	2,997	81	2.7	63	2.1	1,616	53.9	180	6.0	1,057	35.3
	60～64歳	2,162	47	2.2	64	3.0	1,137	52.6	159	7.4	755	34.9
	65～69歳	932	16	1.7	31	3.3	419	45.0	84	9.0	382	41.0
	70～74歳	364	3	0.8	8	2.2	180	49.5	30	8.2	143	39.3
	75～79歳	74	0	0.0	2	2.7	29	39.2	9	12.2	34	45.9
80歳以上	66	2	3.0	5	7.6	11	16.7	1	1.5	47	71.2	
小計	23,420	2,547	10.9	611	2.6	12,003	51.3	957	4.1	7,302	31.2	
女性	～19歳	839	435	51.8	15	1.8	217	25.9	2	0.2	170	20.3
	20～24歳	1,421	772	54.3	48	3.4	434	30.5	3	0.2	164	11.5
	25～29歳	1,029	521	50.6	29	2.8	380	36.9	6	0.6	93	9.0
	30～34歳	899	379	42.2	29	3.2	391	43.5	16	1.8	84	9.3
	35～39歳	1,231	355	28.8	65	5.3	551	44.8	48	3.9	212	17.2
	40～44歳	2,344	474	20.2	101	4.3	1,200	51.2	119	5.1	450	19.2
	45～49歳	2,521	377	15.0	105	4.2	1,280	50.8	102	4.0	657	26.1
	50～54歳	2,162	180	8.3	77	3.6	1,248	57.7	88	4.1	569	26.3
	55～59歳	1,751	115	6.6	49	2.8	1,073	61.3	60	3.4	454	25.9
	60～64歳	1,259	85	6.8	33	2.6	739	58.7	49	3.9	353	28.0
	65～69歳	742	28	3.8	20	2.7	474	63.9	32	4.3	188	25.3
	70～74歳	256	9	3.5	9	3.5	149	58.2	6	2.3	83	32.4
	75～79歳	54	2	3.7	13	24.1	10	18.5	1	1.9	28	51.9
80歳以上	194	16	8.2	10	5.2	43	22.2	1	0.5	124	63.9	
小計	16,702	3,748	22.4	603	3.6	8,189	49.0	533	3.2	3,629	21.7	
総数	～19歳	1,818	850	46.8	32	1.8	585	32.2	5	0.3	346	19.0
	20～24歳	3,215	1,330	41.4	91	2.8	1,306	40.6	9	0.3	479	14.9
	25～29歳	2,506	944	37.7	77	3.1	1,080	43.1	9	0.4	396	15.8
	30～34歳	2,486	734	29.5	72	2.9	1,216	48.9	30	1.2	434	17.5
	35～39歳	3,053	587	19.2	119	3.9	1,519	49.8	92	3.0	736	24.1
	40～44歳	5,093	630	12.4	185	3.6	2,646	52.0	239	4.7	1,393	27.4
	45～49歳	5,771	532	9.2	180	3.1	3,000	52.0	238	4.1	1,821	31.6
	50～54歳	5,329	284	5.3	151	2.8	2,960	55.5	256	4.8	1,678	31.5
	55～59歳	4,748	196	4.1	112	2.4	2,689	56.6	240	5.1	1,511	31.8
	60～64歳	3,421	132	3.9	97	2.8	1,876	54.8	208	6.1	1,108	32.4
	65～69歳	1,674	44	2.6	51	3.0	893	53.3	116	6.9	570	34.1
	70～74歳	620	12	1.9	17	2.7	329	53.1	36	5.8	226	36.5
	75～79歳	128	2	1.6	15	11.7	39	30.5	10	7.8	62	48.4
80歳以上	260	18	6.9	15	5.8	54	20.8	2	0.8	171	65.8	
合計	40,122	6,295	15.7	1,214	3.0	20,192	50.3	1,490	3.7	10,931	27.2	

実施状況

事業所の健康診査のなかで、40,122人に総合判定を行った。

男女別では、男性23,420人（58.4%）女性16,702人（41.6%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）15.7%、有所見3.0%、要指導50.3%、要精検3.7%、要医療27.2%であった。

4 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	平成30年度			小計	平成29年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	5,871	3,557	1,797	517	5,074	2,935	1,599	540
子宮	1,311	826	323	162	1,410	980	251	179
乳	1,483	852	631	0	1,459	753	706	0
肺	772	231	453	88	852	220	543	89
大腸	1,923	1,281	505	137	1,768	1,328	274	166
合計	11,360	6,747	3,709	904	10,563	6,216	3,373	974

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別	計	平成30年度			計	平成29年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	706	263	261	182	718	263	263	192	
精検受診者数	5,871	3,557	1,797	517	5,074	2,935	1,599	540	
延べ内訳	X線直接撮影	44	8	0	36	39	10	0	29
	内視鏡	5,896	3,577	1,838	481	5,094	2,941	1,635	518
	組織診	956	660	274	22	824	625	181	18
発見がん数	84	56	19	9	58	40	11	7	
(別掲)その他のがん	(3)	(1)	(2)	(0)	(6)	(2)	(3)	(1)	

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別	計	平成30年度			計	平成29年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	501	236	228	37	513	246	226	41	
精検受診者数	1,311	826	323	162	1,410	980	251	179	
延べ内訳	再検査(細胞診)	1,279	778	330	171	1,498	1,029	264	205
	頸部組織診	327	179	119	29	264	157	81	26
	体部組織診	21	14	7	0	21	11	10	0
超音波	1,031	682	235	114	1,220	855	224	141	
HPVウイルス	459	262	182	15	360	187	162	11	
発見がん数	31	20	11	0	37	26	10	1	

(3) 乳がん

センター別 部位別	計	平成30年度			計	平成29年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	387	142	245	0	394	143	251	0	
精検受診者数	1,483	852	631	0	1,459	753	706	0	
延べ 内訳	X線撮影	1,368	810	558	0	1,249	688	561	0
	超音波	1,607	933	674	0	1,592	834	758	0
	細胞診	112	0	112	0	122	0	122	0
	触診再検査	1,148	623	525	0	1,067	540	527	0
発見がん数	199	95	104	0	170	80	90	0	

(4) 肺がん

センター別 部位別	計	平成30年度			計	平成29年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	205	49	92	64	218	48	95	75	
精検受診者数	772	231	453	88	852	220	543	89	
延べ 内訳	X線直接撮影	602	32	534	36	754	37	663	54
	C T	870	248	534	88	1,037	284	663	90
	喀痰細胞診	0	0	0	0	2	1	0	1
発見がん数	24	9	11	4	23	11	11	1	
(別掲)その他のがん	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	

(5) 大腸がん

センター別 部位別	計	平成30年度			計	平成29年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	516	197	219	100	531	233	181	117	
精検受診者数	1,923	1,281	505	137	1,768	1,328	274	166	
延べ 内訳	X線注腸撮影	3	0	0	3	4	0	0	4
	内視鏡	1,920	1,281	505	134	1,766	1,329	274	163
	組織診	188	26	162	0	68	45	23	0
発見がん数	112	67	32	13	79	57	13	9	
(別掲)その他のがん	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～平成30年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
45～25	195,918	3,342(294)	23,287	9,975	48,923	2,388	24,533	15,110	68,360
26	3,052	44(10)	868	78	517	8	1,203	236	98
27	3,078	50(3)	766	57	461	38	1,422	168	116
28	2,867	44(12)	481	58	365	1	1,502	321	95
29	2,935	40(2)	266	20	157	2	1,463	591	396
30	3,557	56(17)	288	65	113	15	2,154	588	278
計	211,407	3,576(338)	25,956	10,253	50,536	2,452	32,277	17,014	69,343

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成30年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
56～25	81,096	1,459(239)	13,228	3,061	12,917	1,125	19,681	3,979	25,646
26	1,971	33(2)	254	25	194	39	858	220	348
27	1,298	11(2)	168	10	104	12	771	139	83
28	1,465	18(0)	244	23	100	9	813	199	59
29	1,599	11(2)	271	16	65	2	802	393	39
30	1,797	19(6)	306	11	129	3	846	444	39
計	89,226	1,551(251)	14,471	3,146	13,509	1,190	23,771	5,374	26,214

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成30年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
60～25	35,528	587(75)	4,425	1,327	5,065	537	12,239	3,647	7,701
26	674	16(5)	89	15	54	1	345	110	44
27	659	7(1)	79	9	39	3	379	92	51
28	605	7(2)	89	13	38	1	349	70	38
29	540	7(1)	70	5	33	3	323	52	47
30	517	9(2)	69	8	28	2	304	60	37
計	38,523	633(85)	4,821	1,377	5,257	547	13,939	4,031	7,918

注) ()内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成30年度は、札幌 2,384人、旭川 1,128人、釧路 378人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		56(17)	33(9)	23(8)	41(14)	25(8)	16(6)	15(3)	8(1)	7(2)	
手術施行	計	54(16)	32(9)	22(7)	40(14)	24(8)	16(6)	14(2)	8(1)	6(1)	
	早期	内視鏡切除術	27(11)	17(7)	10(4)	23(11)	14(7)	9(4)	4(0)	3(0)	1(0)
		開腹手術	12(3)	4(1)	8(2)	8(1)	3(0)	5(1)	4(2)	1(1)	3(1)
	進 行	8(2)	7(1)	1(1)	6(2)	5(1)	1(1)	2(0)	2(0)	0(0)	
	調 査 中	7(0)	4(0)	3(0)	3(0)	2(0)	1(0)	4(0)	2(0)	2(0)	
手術未施行		2(1)	1(0)	1(1)	1(0)	1(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	

旭川がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		19(6)	10(5)	9(1)	8(0)	2(0)	6(0)	14(6)	11(5)	3(1)	
手術施行	計	19(6)	10(5)	9(1)	8(0)	2(0)	6(0)	14(6)	11(5)	3(1)	
	早期	内視鏡切除術	12(5)	7(4)	5(1)	3(0)	1(0)	2(0)	12(5)	9(4)	3(1)
		開腹手術	5(1)	3(1)	2(0)	3(0)	1(0)	2(0)	2(1)	2(1)	0(0)
	進 行	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

釧路がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		9(2)	5(2)	4(0)	7(1)	4(1)	3(0)	2(1)	1(1)	1(0)	
手術施行	計	9(2)	5(2)	4(0)	7(1)	4(1)	3(0)	2(1)	1(1)	1(0)	
	早期	内視鏡切除術	4(1)	4(1)	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)
		開腹手術	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	4(1)	1(1)	3(0)	3(1)	1(1)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

注) 発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～平成30年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～25	58,270	1,881(33)	512	59	26,212	2,697	26,909
26	1,350	53(6)	15	2	883	77	320
27	1,596	54(2)	13	1	1,008	131	389
28	1,390	57(2)	7	3	859	116	348
29	1,328	57(1)	16	0	816	165	274
30	1,281	67(5)	0	0	792	117	305
計	65,215	2,169(49)	563	65	30,570	3,303	28,545

旭川がん検診センター

昭和56年度～平成30年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～25	19,059	725(37)	256	4	11,343	1,466	5,265
26	504	23(2)	6	0	340	47	88
27	215	10(0)	2	0	131	44	28
28	414	16(0)	5	1	247	106	39
29	274	13(0)	0	0	164	74	23
30	505	32(1)	3	0	332	109	29
計	20,971	819(40)	272	5	12,557	1,846	5,472

釧路がん検診センター

昭和60年度～平成30年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
60～25	12,410	378(17)	50	12	7,278	203	4,489
26	308	15(1)	4	1	172	2	114
27	310	16(1)	2	0	153	2	137
28	181	9(0)	0	0	102	0	70
29	166	9(0)	1	0	91	0	65
30	137	13(0)	1	0	75	1	47
計	13,512	440(19)	58	13	7,871	208	4,922

注) 精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(平成30年度は、札幌 372人、旭川 94人、釧路 64人)

() 内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数		67(5)	43(4)	24(1)	66(5)	42(4)	24(1)	1(0)	1(0)	0(0)
手術 施行	計	66(5)	42(4)	24(1)	65(5)	41(4)	24(1)	1(0)	1(0)	0(0)
	早期									
	内視鏡切除術	42(5)	27(4)	15(1)	41(5)	26(4)	15(1)	1(0)	1(0)	0(0)
	開腹手術	6(0)	4(0)	2(0)	6(0)	4(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行	15(0)	9(0)	6(0)	15(0)	9(0)	6(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調査中	3(0)	2(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数		32(1)	20(0)	12(1)	30(1)	19(0)	11(1)	2(0)	1(0)	1(0)
手術 施行	計	32(1)	20(0)	12(1)	30(1)	19(0)	11(1)	2(0)	1(0)	1(0)
	早期									
	内視鏡切除術	16(1)	10(0)	6(1)	15(1)	9(0)	6(1)	1(0)	1(0)	0(0)
	開腹手術	4(0)	1(0)	3(0)	4(0)	1(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進行	11(0)	8(0)	3(0)	10(0)	8(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調査中	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

平成30年度

		総 数			一次検診受診者			※その他		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数		13(0)	7(0)	6(0)	8(0)	4(0)	4(0)	5(0)	3(0)	2(0)
手術 施行	計	13(0)	7(0)	6(0)	8(0)	4(0)	4(0)	5(0)	3(0)	2(0)
	早期									
	内視鏡切除術	4(0)	3(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	開腹手術	3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	進行	6(0)	2(0)	4(0)	4(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)
	調査中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

注) 発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

平成30年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果								精検後経過観察			
		扁平上皮系						腺細胞系				異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	CIN3(上皮内がん)	扁平上皮がん	上皮内腺がん	腺がん	体部がん	他のがん		擬陽性		
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig																
総数		1,279	884	170	143	28	48	0	5	1	0	0	322	751	328	21	58	221	44	7	3	2	10	0	2	245	
総数		778	570	108	59	15	20	0	5	1	0	0	267	436	179	14	37	131	7	3	3	2	7	0	2	143	
総数		330	174	51	68	12	25	0	0	0	0	0	35	176	119	7	15	74	30	4	0	0	3	0	0	89	
総数		171	140	11	16	1	3	0	0	0	0	0	20	139	30	0	6	16	7	0	0	0	0	0	0	22	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	32	15	5	10	0	2	0	0	0	0	0	0	1	26	12	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	11	
25～29	62	34	9	13	0	4	0	0	0	0	0	0	10	36	22	0	3	17	2	0	1	0	0	0	0	17	
30～34	79	55	8	10	1	6	0	0	1	0	0	0	13	50	34	0	3	26	5	2	2	0	0	0	0	25	
35～39	98	72	14	8	3	2	0	0	0	0	0	0	19	56	40	0	6	21	10	0	0	1	0	0	0	21	
40～44	201	125	33	29	2	10	0	2	0	0	0	0	37	122	58	0	8	42	5	2	0	0	0	0	0	44	
45～49	223	142	29	40	4	8	0	0	0	0	0	0	55	129	63	4	12	43	8	1	0	0	3	0	0	48	
50～54	160	120	20	10	5	3	0	2	0	0	0	0	51	85	38	6	14	24	0	1	0	1	2	0	1	35	
55～59	93	72	13	3	3	1	0	1	0	0	0	0	29	53	15	2	4	8	3	0	0	0	0	0	0	10	
60～64	77	63	8	2	2	2	0	0	0	0	0	0	26	43	15	2	2	11	3	0	0	0	1	0	0	10	
65～69	101	75	10	10	4	2	0	0	0	0	0	0	35	57	15	5	4	11	1	0	0	0	3	0	1	15	
70～74	77	63	4	4	1	5	0	0	0	0	0	0	26	47	9	2	1	4	5	0	0	0	0	0	0	5	
75～79	60	38	14	3	2	3	0	0	0	0	0	0	16	38	5	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	3	
80～	16	10	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	9	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
札幌がん検診センター																											
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	17	8	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	8	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
25～29	47	27	9	6	0	3	0	0	0	0	0	0	9	31	13	0	2	11	0	0	1	0	0	0	0	10	
30～34	55	39	8	6	1	2	0	0	1	0	0	0	10	40	21	0	2	18	0	0	2	0	0	0	0	16	
35～39	71	57	8	3	2	2	0	0	0	0	0	0	16	50	21	0	6	11	3	0	0	1	0	0	0	11	
40～44	123	86	21	10	1	3	0	2	0	0	0	0	32	75	32	0	4	27	0	1	0	0	0	0	0	25	
45～49	132	90	17	20	1	4	0	0	0	0	0	0	49	70	35	3	10	25	0	0	0	0	2	0	0	28	
50～54	89	70	13	0	3	1	0	2	0	0	0	0	43	36	17	4	8	8	0	1	0	1	1	1	0	13	
55～59	48	36	9	0	1	1	0	1	0	0	0	0	21	24	5	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0	3	
60～64	38	33	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	18	17	9	1	1	7	1	0	0	0	1	0	0	5	
65～69	59	46	5	4	4	0	0	0	0	0	0	0	29	26	9	4	2	8	0	0	0	0	2	0	1	10	
70～74	48	43	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	22	25	4	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	
75～79	40	28	7	2	0	3	0	0	0	0	0	0	14	22	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	2	
80～	11	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
旭川がん検診センター																											
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	13	6	1	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	
25～29	13	5	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	9	0	1	6	2	0	0	0	0	0	0	7	
30～34	20	12	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	2	7	11	0	0	7	4	2	0	0	0	0	0	7	
35～39	22	11	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	18	0	0	9	7	0	0	0	0	0	0	9	
40～44	50	23	10	11	0	6	0	0	0	0	0	0	3	29	18	0	3	10	5	1	0	0	0	0	0	13	
45～49	65	30	11	18	3	3	0	0	0	0	0	0	4	36	25	1	1	18	6	1	0	0	1	0	0	19	
50～54	41	23	7	7	2	2	0	0	0	0	0	0	6	22	13	2	4	10	0	0	0	0	1	0	0	14	
55～59	17	10	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	3	6	8	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	
60～64	26	17	5	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	19	5	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	5	
65～69	20	11	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	5	10	5	1	2	3	0	0	0	0	1	0	0	5	
70～74	23	16	0	3	1	3	0	0	0	0	0	0	4	17	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
75～79	18	8	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	14	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
80～	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
釧路がん検診センター																											
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
25～29	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30～34	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
35～39	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
40～44	28	16	2	8	1	1	0	0	0	0	0	0	2	18	8	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	6	
45～49	26	22	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	23	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
50～54	30	27	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	27	8	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	8	
55～59	28	26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	23	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
60～64	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
65～69	22	18	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
70～74	6	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5													

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～平成30年度

年 度	受託総数	婦人科	呼吸器	胸水	腹水	尿	乳房	胃	その他	組 織
総 数										
45～25	854,558 (17,987)	689,873 (3,628)	79,637 (4,532)	5,234 (1,367)	5,779 (1,562)	30,251 (1,777)	7,066 (1,196)	136 (8)	10,015 (2,125)	23,669 (1,184)
26	7,090 (56)	6,390 (9)	98 (4)	21 (3)	22 (1)	300 (8)	130 (28)	0 (0)	33 (2)	96 (1)
27	6,674 (71)	5,992 (13)	97 (1)	27 (1)	16 (5)	250 (7)	197 (40)	0 (0)	32 (3)	63 (1)
28	6,309 (129)	5,613 (10)	90 (11)	32 (10)	19 (7)	212 (16)	226 (53)	1 (0)	55 (22)	61 (0)
29	5,847 (76)	5,232 (14)	83 (0)	18 (0)	19 (4)	205 (6)	217 (50)	0 (0)	21 (1)	52 (1)
30	4,481 (58)	3,870 (5)	117 (1)	32 (3)	23 (5)	162 (6)	183 (37)	0 (0)	47 (1)	47 (0)
計	882,061 (17,769)	716,970 (3,679)	80,122 (4,549)	5,364 (1,384)	5,878 (1,584)	31,380 (1,820)	8,019 (1,404)	137 (8)	10,203 (2,154)	23,988 (1,187)
札 幌										
45～25	444,948 (12,874)	360,776 (2,458)	36,444 (2,928)	2,364 (996)	3,132 (1,086)	10,918 (1,241)	3,115 (807)	107 (6)	5,817 (1,825)	19,377 (919)
26	1,329 (19)	974 (2)	38 (4)	7 (3)	13 (1)	255 (8)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	15 (0)
27	1,188 (20)	888 (3)	22 (1)	17 (1)	9 (5)	212 (7)	3 (0)	0 (0)	29 (3)	8 (0)
28	1,008 (75)	713 (5)	24 (11)	20 (10)	14 (6)	168 (15)	14 (6)	1 (0)	54 (22)	0 (0)
29	1,001 (21)	777 (6)	8 (0)	5 (0)	15 (4)	171 (6)	7 (4)	0 (0)	18 (1)	0 (0)
30	943 (16)	746 (1)	16 (1)	11 (2)	15 (5)	118 (6)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	0 (0)
計	447,519 (12,417)	364,874 (2,475)	36,552 (2,945)	2,424 (1,012)	3,198 (1,107)	11,842 (1,283)	3,140 (817)	108 (6)	5,981 (1,853)	19,400 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～平成30年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
		旭		川						
56～25	338,884 (4,439)	265,362 (869)	40,176 (1,493)	2,735 (342)	2,410 (430)	18,203 (483)	3,808 (379)	21 (2)	3,856 (277)	2,313 (164)
26	4,768 (35)	4,495 (6)	60 ()	14 (0)	5 (0)	45 (0)	130 (28)	0 (0)	6 (1)	13 (0)
27	4,565 (45)	4,220 (4)	75 (0)	10 (0)	7 (0)	38 (0)	194 (40)	0 (0)	3 (0)	18 (1)
28	4,431 (54)	4,075 (5)	66 (0)	12 (0)	5 (1)	44 (1)	212 (47)	0 (0)	1 (0)	16 (0)
29	4,053 (53)	3,698 (7)	75 (0)	13 (0)	4 (0)	34 (0)	210 (46)	0 (0)	3 (0)	16 (0)
30	2,813 (40)	2,438 (2)	101 (0)	21 (1)	8 (0)	44 (0)	182 (37)	0 (0)	11 (0)	8 (0)
計	359,514 (4,666)	284,288 (893)	40,553 (1,493)	2,805 (343)	2,439 (431)	18,408 (484)	4,736 (577)	21 (2)	3,880 (278)	2,384 (165)
		釧		路						
60～25	70,726 (674)	63,735 (301)	3,017 (111)	135 (29)	237 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	1,979 (101)
26	993 (2)	921 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	68 (1)
27	921 (6)	884 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)
28	870 (0)	825 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)
29	793 (2)	757 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (1)
30	725 (2)	686 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)
計	75,028 (686)	67,808 (311)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,204 (103)

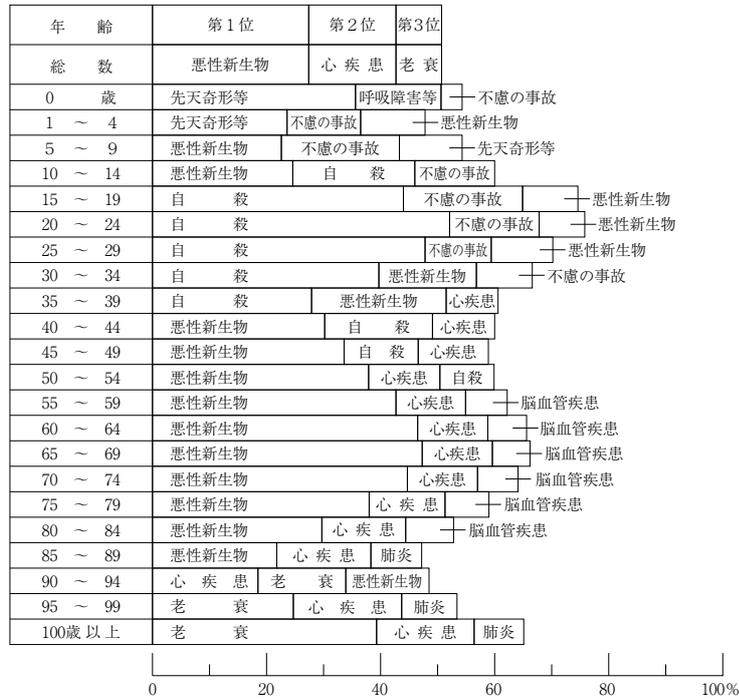
注) () 内数字は陽性の再掲。

【参考資料】

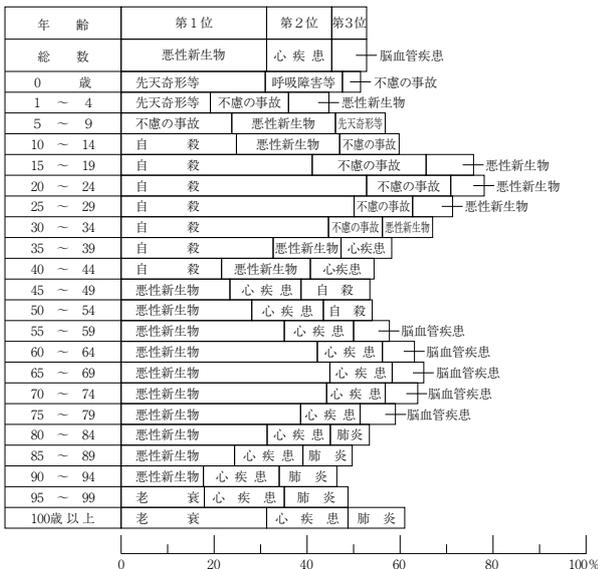
1 がん対策の背景

図1 性・年齢別にみた死因順位
平成30年 全国

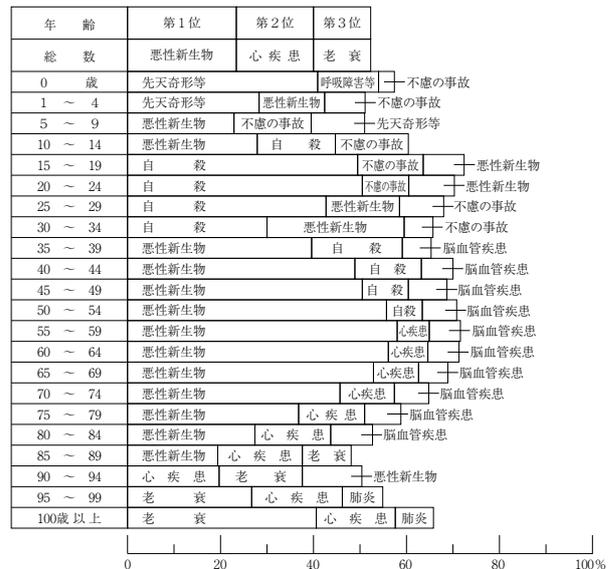
男女計



男



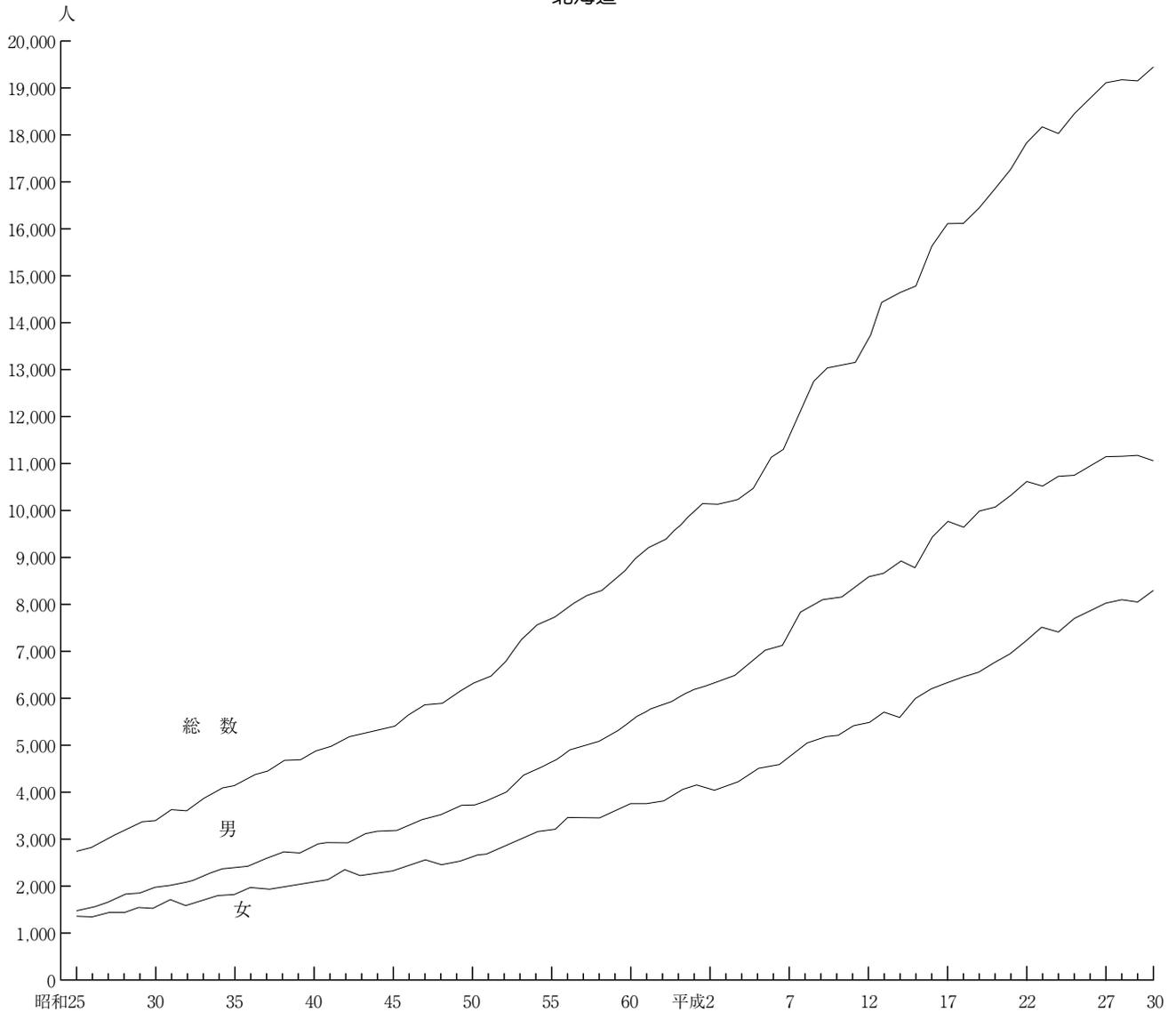
女



資料：平成30年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因において昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成30年

男 性	11,069
女 性	8,373
総 数	19,442

資料：「平成30年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様のがんによる死亡者数が増え続けている。主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられる。年齢調整死亡率で見ると、平成29年から改善しているものの、都道府県別では、前年の全国3位から2位となった。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因と考える。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北海道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭40	昭60	平17	平30	全国30	昭40	昭60	平17	平30	全国30
総 数	4,863	9,096	16,133	19,442	373,584	94.0	159.9	287.8	367.8	295.5
食 道	181	357	597	558	11,345	3.5	6.3	10.7	10.6	9.0
胃	1,982	2,147	2,240	2,068	44,192	38.3	37.8	40.0	39.1	35.0
大 腸	268	928	2,186	2,618	50,658	5.2	16.3	39.0	49.5	40.1
肝 臓	357	832	1,328	1,230	25,925	6.9	14.6	23.7	23.3	20.5
膵 臓	181	624	1,357	2,035	35,390	3.5	11.0	24.2	38.5	28.0
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,225	74,328	8.6	25.6	57.2	79.9	58.8
乳 房	98	247	530	805	14,759	3.8	8.5	18.0	28.8	19.3
子 宮	311	231	229	340	6,800	12.0	7.9	7.8	12.2	9.3
白 血 病	187	256	314	401	8,809	3.6	4.5	5.6	7.6	7.0
そ の 他	855	2,019	4,147	5,162	101,378	16.5	35.5	74.0	97.7	80.2

資料：死亡数は「平成30年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は平成30年総務省統計局データ

図3 がん死亡者の部位別割合
平成30年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
がん総数		11,069	がん総数		8,373
1位	気管、気管支及び肺	2,867	1位	気管、気管支及び肺	1,358
2位	大腸	1,346	2位	大腸	1,272
3位	胃	1,323	3位	膵臓	1,051
4位	膵臓	984	4位	乳房	801
5位	肝及び肝内胆管	815	5位	胃	745
6位	前立腺	635	6位	胆のう及び他の胆道	444
7位	胆のう及び他の胆道	511	7位	肝及び肝内胆管	415
8位	食道	438	8位	子宮	340
9位	悪性リンパ腫	354	9位	悪性リンパ腫	287
10位	膀胱	291	10位	卵巣	248
11位	口唇、口腔及び咽頭	248	11位	膀胱	165
11位	白血病	248	12位	白血病	153
その他		1,009	その他		1,094

資料：「平成30年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	胃	大	膵	肝
女 性	大	肺	膵	胃	乳

資料：「平成30年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いことがあげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

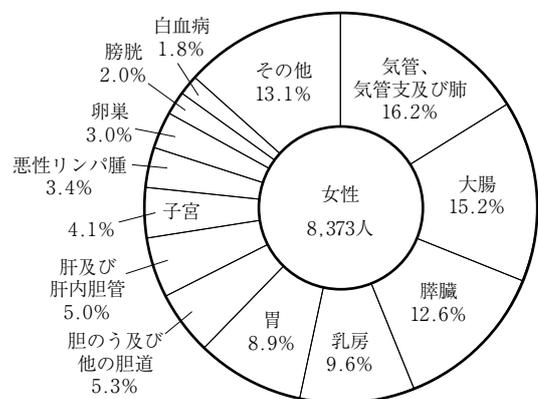
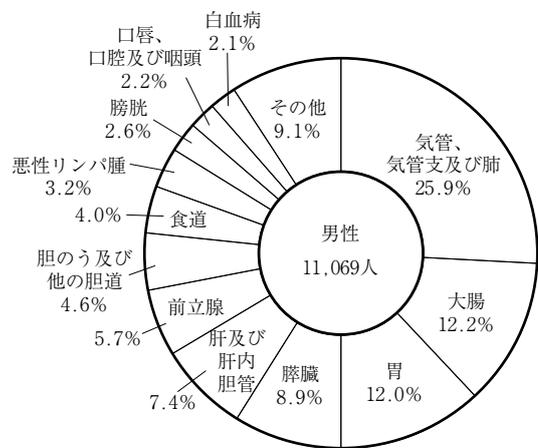
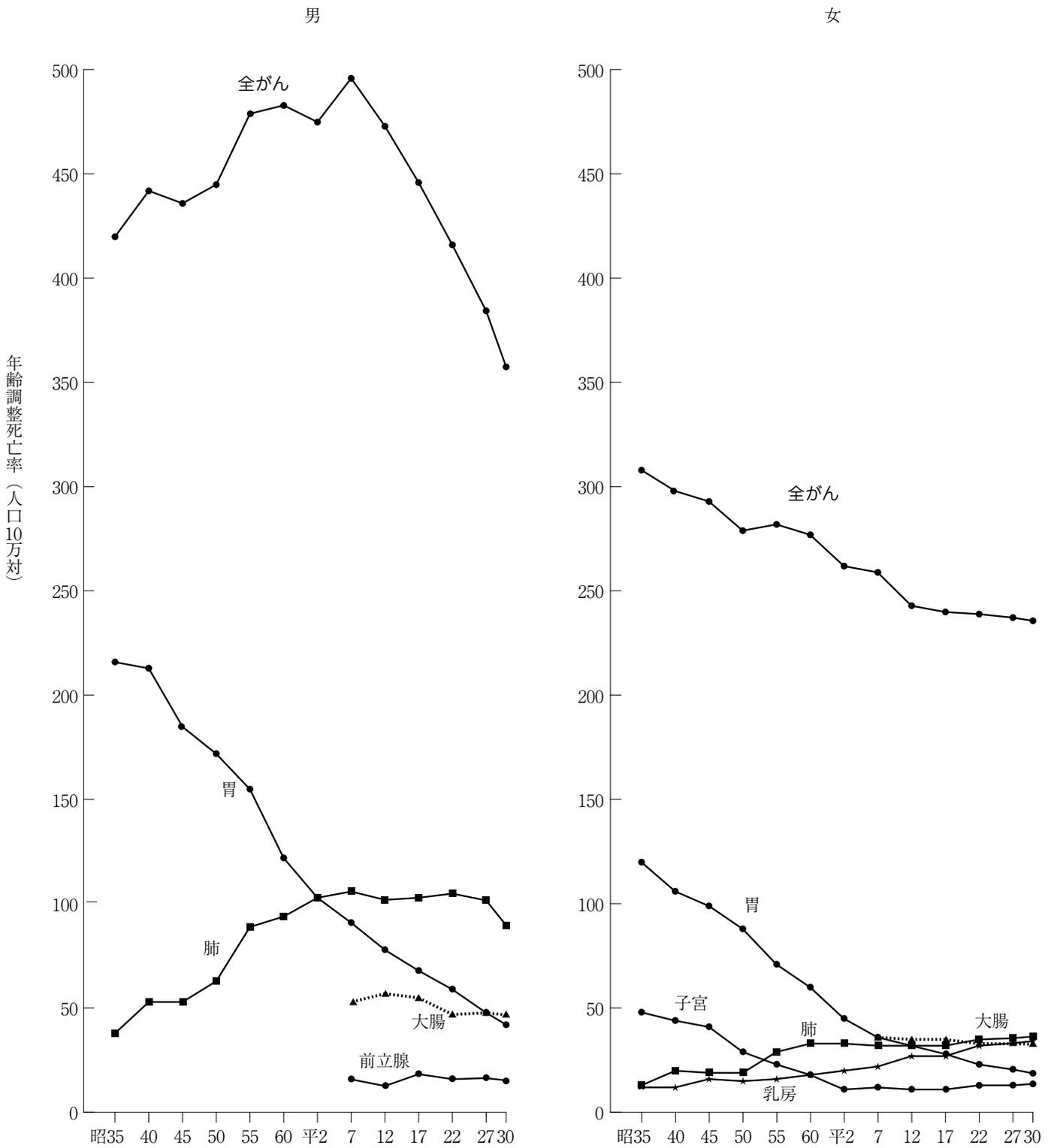


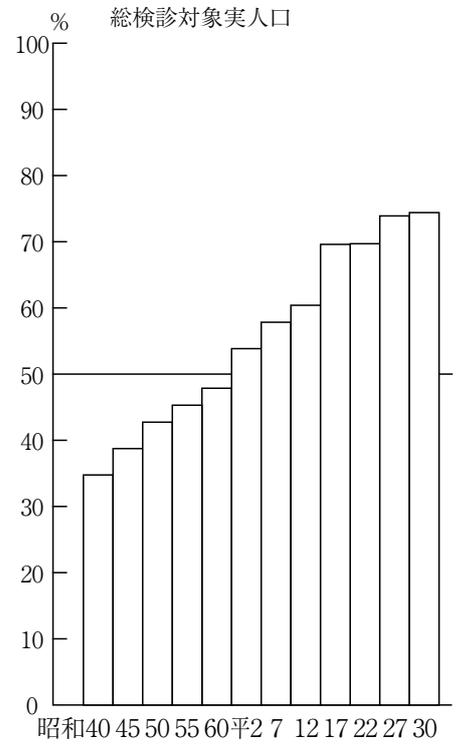
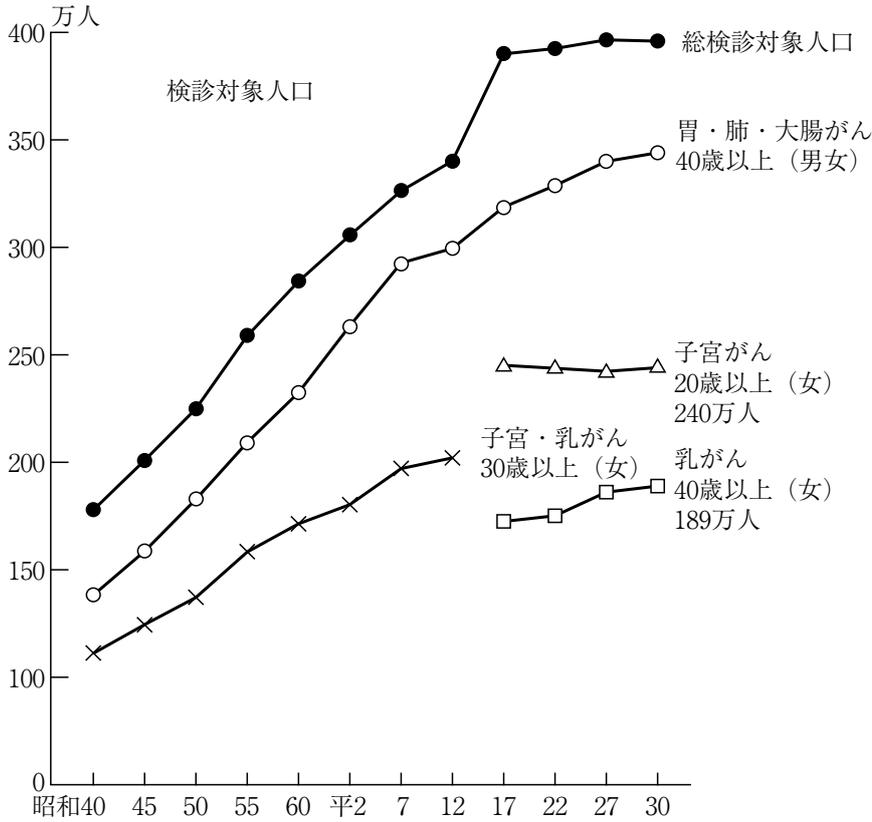
図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道



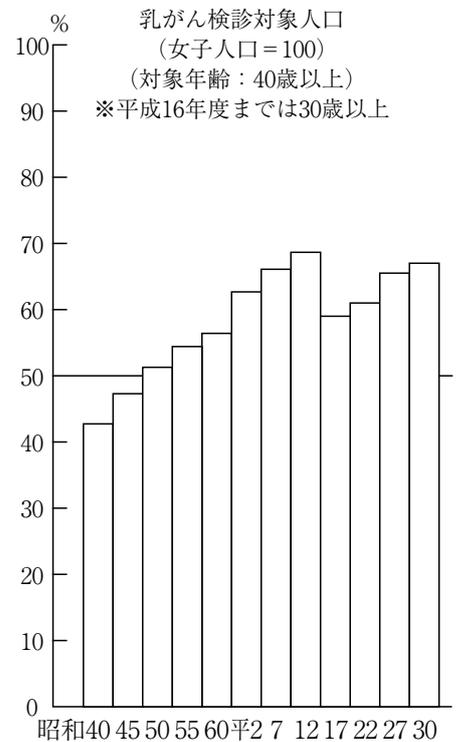
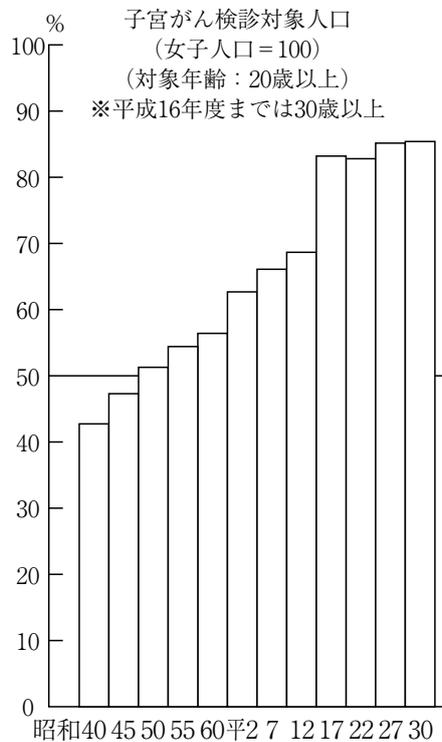
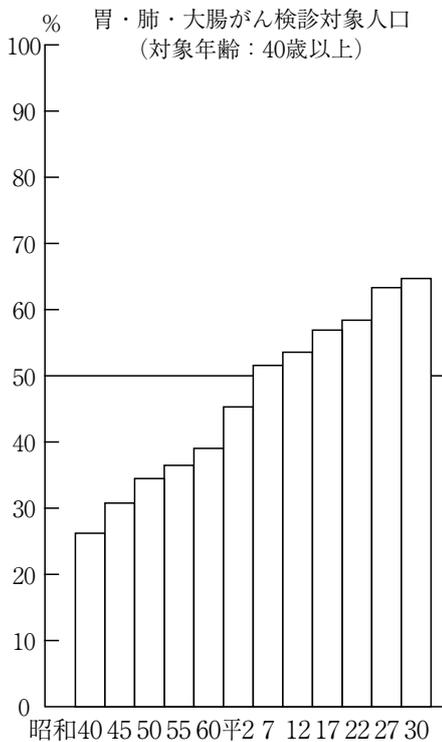
注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）

資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

2 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：平成29年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診

平成29年度の対象者（北海道）は3,429,277人^{注)}で、受診数は147,847人、受診率は4.3%^{注)}であった。このうち、当協会では135市町村において、検診車と各検診センターで91,356人に検診を実施した。（受託実施率61.8%）

これに事業所分など9,336人を加え、総数100,692人に実施し、123名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。（うち早期がん82名、早期がん割合71.9%）

子宮がん検診

平成29年度の対象者（北海道）は2,412,181人^{注)}である。受診者数は平成29年度173,801人、平成28年度158,724人で、2年合計で332,525人となっている。ここから2年連続受診者数22,704人を除いた309,821人が直近2年間の受診者数であり、受診率は12.8%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成29年度は148市町村、平成28年度は147市町村において、検診車と各検診センターで109,503人に検診を実施した。（受託実施率32.9%）

これに事業所分など20,284人を加え、総数129,787人に実施し、149名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。（うち上皮内がん86名）

乳がん検診

平成29年度の対象者（北海道）は1,871,851人^{注)}である。受診者数は平成29年度117,176人、平成28年度117,567人で、2年合計で243,956人となっている。ここから2年連続受診者数9,520人を除いた234,436人が直近2年間の受診者数であり、受診率は12.5%^{注)}であった。

このうち、当協会では平成29年度は148市町村、平成28年度は147市町村において、検診車と各検診センターで118,287人に検診を実施した。（受託実施率48.5%）

これに事業所分など24,964人を加え、総数143,251人に実施し、563名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。（うち早期がん395名、早期がん割合70.2%）

肺がん検診

平成29年度の対象者（北海道）は3,429,209人^{注)}で、受診数は191,829人、受診率は5.6%^{注)}であった。このうち、当協会では126市町村において、検診車と各検診センターで80,036人に検診を実施した。（受託実施率46.8%）

これに事業所分など9,721人を加え、総数89,757人に実施し、86名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、32市町村において、検診車と各検診センターで2,201人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など2,184人を加え、総数4,385人に実施し、18名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。

大腸がん検診

平成29年度の対象者（北海道）は3,429,222人^{注)}で、受診数は239,424人、受診率は7.0%^{注)}であった。このうち、当協会では127市町村において、検診車と各検診センターで114,353人に検診を実施した。（受託実施率47.8%）

これに事業所分など11,731人を加え、総数126,084人に実施し、404名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。（うち早期がん292名、72.3%）

注）地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「指針」に基づき、40歳から69歳（胃がん検診は平成28年度以降50歳から69歳、子宮頸がん検診は20歳から69歳）を対象として算出している。これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

法人名	公益財団法人北海道対がん協会
代表者名	会長 長瀬 清
所在地	北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話番号	011-748-5511
設立時期	昭和4年9月13日
従業員数	356名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職種	札幌	旭川	釧路	計
医師	5	3	1	9
診療放射線技師	34	11	5	50
臨床検査技師	20	11	4	35
管理栄養士	1	0	2	3
保健師	26	11	3	40
看護師	27	22	12	61
事務員	73	31	23	127
運転技術員	21	8	2	31
計	207	97	52	356

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にごがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診フィルムの読影（専門読影委員22名により実施）
- (2) 肺がん検診フィルムの読影（専門読影委員29名により実施）
- (3) 乳がん検診フィルム（SMG）の読影（専門読影委員27名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

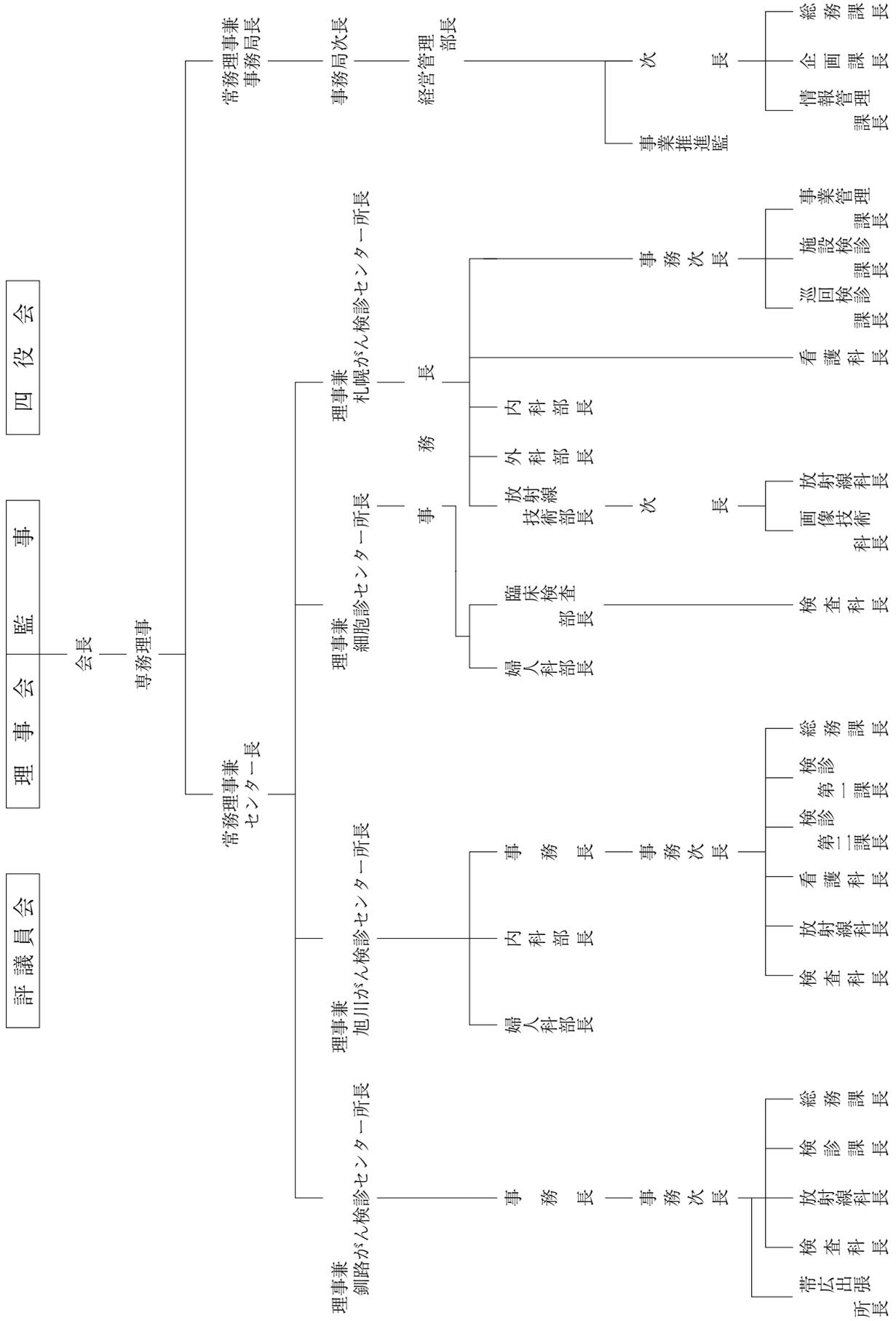
4 その他諸検査の実施

- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図



3-5 役員等名簿

令和元年10月30日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	長瀬清	北海道対がん協会会長・北海道医師会会長
副会長	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	佐古和廣	北海道医師会副会長・名寄市立大学学長
〃	佐藤昇志	札幌医科大学名誉教授
〃	平田哲	旭川医科大学理事・副学長
専務理事 (業務執行理事)	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	小田寿	北海道対がん協会事務局長
理事	秋田弘俊	北海道大学病院病院長
〃	磯部宏	K K R 札幌医療センター病院長
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	加藤秀則	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学教室教授
〃	平田公一	J R 札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	横山進	北海道労働保健管理協会会長
〃	渡利英道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	河原崎暢	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	藤田博正	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西田孝雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	大 場 久 夫	全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	竹 内 伸 仁	北海道薬剤師会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	傳 法 公 磨	藤女子大学名誉教授
〃	三 宅 浩 次	札幌医科大学名誉教授
参 与	東 幸 彦	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	秋 野 憲 一	札幌市保健福祉局保健所成人保健・歯科保健担当部長
〃	鈴 木 直 己	旭川市保健所長
〃	大 坪 辰 弘	釧路市こども保健部長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭 和	5 4	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭 和	5 6	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭 和	5 7	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭 和	5 8	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭 和	5 9	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭 和	6 0	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭 和	6 1	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭 和	6 2	年	大腸がん検診を開始する。
平 成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平 成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平 成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平 成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平 成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平 成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平 成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。
令和	元	年	本会創立90周年を迎え、創立90周年記念フォーラムを札幌市で開催した。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 長 瀬 清

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・胸部CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受付時間	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	

札幌がん検診センター 〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011)748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・胸部肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付時間	8:30～11:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～14:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	月～土 8:30～11:00 月～金 13:00～15:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166)53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月～木	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査* ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付時間	9:00～11:00	月 9:00～10:00 水・木 9:00～13:00	9:00～13:00	月～土 9:00～11:00 月～金 13:00～15:00	月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154)37-3370

※受診の際は、ご希望の日時と科目を、お電話でご予約下さい。
※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策基金への 募金をお願いします！

～がんに負けない社会の実現を目指して～



「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座への振り込みによる募金
- 協賛商品の購入による募金
- イベント会場での募金
- 直接寄付・募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行 札幌南支店
(口座番号)普通 4591650
(口座名)北海道がん対策基金

北海道銀行 札幌駅前支店
(口座番号)普通1877125
(口座名)北海道がん対策基金

ゆうちょ銀行
(口座番号)02740-9-102016
(口座名)北海道がん対策基金

※北洋銀行について、各支店の窓口で振り込み場合、振込手数料が無料になります。
※北海道銀行について、各支店の窓口やATM等の振り込みは振込手数料が無料になります。

基金のしくみ



♥ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や 就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用

※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間(ピア)として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

募金状況 (H27.2月~R1.9月末)

区	分	金	額
個	人	5,648,196	円
企 業 ・ 団 体 等		10,088,495	円
自 販 機		7,514,150	円
常 設 募 金 箱		783,569	円
臨 時 募 金 箱		376,723	円
計		24,411,133	円

基金支援自販機設置状況 (R1.9月末)

キリン

設置月日	設置場所	住所
1	H27.2.10 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
2	H27.2.10 公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市東区
3	H27.2.10 一般社団法人 北海道医師会	札幌市中央区
4	H27.4.3 勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市西区
5	H27.5.1 次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	札幌市中央区
6	H27.5.1 日本データサービス株式会社	札幌市東区
7	H27.5.28 モロオANEXビル1F	札幌市中央区
8	H27.5.29 山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
9	H27.5.29 ノルデン薬局北栄店	札幌市東区
10	H27.6.1 株式会社モロオ 滝川	滝川市
11	H27.6.1 株式会社モロオ 函館	函館市
12	H27.6.1 株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市中央区
13	H27.6.1 株式会社モロオ ANEX 5F	札幌市中央区
14	H27.6.1 株式会社モロオ 小樽	小樽市
15	H27.6.1 株式会社モロオ コールセンター	札幌市中央区
16	H27.6.1 株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市清田区
17	H27.6.1 株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
18	H27.6.1 株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
19	H27.6.1 株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
20	H27.6.1 株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市白石区
21	H27.6.1 株式会社モロオ 舞春物流2F	札幌市西区
22	H27.6.1 株式会社モロオ 舞春物流3F	札幌市西区
23	H27.6.1 株式会社モロオ 旭川	旭川市
24	H27.6.1 株式会社モロオ 釧路	釧路市
25	H27.6.1 株式会社モロオ 北見	北見市
26	H27.6.1 株式会社モロオ 帯広	帯広市
27	H27.7.22 竹山札幌業務センター	札幌市白石区
28	H27.7.31 徳州会 札幌病院	札幌市厚別区
29	H27.8.24 白鋼記念病院	室蘭市
30	H27.8.29 室蘭保健センター	室蘭市
31	H27.8.28 株式会社ほくやく	札幌市中央区
32	H27.8.31 株式会社 マルベリー	札幌市豊平区
33	H27.9.15 太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
34	H27.9.30 株式会社マルベリー さわやかセンター札幌	札幌市東区
35	H27.10.5 社会医療法人 北榆会 札幌北榆病院	札幌市白石区
36	H27.11.25 (南タック)コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市豊平区
37	H27.11.26 株式会社ムトウ	札幌市北区
38	H27.11.27 株式会社バルス室蘭店	室蘭市
39	H28.1.7 一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市中央区
40	H28.1.7 公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市手稲区
41	H28.2.8 北海道庁本庁舎13F	札幌市中央区
42	H28.2.25 手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
43	H28.2.29 株式会社竹山 石狩商品管理センター	石狩市
44	H28.2.29 株式会社マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
45	H28.4.12 株式会社北谷組 滝川江部乙事務所	滝川市
46	H28.5.31 旭川がん検診センター	旭川市
47	H28.5.26 釧路がん検診センター	釧路市
48	H28.5.31 株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市北区
49	H28.6.3 深川保健所	深川市
50	H28.6.2 名寄保健所	名寄市
51	H28.6.1 富良野保健所	富良野市
52	H28.6.3 北見保健所	北見市
53	H28.6.2 静内保健所	新ひだか町
54	H28.6.6 根室保健所	根室市
55	H28.6.7 中標津保健所	中標津町
56	H28.6.2 江別保健所	江別市
57	H28.6.2 苫小牧保健所	苫小牧市
58	H28.6.9 八雲保健所	八雲町
59	H28.6.8 滝川保健所	滝川市
60	H28.9.5 紋別保健所	紋別市
61	H28.12.1 北海道キリンパブリック2F	札幌市
62	H29.4.20 室蘭リゾート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
63	H29.4.28 トランスコスモス株式会社1F	札幌市
64	H29.5.1 エームサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	札幌市
65	H29.6.7 株式会社北谷組 深川一己工事現場	深川市
66	H29.6.9 トランスコスモス株式会社6F	札幌市
67	H29.6.27 ワタキューセイモア北海道支店(岩内協会病院)	岩内町
68	H29.7.7 医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	札幌市
69	H29.8.28 室蘭リゾート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	札幌市
70	H29.9.20 苫小牧身体障がい者福祉協会(苫小牧市役所)	苫小牧市
71	H29.10.21 社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
72	H30.2.21 トランスコスモス株式会社4F	札幌市
73	H30.3.1 株式会社NTT東日本サービス 函館116センタ	函館市
74	H30.8.1 小樽医師会	小樽市
小 計		74台

サントリー

設置月日	設置場所	住所
75	H27.6.18 社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 1F	札幌市白石区
76	H27.6.18 社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 1F	札幌市白石区
77	H27.10.27 社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 東棟3F	札幌市白石区
78	H27.10.27 社会医療法人北榆会 札幌北榆会病院 東棟3F	札幌市白石区
79	H28.3.26 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
80	H28.6.19 株式会社ほくやく	札幌市中央区
81	H28.6.19 株式会社竹山業務センター	札幌市中央区
82	H28.10.1 洞爺湖温泉病院	洞爺湖町
83	H28.10.1 洞爺湖温泉病院	洞爺湖町
84	H29.4.1 KKR札幌医療センター(3F事務所)	札幌市

85	H29.4.1	KKR札幌医療センター(2FVDコーナー)	札幌市
86	H29.4.1	KKR札幌医療センター(新管理センターB1F)	札幌市
87	H29.4.1	KKR札幌医療センター(新管理センター2F)	札幌市
88	H29.4.1	KKR札幌医療センター(B1検査所)	札幌市
89	H29.4.1	KKR札幌医療センター(大家機)	札幌市
90	H29.4.1	KKR札幌医療センター(ブリック)	札幌市
91	H29.7.1	介護老人保健施設 ガーデンハウスくりやま	栗山町
92	H29.7.1	特別養護老人ホームアピターレアネックス	札幌市
93	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(地下)	札幌市
94	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F)	札幌市
95	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(2F)	札幌市
96	H29.7.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(4F)	札幌市
97	H29.7.1	介護老人保健施設リラコート愛全	札幌市
98	H29.7.1	高齢者総合福祉施設サン グレイス	札幌市
99	H29.7.1	養護老人ホーム 静山荘	札幌市
100	H29.7.1	介護老人保健施設アートヒルズ	札幌市
101	H29.7.1	ケアハウス ローザガーデン	札幌市
102	H29.7.1	高齢者総合福祉施設アピターレ	札幌市
103	H29.12.1	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F売店前)	札幌市
104	H29.7.1	竹中工務店(工事現場)	札幌市
小 計		30台	

コカ・コーラ

設置月日	設置場所	住所	
105	H28.4.25	大川原脳神経外科病院	室蘭市
106	H28.5.1	東陽上村アドバンス株式会社長沼工場	長沼町
107	H30.6.12	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
108	H30.6.12	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
109	H28.5.1	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
110	H28.5.1	株式会社ほくやく北32条SPD	札幌市
111	H28.5.1	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
112	H28.5.1	竹山札幌業務センター	札幌市
113	H28.6.16	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
114	H28.7.1	帯広協会病院	帯広市
115	H28.7.29	北海道歯科医師会4階	札幌市
116	H28.8.4	社会医療法人札幌清田病院1階	札幌市
117	H28.10.19	株式会社保健科学研究所	札幌市
118	H29.4.3	株式会社HBA	札幌市
119	H29.5.31	トヨタ部品北海道共販	札幌市
120	H29.6.29	愛全病院B1ラブリック	札幌市
121	H29.6.29	愛全病院地下	札幌市
122	H29.6.29	愛全病院渡り廊下	札幌市
123	H29.6.29	愛全病院1F	札幌市
124	H29.6.29	愛全病院3F	札幌市
125	H29.6.29	アピターレ	札幌市
126	H29.6.29	静山荘	札幌市
127	H29.6.29	アートヒルズ	札幌市
128	H29.6.29	ローザガーデン	札幌市
129	H29.6.29	アン・ペルアミ	札幌市
130	H29.6.29	サン・グレイス	札幌市
131	H29.6.29	高齢者総合福祉施設アピターレ アネックス	札幌市
132	H29.7.1	愛全病院1階	札幌市
133	H29.8.8	東陽上村アドバンス従業員休憩所	札幌市
134	H29.9.25	ほくやくビル	札幌市
135	H29.11.1	医療法人影和会北海道消化器科病院	札幌市
136	H29.12.1	アフラック札幌総合支社	札幌市
137	H30.9.18	室蘭太平洋病院	室蘭市
小 計		33台	

ジャパンパブリック

設置月日	設置場所	住所	
138	H28.4.1	市立函館病院	函館市
139	H28.5.1	株式会社ほくやく本社	札幌市
140	H28.5.1	株式会社ほくやくカスタマセンター	札幌市
141	H28.5.1	株式会社竹山	札幌市
小 計		4台	

ネオス

設置月日	設置場所	住所	
142	H28.11.22	公益財団法人 北海道対がん協会 4F	札幌市東区
143	H28.11.22	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
小 計		2台	

PSJパブリック

設置月日	設置場所	住所	
144	H29.1.1	東陽上村アドバンス(江別工場)	1台

株式会社

設置月日	設置場所	住所	
145	H29.1.1	株式会社ほくやく 本社ビル	札幌市
146	H29.1.1	株式会社ほくやく 北32条 SPDセンター	札幌市
147	H29.1.1	株式会社ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
148	H29.1.1	株式会社ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
149	H29.1.1	株式会社ほくやく 竹山 札幌業務センター	札幌市
小 計		5台	

伊藤園

設置月日	設置場所	住所	
150	H31.2.6	日本生命保険相互会社 日本生命札幌ビル	札幌市
151	H31.3.30	市立函館病院	札幌市
小 計		2台	
合 計		151台	

常設募金箱設置状況（R1.9月末）

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市白石区
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
3	〃	JA札幌厚生病院	札幌市中央区
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市白石区
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	〃	函館五稜郭病院	函館市
11	指定病院	函館中央病院	函館市
12	〃	札幌北榆病院	札幌市白石区
13	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市南区
14	〃	北海道医療センター	札幌市西区
15	〃	深川市立病院	深川市
16	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
17	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18	〃	伊達赤十字病院	伊達市
19	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
20	〃	旭川赤十字病院	旭川市
21	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市手稲区
22	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
23	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
24	企業	(株)セイショウ	札幌市豊平区
25	行政	北海道保健福祉部地域保健課	札幌市中央区
26	〃	厚岸町	厚岸町
27	〃	福島町	福島町
28	法人	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市東区
29	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市東区
30	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
31	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

お問い合わせ

- (管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会 Tel(011)-748-5518
- 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係 Tel(011)-204-5117

北海道のホームページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄附ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄附などが寄せられています。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄附金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」（年3回発行）等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

〃 旭川がん検診センター 0166-53-7111

〃 釧路がん検診センター 0154-37-3370

日本人のためのがん予防法

～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫煙	煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙を避ける。
飲酒	酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食事	事	食事は偏らずバランスよくとる。 * 塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 * 野菜や果物不足にならない。 * 飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動		日常生活を活動的に。
体形		適正な範囲に維持する。
感染	染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋